

31  
5

第五回内國  
勸業博覽會  
調查報告  
第一部卷之十四



第五回内國勸業博覽會調查報告

第一部

卷之十四

官廳出品

明治  
37 5 16  
内交



第五回內國勸業博覽會第一部官廳出品調查報告

目次

- 一 宮內省
  - 下總御料牧場
- 二 內務省
- 三 陸軍省
  - 軍馬補充部本部
- 四 海軍省
- 五 文部省
  - 札幌農學校
- 六 農商務省
  - 農務局
  - 製茶試驗所
  - 農事試驗場
  - 肥料礦物調查所
  - 與羽種馬牧場及福島種馬所



七塚原種牛牧場

蠶業講習所

七 北海道廳

北海道廳種畜場

八 東京府

小笠原島島廳

九 大阪府

十 千葉縣

十一 富山縣

十二 岡山縣

十三 臺灣總督府

### 農務局出品說明目錄

- 一 道府縣產業組合數表
- 二 耕地整理面積及費用表
- 三 道府縣農會經費一覽表
- 四 國立及道府縣立農事機關配置圖
- 五 米產額表
- 六 麥產額表
- 七 總輸出入額卜農產物輸出入額卜ノ比較表
- 八 重要農產物輸出入額累年比較表
- 九 米產額作付反別表
- 十 麥產額作付反別一覽表
- 十一 可耕地卜總面積及現耕地表
- 十二 害蟲發生圖
- 十三 大豆粟甘藷作付反別一覽表
- 十四 蕎麥種小豆作付反別一覽表
- 十五 茶葉種葉藍作付段別一覽表



- 十六 葉烟草、大麻、實綿作付段別一覽表
- 十七 馬鈴薯、黍、作付段別一覽表
- 十八 桑園反別圖
- 十九 繭產額圖
- 二十 生絲產額圖
- 二十一 世界各國生絲產額對照表
- 二十二 桑園反別比較表
- 二十三 蠶繭產額比較表
- 二十四 輸出品總價額ト蠶絲類輸出額トノ累年對照表
- 二十五 蠶絲類輸出先及輸出價額比較圖
- 二十六 檢査合格蠶種比較表
- 二十七 蠶病豫防ニ關スル府縣令及蠶絲ニ關スル同業組合調查表
- 二十八 種牡牛頭數圖表
- 二十九 牛乳生產表
- 三十 屠畜表
- 三十一 牛總數、牝牛數及產犢數比較表
- 三十二 獸醫並蹄鐵工及獸疫累年比較表

- 三十三 家禽及產卵表
- 三十四 狩獵免狀下付數表
- 三十五 產駒牝馬及馬匹總數表
- 三十六 全國種牡馬累年比較表



# 第五回内國勸業博覽會第一部官廳出品調査報告

審査官 平野 師 應編

## 一 宮内省

### ○下總御料牧場

本場ヨリ出陳セタレタルハ牛四頭馬三頭ニシテ何レモ良種畜トシテ好參考タリシコトハ言  
ラ俟タス牛馬主任ノ審査官ハ該出品物ニツキソノ所見ヲ報告シテ云フ

牛、下總御料牧場並七塚原種牛牧場ヨリ參考物トシテ出陳シタル「ブラウン、スキッス」ハ瑞西國  
ノ産ニシテ兩三年以來新ニ輸入シタルモノナリ輸入日尙淺キカ故ニ當業者ノ意嚮如何ハ  
未タトスルコトヲ得ストイヘトモ將來其ノ蕃殖ヲ見ルニ至ルハ疑ヲ容レヌ

馬、「ツロツター」「ハクニー」「サラフレット」ハ各同牧場ノ産ニシテ殊ニ優等ナルヲ認ム

蓋何レモ我牛馬改良ノ良資タラサルナキヤ疑ヲ容レサルナリ但一般出陳ノ牛馬ニ對スル審  
査報告中是等官廳ノ出品ニ關シテ詳細論及セルモノアルヲ以テ茲ニハ簡ニ從ヒ復故ラニ説  
カス

## 二 内務省

參考館ノ出品中本省ノ出陳ニ係ル伯林市下水道唧筒場模型第三放線區縮尺七十分ノ一及伯  
林市伏田模型縮尺長幅各三分ノ一、高百分ノ一アリ前者ハ伯林全市下水道十二放線區中第



三区内ノ住屋及作業店ヨリ排出スル汚水ヲ收集シ更ニ蒸氣唧筒ノ力ヲ以テ壓水管ニ依リ汚水ヲ郊外ニ在ル沃田ニ達セシムル唧筒場ヲ示スモノニ係リ又後者ハ下水ヲ以テ灌漑セララル所ノ郊外ニアル沃田ニシテ前者ノ唧筒場ヨリ壓水管ニ依リテ來ル汚水ヲ田野ノ一端ニ在ル標識管ノ處ニ受ケ之ヨリ漸次許多ノ枝管ニ分レ田圃ノ下ヲ走行シ必要ニ應シ導水口ヲ開キ田圃ニ灌漑ス田地ハ肥料分其他ノ雜物ヲ吸收或ハ瀘過シ終ニ飲ミ得ヘキ程ノ淨水トナリ地下ニ在ル幾多ノ小管ヨリ大管ニ依リ排出セララル此淨水ハ更ニ池水又ハ使用水トナルノ傍ラ養魚池ヲ設ケ淨水ヲ其中ニ入ルノ装置ニシテ田圃内ニハ管理者住宅又ハ田圃使丁住宅病院米穀及其他ノ收穫セル果實菜蔬ノ倉庫等ノ設置ヲモ示セリ

斯ル装置ノ將來我邦ニ施設セララルヘキヤ否ハ固ヨリ未決ノ問題ニ屬スヘキモ海水ノ灌漑工事ニハ這般壯大ナル設備アルヲ知ラシム亦是レ我邦ノ斯業上ニ好箇ノ參考料タルヲ疑ハス

### 三陸軍省

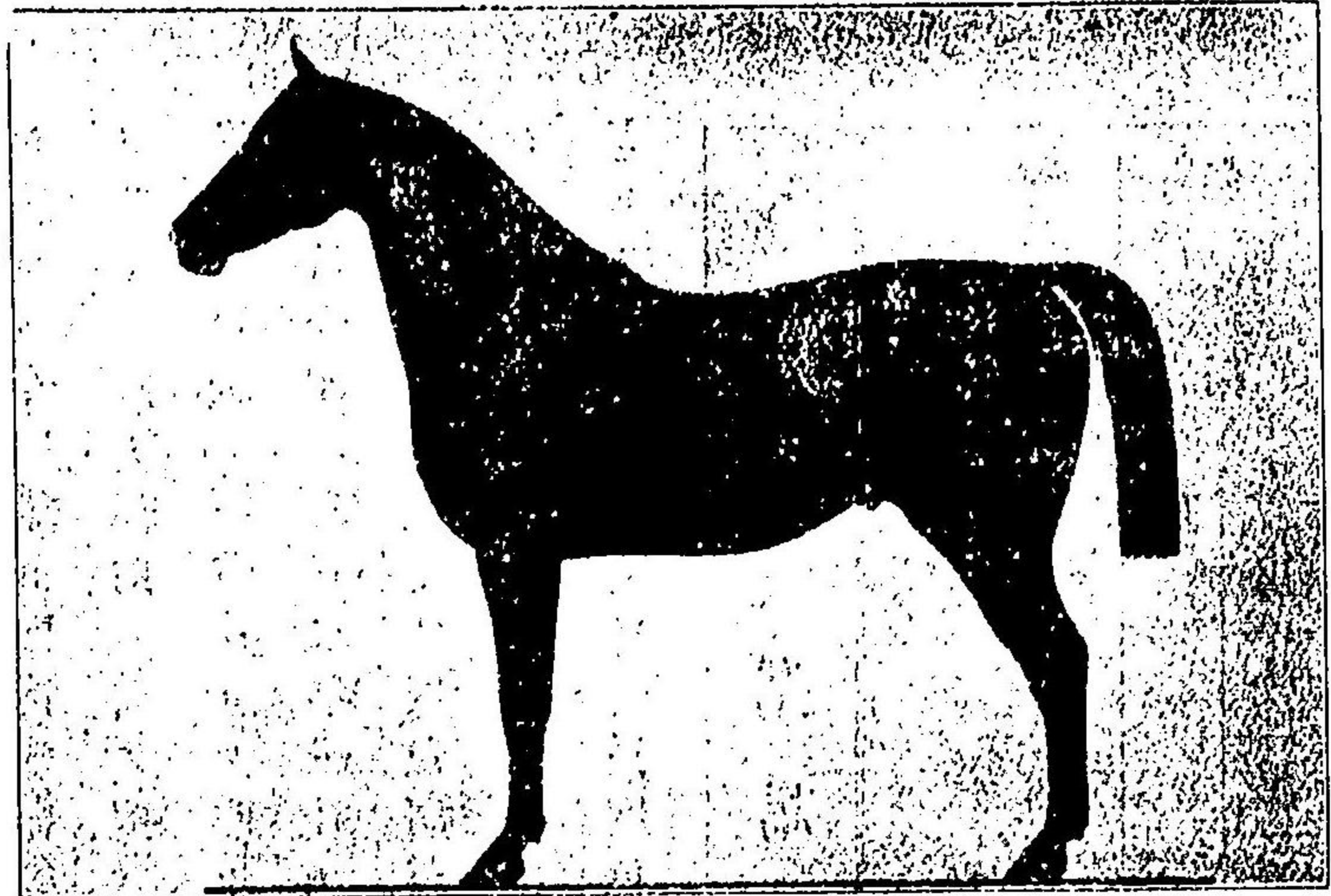
#### ○軍馬補充部本部

本部木馬ノ出品ハ農業館ニ於ケル異彩ノ一ナリキ殊ニ斯ル木馬ハ既往ノ博覽會ニ未曾テ出品アラサリシ所ニ係リ會中日々觀衆ノ注目ヲ惹キタリ左ニ其ノ説明模型馬ノ長度角度廣度一覽表及圖ヲ掲ク

今回陳列セシ木馬ハ乘馬、挽馬、駄馬ノ實馬二分一ノ模型ナリ從來陸軍ノ要求スル所ノ各役

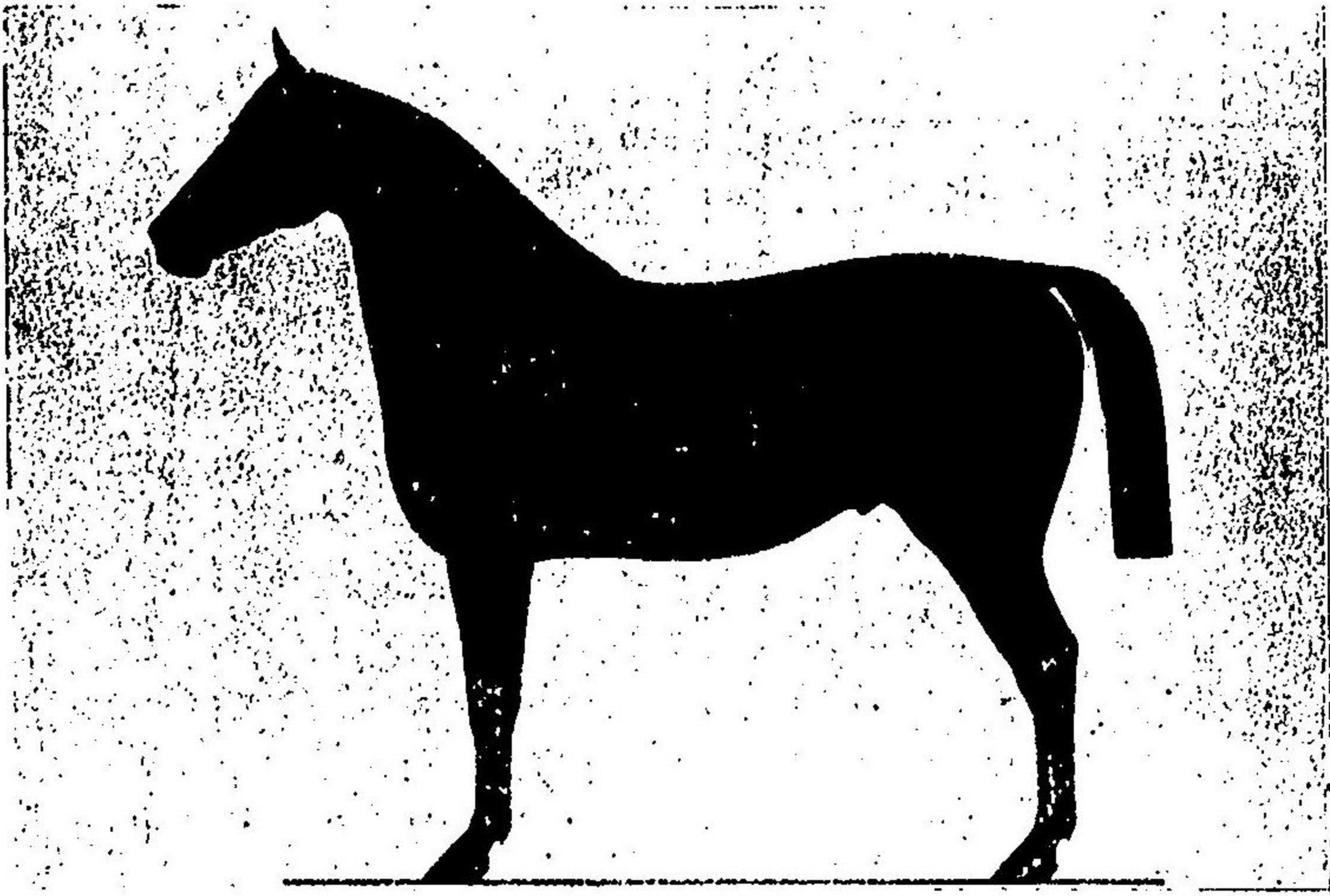
騎兵乘馬

馬格調定者軍馬補充部本部



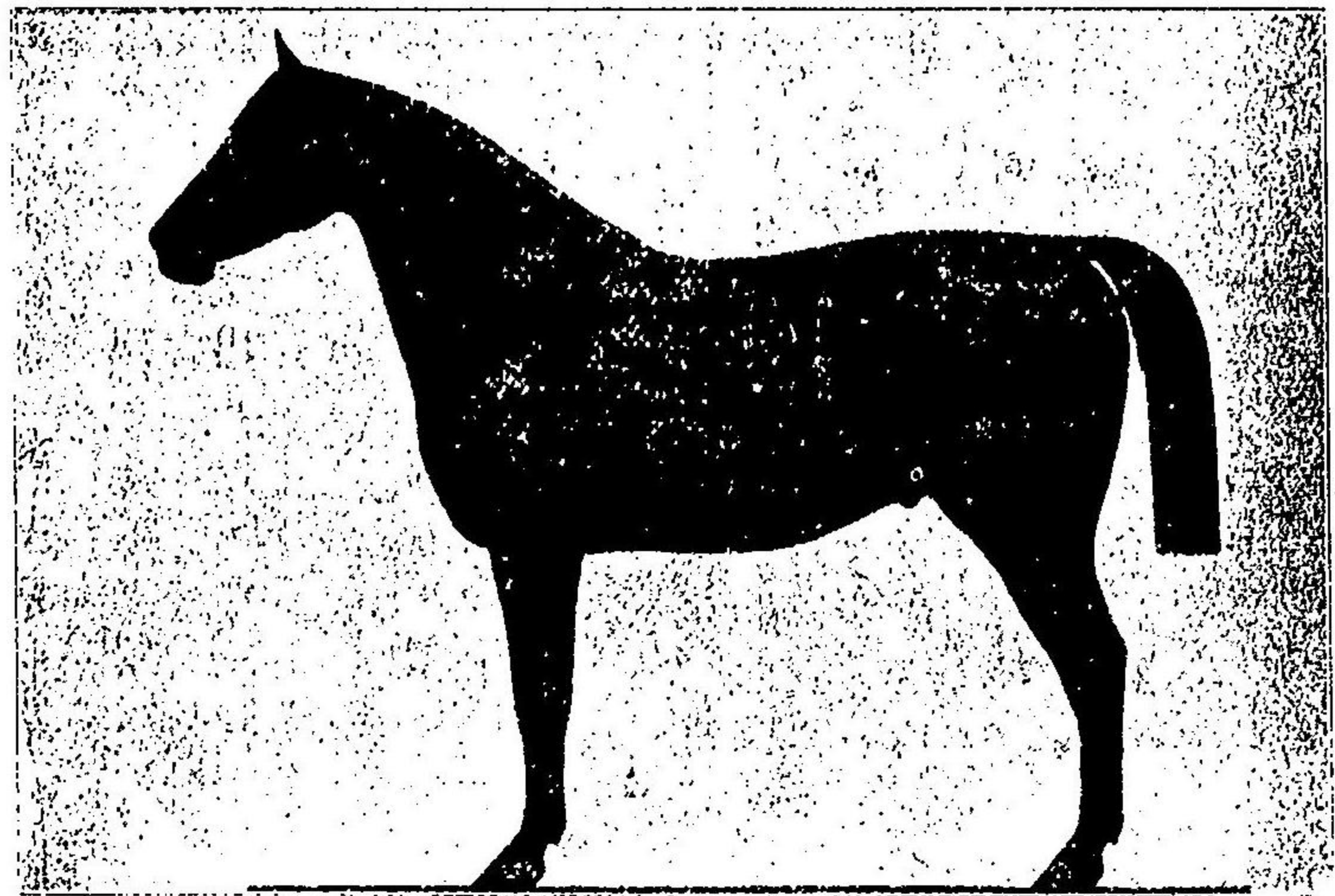
砲兵挽馬

馬格調定者軍馬補充部本部



砲兵駄馬

馬格調定者軍馬補充部本部









ハ何レモ優等ノ價值アルヲ認メタリ  
就中

乾麵包

官製

ローストビーフ

廣島旭鐘詰製造所製

コンドビーフ

吳高須鐘詰製造所製

壓搾乾燥野菜

東京山田清助製

乾燥野菜

同上

蘿蔔(午勞胡蘿蔔)和洋種青芋、爪哇薯蓮根球葱

等ノ數品アリ其ノ外觀、色澤共ニ佳ナルヲ認メタリ殊ニ乾燥蔬菜ハ何レモ洋製ニ摸擬セルモノニシテ(即チ乾燥機械ヲ以テ乾燥シ壓搾機ヲ以テ壓搾シタルモノ其ノ形狀調製ノ宜シキ他方ノ出品ノ比ニアラス蓋是等ノ乾燥アルハ二十八年後ノ事ナルカ歲月ヲ經ルノ淺キニ拘ハラス發達ノ度甚タ速ニシテ此ノ如キノ優品ノ軍糧ニ供セラル、ニ至リタルハ我農産製造ノ上ニ一進歩ヲ致シタルモノト云フヘシ

### 五文部省

○札幌農學校

本校ヨリ出品セラレタル瓜哇薯、同澱粉、苹果同乾燥品、牧草、乳油其他ノ畜産製造物等ノ標本及

重要果樹ノ病害標本同害蟲標本、有益鳥類ノ標本等ニシテ尙之ニ關係アル諸般ノ解説ヲモ添附シ其ノ採收整備ノ懇ナル深ク有益ノ參考料ナルヲ感セシメタリ  
瓜哇薯ノ標本ニ添附シタル其ノ收穫量及澱粉量ノ別表ハ左ノ如クニシテ收穫量ハ同薯二十七種ニ對シ明治三十年ヨリ三十四年ニ至ル五ケ年間ノ平均一段步改算收穫量ヲ示シ又ソノ澱粉料ハ三十三、三十四ノ兩年ニ於テ試驗シタル平均率ヲ一段步ノ收穫高ニ對シ算出シ得タル分量ナリト云フ

品種	項目	十坪ニ對スル五ケ年ノ收穫量				平均	同上一段步改算收穫量	澱粉製出量ニ對シ平均	一段步ノ收穫量ニ對シ澱粉製出
		廿一年度	廿二年度	廿三年度	廿四年度				
グリーンマウンテンシカゴマーケツト	大	10500	16100	14500	15500	14500	38800	10579	
	中	5100	9900	9000	8200	8290	21900	2665	
	小	3600	3300	2800	2900	2900	8500	2970	
	合計	17700	29300	26300	27400	27400	75200	10579	
モンローシード	大	4080	9300	19500	15500	14700	51400	10345	
	中	3600	1800	8500	8700	8100	24400	2970	
	小	3600	2100	1900	1900	1900	7400	2365	
	合計	11280	13200	29400	25100	25700	83200	10345	
ボグキ	大								
	中								
	小								
	合計								
アメリカン	大	14300	17400	16300	14900	15900	46400	10345	
	中	2780	9900	8100	8400	7600	22800	2970	
	小	2780	3000	1500	1500	1500	5780	2365	
	合計	19860	30300	25800	24800	25000	74980	10345	







品名	小	中	大	合計
ホワイト、キド	四、七四〇	二、八〇〇	二、二六〇	九、八〇〇
マージョラン	七、三〇〇	八、〇四〇	二、二四〇	一七、五八〇
亀田	四、三〇〇	四、九六〇	二、二四〇	一一、五〇〇
ミヨットスアツ	四、九八〇	六、七六五	七、〇八〇	一八、八二五
スノー、フレ	四、一八〇	七、〇八五	五、六八〇	一六、九四五
マクノムボ	四、〇三〇	六、六九〇	三、一八〇	一三、九〇〇
ハンド、レッド、フオールドフリ	六、〇〇〇	九、二六〇	二、七〇〇	一八、〇六〇
チリガ子ツト	三、八四〇	二、九四〇	二、五五〇	九、三三〇

品名	小	中	大	合計
ピーチブロー	三、四八〇	二、七〇〇	二、七〇〇	八、八八〇
チリガ子ツト	三、八四〇	二、九四〇	二、五五〇	九、三三〇

苹果ノ出品計二十七種大小濃淡以テ北海ノ産斯ノ優秀ノモノアルヲ示スニ足ル而シテ其ノ解説マタ簡ニシテ善ク要領ヲ得タリ今二十七種ノ名稱ヲ列記スレハ左ノ如シ

品名	洋名	北海道輸入番號	赤龍	岩手縣同	青森縣同	山形縣同
名龍	Baldwin	一號(俗稱一號)	赤龍	赤龍	金時	三國一
赤威	Cooper's market	二號(俗稱二號)	赤龍	赤龍	花王(鍋屋)	旭丸
緋威	Swear	二十六號	赤龍	赤龍	スワ	スワ
君ヶ袖	Northern Spy	五號(俗稱二十四號)	赤龍	赤龍	スワ	スワ
蝦夷香	Roxbury Russet	八號(俗稱八號)	赤龍	赤龍	スワ	スワ
柳玉	Suits Cider	十號(俗稱四十八號)	赤龍	赤龍	スワ	スワ
菊形	Wagener	十二號(俗稱十二號)	赤龍	赤龍	スワ	スワ
緋ノ衣	King of Tompkins county	三十一號(俗稱十九號)	赤龍	赤龍	スワ	スワ
緋衣別種	Dominie	二十號	赤龍	赤龍	スワ	スワ
薄雲	Tallman's Sweet	二十八號(俗稱カキリンゴ)	赤龍	赤龍	スワ	スワ
甘露	Yellow Balloneer	二十九號(俗稱二十九號)	赤龍	赤龍	スワ	スワ
鳳凰卵	Yellow Balloneer	二十九號(俗稱二十九號)	赤龍	赤龍	スワ	スワ



國光	Rawle's Jannet	三十四號(俗稱四十九號)	晚成子	晚成子	雪ノ大	雪
大狸々	Mother	四十九號(俗稱御料局七號)	紅斜子	大狸々	大狸々	潜
紅斜子	Cogswell	七十號(俗稱二十六號)	キヤクフ子	日ノ出	薄雲	ワキンサッ
初日ノ出	White-squ	五十六號	緑星	乙母	葉縮	ブキンサッ
青龍	White Peppin	六十六號(俗稱九號)	満紅	青龍	千生	楯無
紅玉	未詳	未詳(俗稱六號)	蝦夷衣	満紅	貴妃笑	出羽飲
倭錦	未詳	未詳(俗稱阿部ノ七號)				
翠玉	Fall Peppin	六十一號(俗稱二十八號)				
麗月	Newtown Peppin	二十三號(俗稱三號)				
玉霞	Westfield s-ek-	三十六號(俗稱二十三號)				
鶴ノ玉子	No-Furber	四十六號(俗稱三十號)				
白龍	Orley	三十三號(俗稱二十三號)				
小錦	White winter	十三號				
	Pearmain					
	不詳					
	Mammoth					
	Pippin	三十二號(俗稱アレキ)				

苹果ノ分析ハ生果ヲ皮、心、肉ノ三部ニ分チ肉即可食部ノミヲ試用ニ供シ固形物及水分ハ細斷シタル肉實ヲ直チニ乾燥管ニ採リ熱湯乾燥器内ニテ乾燥セシ後定量シ又比重汁液中ノ固形物酸分等ハ肉實ヲ薑擦子ニテ細末トナシ綿布ヲ以テ壓搾シ得タル汁液ヲ以テ定量ヲ行ヒタルモノニシテ汁液及糟可溶解分及不可溶解分ノ割合ハ左式ニ依リ算出セリ

$$\frac{\text{全水分} \times 100}{\text{汁中水分}} = \text{汁液} \quad \frac{100 - \text{汁液}}{100} = \text{糟}$$

酸分ハ全離酸ヲ林檎酸トシテ計算シタルモノニシテ全糖分ハ果實糖及甘蔗糖ヲ果實糖トシテフエーリング試薬ヲ用ヒ定量シタリト云フ其ノ果實四十三種ノ分析平均ノ結果ハ左ノ如キヲ示セリ

果實百分中	肉分	七七、八二
	皮及心分	二二、一五
肉實百分中	全水分	八六、九七
	全固形物	一三、二〇
肉實百分中	汁液分	九七、〇一
	糟分	二、九七
汁液	比量	一、〇四七
	固形物	一、〇四三
汁液百分中	全酸分	〇、六五
	全糖分	九、三六
酸ト糖比		一、六七

乾燥苹果ハ各種ノ苹果ヲ熟期毎ニ採收シテ乾燥シタルモノニシテ即チ原料一貫二百匁ヲ乾燥スルカ爲ニ亡失シタル心及皮ヲ乾燥シテ得タル果實トノ百分比率ヲ表示セリ其ノ四十二種ノ平均比率ハ左ノ如シ



皮及心量

百分比率

乾肉實量

百分比率

畜産製造物ノ出品ハ乳油、乳餅、乳汁、熏腿、腸詰等ニシテ其ノ原料及製造法ニツキ簡單ニ説明ヲ附シタリ

果樹病害標本ノ出品ハ果樹ノ「モニリヤ病」(一名灰星腐敗病)同皮膚病(一名腐敗病)黒斑病梨ノ黒星病、苹果ノ赤星病梨ノ赤星病等ニシテ其ノ病原菌病徵豫防法ヲ約記シテ示シ又果樹害蟲標本ノ出品ニハ苹果ノ害蟲九種梨ノ害蟲二種櫻桃ノ害蟲一種アリ其ノ經過狀況ヨリ驅除豫防ノ法ニ至ルマテ整然一目ノ下ニ判然ナラシメタルハ採集製作ノ功少小ナラサルヲ見ルニ

有益鳥類ノ標本ハ其ノ數四十五種ノ多キニ及ヘリ蓋是ハ同道ニ於テ農林事業ニ有益ナル鳥類ニシテ現法ノ保護ニカ、ルモノ、外特ニ有益ト認ムルモノ數種ヲ加ヘタルモノニシテ其ノ名稱ハ左表ノ如シ但餌食ハ専ラ胃中ニ存在セルモノニ係ルトイヘトモ凡鳥類ノ餌食スル昆蟲ハ種類多クシテ四時一定セサルハ勿論消化作用ノ速ナルヲ以テ其ノ形体ヲ存スルモノ稀ナレハ調査上主要部分ヲ缺如スルモノ多ク一々其ノ種名ヲ知ルハ難シトスル所ナリ故ニ其一斑ヲ記セン(左表中白線ハ在留スル季節、黒線ハ産卵時期ヲ示ス)

名稱	學名	季節												餌食	習性	特徴
		一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
1 ぬきじな	<i>Geocichla varia</i> Pall.													しやくとりむもあむむく樹實	豊ハ林中陰鬱タル如地ニ徘徊シ朝食	鵲大ニシテ上部暗
2 くろくぐみ	<i>Merula cardis</i> F.													しやくとりむあむむく樹實	田圃ノ附近低濕ノ地ニ棲ミ短木密成	上部一様ニ黒ク腹黒キ斑紋ヲ有
3 しんぼら	<i>Merula pallida</i> Gm.													右同	林中雜木密生中ニ棲息シ七月頃幼鳥	上部一様ニ黒ク腹黒キ斑紋ヲ有
4 わかばら	<i>Merula chrysolans</i> F.													右同	夏ハ平原秋ハ林中近低濕ノ地ニ棲息	上部しろばらニ似タル濃色腹側ハ赤
5 はみちぎしな	<i>Merula obscura</i> Gm.													右同	林中雜木密生中ニ棲息シ七月頃幼鳥	形状あはらニ似リ色ハ總テ暗シ
6 のんち	<i>Erithacus calliope</i> Pall.													小形ノ蝶、蛾類	平地草叢中ニ棲息スシシ高ク飛ブコトナシ	うぐひすニ似タル赤色雌ハ光澤アリ
7 のびた	<i>Panhiicola maera</i> Pall.													右同	重ニ海邊平地ニ多ク棲息シ地上四所ニ構巣ス	小形ニシテ嘴ノ根
8 りびた	<i>Tarsiger cyanurus</i> Pall.													小形ノ蝶、蛾類	夏深林中ニ棲息シ初夏初秋ノ頃多ク	上部茶色ニシテ雄ハ白キ眼條アリ

二八〇

二三三三

一七八

一四八六



9	さびたき	Nanhygyia narssina Tr.		しやくとりむ	林中ノ隙所に棲息ス	地ノ黄色黒トテ
10	ひよどり	Hypsipetes amurensis Tr.		瀧木ノ實、甲	夏ハ陰鬱タル森林ニ棲息シ秋深ニ	上部灰黒色ニシテ
11	おぼよし	Phylloscopus xanthodryas Sw.		蚊、甲蟲類	田圃沼川ノ邊葦茅	上部灰黒色ニシテ
12	たきく	Regulus cristatus orientalis Seeb.		小形ノ甲蟲類	中重ニ松柏科植物林	極メテ小形ノ鳥ニ
13	こがら	Parus palustris japonicus Seeb.		小形ノ蝶、成虫、草木幼虫	春秋ハ平原森林ノ	小禽ニシテ上部茶
14	ひがら	Parus atr. pekinensis Seeb.		右同	右同	頭上ハ光澤アル黒
15	らしじろか	Parus atriceps minor Tr. & S.		右同	右同	色ニシテ上部黒
16	がしまき	Acridula caudata L.		右同	秋末降雪ノ頃ニ來	小禽ニシテ頭上純
17	ひみこ	Troglodytes fumigatus Tr.		細微ナル甲蟲類	低地水邊ノ林中陰	上部一様ニ暗茶色

18	あまわり	Sitta caesia Wolf.		あり、めんち	林中隨所ニ棲息シ	上部一様ナル灰青
19	おぼよし	Lanius major Pall.		い、なご、ばつ	海邊ノ林中又ハ田	普通もゴヨリ大形
20	ら	Lanius bucephalus Tr. & S.		右同	山麓田圃ノ附近ニ	頭上赤色ニシテ背
21	むく	Sturnus chinensis Tr.		あぶらうじ	常ニ平原ノ立樹ニ	頭上黒色ニシテ白
22	どしどし	Sturnia pyrrhogenya Tr. & S.		幼虫ノ成虫及	多ク桑園果樹園ニ	雌ハ頭上灰色ニシ
23	せせみ	Motacilla lugens Kittel.		小形ノ蝶類	河川ノ畔又ハ海邊	似タルニ似たり
24	せせり	Motacilla japonica Sw.		右同	冬期氷結セサル低	傾屑及顔ヲ除キタ
25	せせり	Motacilla braconia molanoye Pall.		小形ノ甲蟲類	田圃庭園ノ附近ニ	上部一様ニ灰色ニ
26	びんす	Anthus maculatus Hodges.		右同	平地林中又ハ雑草	羽毛ダヒビリニ似























島宮廣佐東山長長奈岡熊福秋鳥群神德和香兵山  
歌 祭

農務省 口庫川山島川馬取田島本山良崎野梨森京賀島城根

一、八二七、六三四	四九八、〇九〇	三、〇〇三、四四八	九二〇、一一〇	一、三三四、〇〇〇	一、三〇〇、四七〇	七、六四八、七四二
六九〇、五五三	四五六、三四五	四三四、三三六	四一〇、七五〇	五、一六八、一九七	三、九二、五二〇	七、五五二、六〇一
一、〇二二、九二七	七二六、四三〇	三、二〇九、八六七	二、九〇、六三四	二、〇九二、八二六	一、一七、九八〇	七、四五四、六五四
一、三九三、四七二	三六三、五四〇	四、六三二、六三〇	四、六三二、六三〇	三、八一五、〇〇〇	二、一九〇、六四〇	七、三二〇、二八二
一、一五三、九八八	二〇三、四七〇	一、三〇一、六八五	一、八二二、八五〇	三、六八七、八八六	二、〇六八、〇〇〇	六、八七六、〇五三
三三四、七三四	一七六、九二〇	三、六〇、八一〇	四九九、九〇〇	五、四四二、〇三〇	三、一一、三五〇	六、六六五、七四四
一、一六五、一一一	一九四、三〇〇	一、一八八、五四七	一、六〇、一五〇	三、六八七、八八六	一、七四、二三〇	六、五七〇、一四四
九一九、五九〇	六二二、一四〇	一、九八四、九四九	三一九、六〇八	二、〇六八、〇〇〇	二、四六、三七〇	六、一五九、六五七
一、〇〇九、三七〇	一九三、八六〇	一、六〇二、〇〇八	四三九、二二一	一、五四三、〇〇〇	一、四六、三八〇	六、〇四九、八一六
一、一三八、四四一	四四七、八四〇	二、四二二、二二三	三六〇、〇〇〇	一、五四三、〇〇〇	八〇八、〇七〇	五、九九三、四四三
二、一六二、二八四	三二七、一七六	二、六〇三、五一八	七〇九、九三五	一九〇、〇〇〇	四三〇、三七〇	五、七八九、九八三
二、三六五、九五八	三九六、九六〇	二、一六四、四六八	二五六、七六〇	八五〇、〇〇〇	四三〇、三七〇	五、五一四、五一六
七六〇、九七〇	四一〇、〇五八	三、九三九、一五八	三三二、九二四	一、六三〇、〇〇〇	一五六、八七〇	五、四四九、九八〇
八八七、四三三	二四〇、一一五	一、八六二、八四三	一四六、一七〇	一、六三〇、〇〇〇	二二九、九二〇	四、七〇四、九〇六
七八七、一七九	五八、一六〇	九七五、九二八	一、二五、三五〇	七九九、九八〇	八四、六三〇	四、二八七、六四一
二、九八三、四六八	二八二、九五〇	二〇八、八五八	七六、五〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、二五、六〇〇	四、〇五〇、三四九
二、六一〇、六四	一七二、六八〇	二五八、七七〇	六八、五五〇	三、〇〇〇、〇〇〇	二、二八、三七三	三、七五九、三六六
一、三三四、七七三	三九四、四八〇				三、〇〇〇、〇〇〇	二、〇三七、三四五
三八四、〇九五	九二二、二〇〇					一、八〇五、〇〇三
七三、六一〇						一、〇三七、三四五

二九

千石新茨高岐大福北大栃岩愛山宮愛福三滋鹿鹿靜  
兒 海

農務省 岡玉島非重賀知形崎媛手木道坂岡分阜知城瀨川葉

一、三〇三、九六三	三〇四、六二〇	二、七五〇、九六四	三、五五、八〇〇	八、四〇〇、〇〇〇	一、五〇、五二〇	一、三、一六五、八五七
一、四八四、二五八	五九七、四五〇	一、六五九、七三〇	二五一、五九〇	五、七〇〇、〇〇〇	一、七八八、三〇〇	一、一、四八一、二二八
三、六一八、八四〇	三九一、二八六	六、五〇〇、〇〇〇	二五六、六九二	五、七〇〇、〇〇〇	一、三三二、八九〇	一、一、三三三、六一八
一、五二八、九四一	三三七、八四〇	四四九、八二六	二四四、六九〇	七、八一九、九九四	三〇三、二〇〇	一〇、六八四、四九一
一、三七八、九九九	二八二、一六〇	九八五、八八三	三九四、五四六	七、四五四、〇一六	一、六九、五八〇	一〇、六六五、一八三
一、七九六、六二七	二、三三三、三五五	四、六三三、八四四	七二〇、二二五	一、七九九、九九〇	三三二、五七七	一〇、四八四、五七八
二、〇三九、四五四	六五九、一一〇	一、一六一、二四五	一四、二六〇	六、一七二、二四〇	二、九九九、七二五	一〇、三四六、〇三四
二、一八〇、三六〇	七四〇、一一五	六、三三三、七四〇	六二六、〇〇〇	一、三六〇、三四〇	二、六四四、三三〇	一〇、一三四、三四五
二、四一四、七四五	二七五、九四〇	六、三三三、六四八	三、四七、三三五	一、七〇四、四二〇	九六、六五〇	九、八四三、四五八
一、九四三、二四三	六五四、〇〇〇	三、三〇一、二五八	六三〇、〇〇〇	一、七〇四、四二〇	二、五九五、三五三	九、八二八、一七四
二、七〇四、二七五	五七、三三〇	四、八三三、〇〇〇	二〇一、六四八	一、七七〇、〇〇〇	一、一八、六五〇	九、六七六、九〇三
九四八、三三七	三、五九、九七九	一、〇三八、四九〇	二四〇、九〇〇	六、八三三、六七四	一、三三、二一〇	九、四五〇、五九〇
一、八三〇、七八七	四三六、七四三	六、〇五三、三三三	六七一、二三五	三、〇七五、〇〇〇	四七一、二〇〇	九、四三三、一九六
一、五二七、三三〇	三三、〇〇〇	三、六八九、五四二	六六〇、〇三五	三、〇七五、〇〇〇	一、二六、〇六〇	九、〇九九、九七七
八四二、七七四	八三三、二〇〇	一、四八八、七二九	一一四、九九五	三、四〇〇、〇〇〇	二、五二、八九二	九、一五七、七九八
一、五二二、一五三	三、六八、七三五	六、二五五、八三〇	六七七、一九七	四、三九一、三六二	一、三七、六三〇	八、九六二、五五五
一、五七三、七八	七三五、六二〇	一、五五五、九三三	一九八、七二八	四、三九一、三六二	四、五四、八九九	八、九二二、七〇〇
四四八、七九六	二九六、五四〇	一、二六四、四七二	一五六、二五〇	六、二六〇、九六三	四、一六、六三〇	八、八四三、六五二
一、〇五二、四七五	二二六、九九五	五、〇三〇、八一〇	五八、七五〇	五〇〇、〇〇〇	一、五三五、八八八	八、三八四、九一八
一、八〇三、七七五	一〇六、五〇〇	三、六一、一〇五	九九、二五〇	二、一七六、五一〇	三、六六、八六〇	八、一六三、〇〇〇
九三二、九八七	一三三、〇七〇	三、三八五、八三五	七五五、二二六	二、七九〇、〇〇〇	七、九七七、一一八	七、九〇〇、〇八五
九六〇、四二七	五三六、四七〇	四、八三五、五五二	四、六九、四三三			

二八



沖	農商務省	五八、七三五、七三三	一七、八五四、五三五	一三、〇四二、一六一	一四、三五二、四四二	二二〇、八四三、三六〇	三三、三七一、五八一	三三五、一九九、八〇三
計	細							

乙 號  
道府縣農會 明治三十五年度經費豫算

山	長	山	東	秋	栃	福	群	德	神	香	熊	和	島	山	沖
梨	崎	形	京	田	木	島	馬	島	川	川	本	山	取	口	繩
九七九、〇〇〇	一、〇〇九、二一〇	一、八五五、一〇〇	一、四三九、七九〇	一、二七六、七五〇	二、七六〇、九〇〇	八〇四、六四〇	一、五〇〇、〇〇〇	九八六、三〇〇	一、三五五、三〇〇	六八八、七六〇	一、〇三六、〇〇〇	五六六、五〇〇	九六九、二六〇	三八〇、三六〇	四一四、七五〇
五〇〇、〇〇〇	三六六、六八〇	八九五、〇〇〇	二九七、〇〇〇	七五六、六〇〇	四〇六、六〇〇	四三三、二五〇	五二〇、〇〇〇	四一八、二四〇	三六五、一〇〇	七三二、九〇〇	六〇三、三四〇	四一四、七五〇	一、七四九、五〇〇	三六〇、〇〇〇	四一四、七五〇
四、七〇九、三〇〇	四、四六二、七三五	一、八三三、〇〇〇	一、八五九、四〇〇	二、六二〇、八四三	二、一九四、〇〇〇	五、三二五、六四〇	三、七八五、〇〇〇	三、四〇六、六〇〇	三、七二二、八五〇	三、五八六、一八〇	五、〇〇九、九四〇	四、〇七六、〇〇〇	一、七四九、五〇〇	一、七四九、五〇〇	四、〇七六、〇〇〇
三三〇、〇〇〇	五七六、〇〇〇	三〇〇、〇〇〇	四〇五、〇〇〇	五三〇、〇〇〇	三六四、〇〇〇	三八四、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	四八〇、〇〇〇	二五〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	三五六、〇〇〇	二六四、〇〇〇	三六〇、〇〇〇	二六四、〇〇〇	二六四、〇〇〇
二五〇、〇〇〇	二〇〇、〇〇〇	三、五九五、四〇〇	四、七六二、〇〇〇	三、四三三、〇〇〇	二、七八〇、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇	二、七八〇、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	四、六六〇、〇〇〇	三、五九五、四〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、七五〇、〇〇〇	一、六九五、〇〇〇	一、七五〇、〇〇〇	一、六九五、〇〇〇
五〇〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	五、一三七、九二〇	九、〇〇〇、〇〇〇	二、九四、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三、五、四九〇	二、九四、〇〇〇	二、三三、一七〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、六四、七五〇	一、五六、九四八	一、六四、七五〇	一、五六、九四八
三五六、一三〇	四七、八二〇	三六〇、三三〇	三六〇、三三〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇	二、三三、一七〇
九、四二四、四三〇	九、〇八三、四六五	九、〇三八、二二九	九、〇三八、二二九	八、九二八、二八五	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇	八、七四五、〇〇〇

鹿	奈	兵	崎	岩	青	愛	岐	大	廣	宮	岡	長	佐	新	大	三	福	北	高	石	愛
島	良	庫	玉	手	森	媛	阜	坂	島	崎	山	野	賀	澗	分	重	井	道	知	川	知
一、六〇八、六七〇	一、四六〇、〇〇〇	一、二五〇、五〇〇	一、〇六五、二〇〇	一、〇三五、八八〇	一、三三九、九八〇	一、五七六、二〇〇	四七七、八〇〇	一、〇三五、八八〇	一、四四〇、八六〇	一、二七九、一四〇	一、三三九、九八〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇	一、〇七三、五〇〇
二八七、五四〇	七六六、〇〇〇	一、三四五、七二〇	三六五、〇〇〇	三二一、六四〇	三三二、九一〇	三七二、六二〇	八三五、三五〇	三二一、六四〇	三二七、二〇〇	九五五、八五〇	三三九、〇〇〇	五七四、六六〇	八八五、九〇〇	八八五、九〇〇	七〇五、二六〇	七〇五、二六〇	七〇五、二六〇	七〇五、二六〇	七〇五、二六〇	七〇五、二六〇	七〇五、二六〇
四、四一六、二五〇	三、五四四、〇〇〇	二、一〇七、七九〇	三、四〇六、六〇〇	三、七八五、〇〇〇	四、一八一、四〇〇	四、二四七、四四〇	四、二四七、四四〇	四、一八一、四〇〇	八、二二〇、四〇〇	六、〇一一、三六〇	五、九七五、九〇〇	七、一一七、八〇〇	五、〇三〇、〇〇〇	三、六九五、〇〇〇	三、二八五、〇〇〇	三、二八五、〇〇〇	三、二八五、〇〇〇	三、二八五、〇〇〇	三、二八五、〇〇〇	三、二八五、〇〇〇	三、二八五、〇〇〇
八八、〇〇〇	三七八、〇〇〇	二二二、六〇〇	一九八、〇〇〇	三九八、〇〇〇	一、九八〇、〇〇〇	一、九八〇、〇〇〇	一、九八〇、〇〇〇	一、九八〇、〇〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇	二、二二二、六〇〇
二、五三五、〇〇〇	三、〇七二、五七〇	四、三〇〇、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	四、六六〇、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇	三、一〇五、〇〇〇
六九、〇〇〇	二四九、四三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇	二〇五、三三〇
四三三、四八〇	一〇〇、〇〇〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇	二四九、四三〇
九、四二六、九四〇	九、五九〇、〇〇〇	九、六六六、三九〇	九、〇三三、〇〇〇	一〇、一五五、四〇〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇	一〇、五六四、〇五〇



千	茨	島	京	靜	福	宮	滋
葉	城	根	都	岡	岡	山	賀
一、七〇、二〇〇	三、〇五、五五〇	一、八六〇、三九六	一、六八八、〇八五	一、七〇六、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、五三三、〇〇〇	一、六二〇、五〇〇
三、三九、九三〇	六、四八、二〇〇	一、四七八、三八〇	七、一四、八〇〇	六、六六、〇〇〇	五、七九、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	七、四四、七四〇
四、〇八、二二〇	一、一九、一七〇	三、四〇、七八〇	七、七八、三三八	六、三三、〇〇〇	二、五二、九五五	一、〇六、三三八	一、四六、四五〇
二、八八、〇〇〇	五、五六、一〇〇	七、五二、〇〇〇	五、六四、〇〇〇	四、五〇、〇〇〇	七、五二、五〇〇	一、〇三、五〇〇	四、〇〇、〇〇〇
八、五〇、〇〇〇	九、九七、〇〇〇	五、五〇、〇〇〇	三、五二、八〇〇	六、二六、〇〇〇	一、〇四、三四五〇〇	四、八〇、〇〇〇	一、〇三、五七〇〇〇
一、六、一三五	八、五、一〇〇	五〇、〇〇〇	二、九八、八六七	二、〇七、五三三	三、五九、二六〇	三、三三、五二〇	一、四一、三三四
一、五二、一六〇	一、六三、六〇〇	八、六六、一六〇	八、三〇、〇〇〇	一、二〇、〇〇〇	三、四一、一七〇	二、二六、五〇〇	六、二〇、一〇〇
一、四、六四八、六三五	一、四、六六六、一五〇	一、四、九一四、七九六	一、五、三七七、〇九〇	一、五、七〇五、五三三	一、五、九五五、九六五	一、八、六〇〇、〇〇〇	二、一、五一一、五六四

四 國立及道府縣立農事機關配置圖 明治三十六年三月現在

本邦ノ農事軌近漸ク改良進步ノ氣運ニ嚮ヒタルハ主トシテ農事ニ關スル諸種機關ノ發達ニ職由ス故ニ農事機關ノ配置如何ヲ圖示スルハ敢テ無用ノ業ニアラサルヘシ即チ本圖ハ農商務省ノ管轄ニ屬スル官立及地方立機關ヲ符號ヲ以テ日本圖上ニ描出シ以テ機關ノ種類及所在ヲ明ナラシムルモノトス圖上ニ掲ケタル機關ハ左ノ如シ

- 官立農事試驗場本支場
- 官立農務局製茶試驗所
- 官立蠶業講習所
- 官立種牛牧場
- 道府縣立農事試驗場
- 官立農事試驗場煙草試驗地
- 官立農務局製茶試驗所
- 官立種馬牧場
- 官立種馬所
- 道府縣立農事講習所

道府縣立種畜場 道府縣立農事巡回教師

備考 左表ハ圖ニ示シタル機關ノ名稱所在等ナリ

道府縣	名稱	設立者	位置
北海道	北海道廳地方農事試驗場	地方費立	上川郡旭川町
北海道	北海道廳農事講習所	同	札幌區北一條西十九丁目
北海道	北海道廳種畜所	同	真駒内
東 京	北海道廳農事巡回教師	立	三名
東 京	東京蠶業講習所	立	北豊島郡瀧ノ川村西ヶ原
東 京	農務局製茶試驗所	立	全
東 京	東京府農事講習所	立	全
東 京	京都府農事講習所	立	豊多摩郡中野町大字中野
東 京	京都府農事講習所	立	葛野郡衣笠村
東 京	京都府農事講習所	立	葛野郡桂村
東 京	京都府農事講習所	立	南河内郡柏原村
大 阪	大阪府農事巡回教師	立	一人
大 阪	農事試驗場煙草試驗地	立	中郡秦野町
大 阪	神奈川農事講習所	立	橘樹郡保土ヶ谷町
兵 庫	兵庫縣農事講習所	立	明石郡明石町
兵 庫	兵庫縣農事巡回教師	立	二人
長 崎	長崎縣農事講習所	立	長崎市中ノ郷字向分下
新 潟	新潟縣農事講習所	立	古志郡長岡町字今朝日
新 潟	新潟縣農事講習所	立	大里郡玉井村
埼 玉	埼玉縣農事講習所	立	







岡山	岡山縣農事試驗場	同	立	吉備郡高松村
廣島	岡山縣農事巡回教師	同	立	比婆郡山内東村字三日市
山口	七塚原植牛牧場	同	立	廣島市大字國秦寺村
和歌山	廣島縣農事試驗場	同	立	吉敷郡大内村
德島	山口縣農事巡回教師	同	立	四一人
香川	和歌山縣農事巡回教師	同	立	縣廳内
愛媛	德島縣農事講習所	同	立	香川郡栗林村大字上ノ村
高知	香川縣農事試驗場	同	立	温泉郡余土村
福岡	愛媛縣農事巡回教師	同	立	長岡郡長岡村字鵬塚
大分	高知縣農事試驗場	同	立	福岡市東中洲町
佐賀	福岡縣農事巡回教師	同	立	二人
熊本	大分縣農事巡回教師	同	立	佐賀郡神野村
鹿兒島	佐賀縣農事巡回教師	同	立	一人
宮崎	農事試驗場九州支場	同	立	飽託郡出水村
	熊本種馬所	同	立	球磨郡川村
	熊本縣農事巡回教師	同	立	西諸縣郡小林村
	宮崎種馬所	同	立	宮崎郡赤江村大字恒久
	宮崎縣農事試驗場	同	立	同 郡宮崎町大字上別府
	宮崎縣農事講習所	同	立	

鹿兒島	宮崎縣農事巡回教師	同	立	三人
	九州種馬牧場	同	立	始良郡牧園村下中津川
	鹿兒島縣農事試驗場	同	立	鹿兒島市荒田村
	鹿兒島縣農事巡回教師	同	立	四人

### 五 米產額表

本表ハ我邦各府縣並ニ北海道ニ於テ明治三十年ヨリ同三十四年ニ至ル五箇年間ノ米產出額ヲ平均シ其ノ額ノ多少ニ依テ色別表示セルモノナリ但シ粳米糯米ヲ合算ス  
 参考ノ爲メ三十年ヨリ三十四年迄各年ノ產出額ヲ掲ケ其ノ平均產額ヲ示ス

#### 米產出額(道府縣別)

府縣名	自明治三十年至三十四年	平均高明治三十四年產出額全	三十三年產出額全	三十二年產出額全	三十一年產出額全	三十年產出額全
北海道	一〇〇、〇七六	一六五、五九三	一一九、八七三	九八、三四二	七五、六八七	四〇、八八四
東北	二九四、〇一五	三二四、一四九	二九八、一八二	二八三、六六六	三三三、五一九	二四〇、五五七
東京	七四三、〇三七	七七八、四六三	七八四、一三四	六六四、三二七	八八六、二七五	六〇、九三九
京都	一、〇三三、五七一	一、三〇二、五六二	九七三、〇一六	九二八、四三七	一、二七六、八六六	七八、九七三
大阪	三七六、八七九	四二二、九四五	三五三、七二五	三六六、六七五	四六三、一七九	二八八、八七三
神奈川	一、八二二、七七三	二、一四七、八四五	一、九二七、〇一四	一、四六一、三〇四	二、三三〇、三七五	一、一九七、三三二
兵庫	三七四、六〇三	四〇七、一三六	三三六、一六三	四〇〇、一八五	四一〇、六八五	三三八、八五四
長崎	二、二六四、八四六	二、六四五、一二二	二、三五〇、一五五	二、三九二、五八四	二、八〇九、六三七	一、二六六、七三二
新潟						



富石彌秋山青岩福宮長岐滋山靜愛三奈栃茨千群埼  
山川井田形森手島城野阜賀梨岡知重良木城葉馬玉

Table with 10 columns and 10 rows of numerical data, likely representing agricultural production or population statistics for various regions.

Table with 10 columns and 10 rows of numerical data, similar to the one on the right page, representing regional statistics.

六 麥産額表

本表ハ米産額表ト同様ナル理由、方法ニ依テ作成セルモノナリ其ノ數字ハ次表麥産出額道府  
縣別ノ如シ但シ大麥、小麥、裸麥、ヲ合算ス



麥產出額(道府縣別)

府縣名	平均高				
	自明治卅一年 至卅五年	明治卅五年產出額	明治三十四年產出額	明治三十三年產出額	明治三十二年產出額
北海道	三九〇,〇〇〇	三六四,七九四	三六四,七九四	三五七,三六〇	二五一,八七〇
東京都	四四六,三二五	四四五,三一七	四四五,三一七	四八七,六九九	五〇五,四八六
大阪府	二七五,二四七	二八三,二四八	二八三,二四八	二八七,四九七	二四八,四五一
兵庫縣	四三五,八五八	四六三,八四四	四六三,八四四	四五六,六〇六	四〇〇,一〇三
神戶市	四七六,二三四	四九二,〇四八	四九二,〇四八	四九五,一五八	四七一,二九三
長崎縣	八四四,九二四	八八一,〇六五	八八一,〇六五	八八四,七七三	七四九,八一八
新潟縣	一五五,八五六	一五四,四六七	一五四,四六七	一三二,八八五	一〇八,六四五
群馬縣	一一七,九〇七	一一三,二二五	一一三,二二五	一〇九五,七五六	一〇四四,二一九
茨城縣	七三三,三二四	六八八,一八六	七〇一,五二六	七六九,四六五	七三七,一〇四
栃木縣	二〇三,三三三	二〇三,三三三	二〇三,三三三	二〇三,三三三	二〇三,三三三
群馬縣	六六,〇〇〇	六七一,一〇九	七二六,五四六	七三〇,六一三	七三九,五六九
奈良縣	三三〇,九七〇	三二九,一一五	三二九,一一五	三二二,九一四	二〇七,九〇三
三重縣	三二五,五六六	二八〇,一四〇	三三〇,〇八六	三三三,三六三	二九八,七五四
愛知縣	八八八,八八九	八二四,七七〇	八八四,八一	九三二,四三〇	八〇七,四六一
靜岡縣	五五九,一五三	五〇八,〇六三	五九七,一七七	五五六,三八五	五一九,七二八
山梨縣	三六三,二九三	三一一,〇二七	三九九,八〇二	三九二,一四一	三九二,四九七

府縣名	平均高				
	自明治卅一年 至卅五年	明治卅五年產出額	明治三十四年產出額	明治三十三年產出額	明治三十二年產出額
滋賀縣	一五七,八五五	一四二,四四四	一四九,四〇六	一四四,二八一	一八三,〇九七
岐阜縣	四六八,八一	四五三,八〇二	四七二,五三六	四七二,四二二	四五九,五六二
長宮縣	五五五,八九三	五三九,八三四	五四五,〇七一	五五一,三八六	五九〇,一〇二
福井縣	三八四,一二七	三三〇,一九九	四〇五,六二五	三四一,一九二	四三三,一一九
石川縣	二八四,六五八	二七六,一五二	二九二,六八〇	二六二,六六二	三〇七,〇〇九
富山縣	三〇一,六四三	二八二,八一八	三三三,三三五	二八三,三二七	三三〇,六一一
宮城縣	三九,九〇九	三三,二四三	三七,三八四	四一,八一七	四〇,四三三
秋田縣	六五,八六三	六一,八一四	七五,三〇九	六九,一九四	六八,三三〇
山形縣	一一,一〇五	二〇,三二四	一八,六六四	一五,八一	二五,四四五
福島縣	九五,五二六	八九,〇一八	九二,四三四	八九,四九四	九八,三三三
廣島縣	一〇七,七三八	九二,〇八五	一〇一,一七三	一〇七,八〇九	一〇八,四二八
岡山縣	四七,一六六	四二,一一〇	四七,三七六	四八,一八一	四五,七七〇
山廣縣	一九二,一一九	一七七,八四三	一七七,三三三	一九七,五三〇	二〇三,二五一
德島縣	二六二,三四三	二六七,九六二	二六八,二七四	二五五,三八五	二四九,五五一
香川縣	六九七,四四九	六七五,九五三	七一五,五七六	七二六,一四八	六四〇,一一三
愛媛縣	六七九,八三六	六三五,八五五	七四三,八八〇	七一五,四七三	六二六,八九三
高松縣	五三八,六五〇	五三二,〇〇三	五五一,三四〇	五四六,二九七	五四一,一七八
山縣	三三七,〇一四	二二二,二四七	二五三,四八八	二八〇,五八九	二二六,一四一
島根縣	四四五,六四二	四四六,七五五	四四七,八一七	四九四,二二三	三九四,一八〇
鳥取縣	四九一,〇八九	四八二,一六四	五二九,八七四	五二四,五四七	三九九,〇一一
川島縣	五三一,四一六	四八八,五二二	五三三,七〇四	六五三,四四五	四三七,七二四
知縣	一六四,九七〇	一五五,七二三	一六四,〇七七	一八三,二八五	一五三,四五三



年次	總輸出價額	農産物輸出價額
明治三十四年	二五二、三四九、五四三	一〇二、九九六、四四四

七 總輸出入額ト農産物輸出入額トノ比較表

本邦貿易上重要ナル位置ヲ占ムルモノハ農産物ナリ今明治二十五年ヨリ同三十四年ニ至ル十箇年間ノ統計ニ徵スルニ農産物ノ輸出價額ハ總輸出額ニ對シ毎年其ノ過半ヲ占メ又輸入額ハ總輸入額ニ比スルトキハ二十五年ニ於テ殆ト其ノ三分ノ一ナリシモノ三十四年ニハ増加シテ殆ト二分ノ一トナレリ而シテ又其ノ十年間ニ於ケル増加ノ模様ヲ見ルニ總輸出額ハ三倍強トナリ農産物輸出額ハ二倍トナレリ總輸入額ハ三倍半餘ニ増進シ農産物ノ輸入額ハ殆ト六倍トナレリ即チ左表ノ如シ

年次	總輸出價額	農産物輸出價額
明治三十四年	二五二、三四九、五四三	一〇二、九九六、四四四

輸入價額

年次	總輸入價額	農産物輸入價額
同 三十三年	一九八、〇六三、五四七	六八、八九八、四五二
同 三十二年	二一一、四九五、三三五	九一、一〇三、四一二
同 三十一年	一六二、七九六、六五二	六三、五三三、三八三
同 三十年	一五九、三八八、四二五	七八、五二七、〇二〇
同 二十九年	一四、六一五、七八三	五〇、六三九、二七三
同 二十八年	一三三、五一六、九八六	七〇、四三八、六五四
同 二十七年	一一一、二九七、六九〇	五九、三九四、八六一
同 二十六年	八八、一四〇、七九四	四六、〇五四、三二一
同 二十五年	八九、三三九、一三四	五二、八九二、八一三

年次	總輸入價額	農産物輸入價額
明治三十四年	二五五、八一六、六四五	一三二、六四九、六三七
同 三十三年	二八七、二六一、八四六	一一二、五四八、五四四
同 三十二年	二二〇、四〇一、九二六	一一二、七五七、三七一
同 三十一年	二七七、五〇二、一五六	一四一、五一八、二四六
同 三十年	二一九、三〇〇、七七二	九九、八〇八、四四九
同 二十九年	一七一、六七四、四七四	六〇、〇八二、七三六
同 二十八年	一二九、二六〇、五七八	四四、九六八、六七二
同 二十七年	一一七、四八一、九五五	四四、四七七、二二七
同 二十六年	八八、二五七、一七二	三三、三五八、三一七
同 二十五年	七一、三二六、〇八〇	二六、二七一、三三〇



表中農産物ト稱スルハ輸出ニ在テハ蚕絲類、茶、米、麥稈、真田、烟草、木蠟、薄荷腦及油、人參、落花生、蔬菜及果實、蕃薯、百合根、蕪蜜柑、蕃椒、糸瓜、豆類、菜子油、麥粉ノ二十種ヲ輸入ニ在テハ線綿及生綿、砂糖、米油、精大豆、羊毛、乾藍、麥粉、苧麻、生卵、麥芽、乳膏、蕎麥ノ十四種ヲ合セタルモノニシテ之等各農産物ノ價額ハ次表ノ如シ

自明治三十四年十ヶ年間輸出入表  
至全 三十四年  
輸出ノ一

年別	種別	蚕絲類	茶	米	麥稈真田	煙草	木蠟	薄荷腦油
明治三十四年		七九、二六六、〇九九	八八、五四三、三三六	六、九〇八、九二二	二、九八九、八三六	一、七四八、四九三	六、〇三七、一	五、四二八、八
三十三年		四八、八八八、三四六	九〇、三五八、一一九	三、五七六、五六九	四、〇三五、一五九	七、七四、六二六	五、六一、四三五	二、三三、四七一
三十二年		六六、七七一、五二二	八、四九八、七八三	一〇、二八二、〇一一	二、七七〇、一七七	三、四三、三五六	六、四二、二二八	二、六八、五四七
三十一年		四四、七六八、九四〇	八、二二五、六六四	五、九三〇、一八五	二、四〇四、〇〇二	一、八四、七二五	六、〇九七、六〇〇	一、五八、二四五
三十年		五八、六八三、一〇三	七、八六〇、四六〇	六、一四一、二二七	三、一八一、九五	三、五二、七四〇	七、三〇、五七六	一、八〇、七〇九
二十九年		三二、六六六、二一〇	六、三三三、三三八	七、九五二、〇八七	二、七三三、五三三	二、五四、三三二	三、七二、七〇一	五、五二、九二八
二十八年		五〇、九二八、四四〇	八、八七九、二四一	七、二〇七、三四五	一、三三七、六四三	三、七九、七四三	三、三三、八四六	三、一〇、二八〇
二十七年		四二、八九二、七五一	七、九三〇、二八六	五、五九三、一五二	七、四三、三九九	三、四八、二七四	五、六二、三三	三、八五、八八一
二十六年		三二、五九一、八三五	七、七〇二、〇八八	五、〇〇一、一五七	五、七八、三九九	一、〇四、八九五	三、八三、七六五	一、七六、五五三
二十五年		三九、九二四、九五八	七、五二五、三五	四、六二二、四五一	一、五五、一六二	一、二二、三四七	二、八五、五六六	九、四、四三八

輸出ノ二

年別	種別	人參	落花生豆	蔬菜及果實	蕃薯	蕪蜜	百合根	蕪蜜	蜜柑
明治三十四年		四、五三、九三四	四、〇四、九三六	二、八四、三三九	二、〇三、三五六	二、三六、一七八	一、三〇、九七一	一、二九、二二四	

輸出ノ三

年別	種別	蕃椒	糸瓜	豆類	菜子油	麥	麥粉	合計
三十三年		四〇七、六七一	二、四〇、五二六	一、九〇、四五九	一、一七、五七八	二、五七、九一九	一、三三、九六五	一〇一、五四三
三十二年		四七六、八六七	一、四四、九八八	二、〇、九三五	五〇、一六九	二、五九、五六三	六六、二九七	九五、九三九
三十一年		四三三、八三六	一、一五、〇四二	七、九、八四五	四六、二四七	一、二八、八二〇	六六、四〇三	七八、五七五
三十年		四八四、三二七	六、四、一三	五、七、〇二七	三八、八八二	一、四九、九〇五	一、八八、九八一	七四、一六七
二十九年		四三五、三五九	六、一、二八八	四〇、一一一	三五、九六六	一、〇二、二八九	一、二七、〇二九	七二、六〇三
二十八年		三七三、六四八	四、一、一〇	三二、七、八七	三二、三九一	八、一、七〇一	六三、五五二	
二十七年		四九九、七九八	二、三、七一一	二、三、三九一	二、三、三九一	六八、二二三	四二、八六八	
二十六年		二八九、七一四	五、六、九四七	三、三、五二一	三、三、五二一	五五、四二八	五六、五九五	
二十五年		二五三、八七四	七〇、四八八	三三、三〇八	三三、三〇八	三三、四六八	二二、六六八	
明治三十四年		二、六〇、八五	一、一三、九二四	八五、九九九	一、四六、一九	一、二二、三二五	九、二九〇	一〇二、九九六、四四四
三十三年		四九、九四五	五九、三三二	八三、六九六	一一、一九〇	四九、二二七	七三、〇七五	六八、八九八、四五二
三十二年		五六、二六七	二、四、六六八	五、一、六〇六	三七、三六一	一、六〇、八九七	三五、二七二	九一、一〇三、四一一
三十一年		四三、五六一	二、一、二〇八	三二、一九	三九、七九五	九、三五八	一、八七、七五四	六三、五三三、三八三
三十年		四四、九五四	三、一〇、三九	二、七、二九七	六六、四六〇	二、五、〇四八	一、五四、三〇一	七八、五二七、〇二〇
二十九年		一九、九四八	三、四、四四八	五、五、二九四	四、一、〇三一	七二、二五八	一、三八、八五一	五〇、六三九、二七三
二十八年				四〇、二八〇	四八、七八〇	一、三八、四一〇	一九、一八四八	七〇、四三八、六五四
二十七年				一、二、八五二	一、八、七三二	一〇八、九五六	一四、四五四	五九、三九四、八六一
二十六年				一一、一七〇	一一、一七〇	六六、三三六	三一、九三一	四六、〇五四、三一一



年別	種別	輸入ノ一										
		線綿及生棉	砂	糖	米	油	糟	大豆	羊毛	藍	麥粉	
同	明治三十四年	六〇、五五〇、三六一	三三、五三九、八〇三	一一、八七八、九五八	八、一〇九、三三六	五、一七、三五九	三、二九三、三八二	二、六六五、〇四三	二、八七三、三〇一			
同	三十三年	五九、四七、六三九	二六、六九一、七五七	九、〇二一、五三六	五、六九六、四三三	四、四二五、〇七八	三、九一九、六九三	三、九〇二、五五八	三、八八二、五一六			
同	三十二年	六三、二〇七、二五	一七、六四五、三三九	五、九六〇、一六六	六、七九一、八二二	七、八九一、九二八	四、三三四、四二六	二、九〇三、八三九	一、三七〇、八五七			
同	三十一年	四五、七四四、三七一	二八、六一九、五一九	四、八二二、九八〇	四、六二四、九六七	六、二九一、〇六三	一、六四二、八一九	二、二七〇、八一四	二、〇三二、四二二			
同	三十年	四三、六三〇、二二三	二〇、〇〇三、三八六	二、五二八、四二八	三、三二五、五八七	五、四一〇、八七八	一、〇六二、三九七	一、五三八、〇二一	一、一五六、五六九			
同	二十九年	三三、五七三、五三	二、八五三、八四三	五、六六三、三三六	三、三三〇、六〇〇	九、四六、〇二七	一、〇六七、四四〇	一、〇六七、二五七	九、九四、三〇一			
同	二十八年	二四、八三三、〇九七	一、八三〇、一八三	四、三三七、〇九六	九、四六、〇二七	二、三六、九五二	一、三六、九五二	五八一、三六九	四〇六、八五四			
同	二十七年	一九、六一〇、七九九	一、三三三、四三二	八、四一三、〇四八	八、三二、一九五	五、九、八九三	五、九、八九三	三、二九、八六一	六、一九、〇〇九			
同	二十六年	一六、一五、五六九	一、五六四、四一八	三、二五四、八四二	三、二五四、八四二	五、九九、八九三	四、二五、二〇〇	四、四二、〇〇八	三、九六、五八八			
同	二十五年	一三、三三、六五四	九、六〇、三五〇	二、〇五二、九〇〇	八、二四、六五一	三、八、九〇一	三、〇二、五〇一	三、八六、一九三	二、七五、〇九一			
輸入ノ二												
年別	種別	苧	麻	生	卵	麥	芽	乳	膏	繭	麥	合
同	明治三十四年	一、三三〇、一八二	一、二九八、六一	七、六五、六三四	六、四六、三〇八	三、四二、五九三	二、七二、八六八	一、三二、六四九、六三七				
同	三十三年	一、七〇〇、四〇九	一、三三三、〇六四	六、一九、二一九	六、六三、六八〇	六、一八、六一	六、九三、三四一	一、二二、五四八、五四四				
同	三十二年	一、二四五、〇四八	八、二六、九六〇	四、六八、六一九	三、八九、〇七一	六、四二、三三三	八、六、四八九	一、二二、七五七、三七一				
同	三十一年	五九〇、五二七	四九二、五五八	二、九三、五〇九	三、五九、八五一	二、二一、一三三	一、四三、九三三	一、四一、五一八、二四六				
同	三十年	六五、四、七九一	三三七、七六九	二、一、五三三	二、〇一、〇四	三、三、四一六	三、八四、二五五	九、九、八〇八、四四九				
同	二十九年	七〇、八、六一	三〇〇、三八八	一、七二、八六九	一、七六、九五〇	二、三五、一〇四	一、〇〇、二五六	六、〇〇、八二、七三六				
同	二十八年	六、四五、八四〇	九、五、〇六	一、六、二〇六	一、三九、四六七	一、六五、四六三	七、五、八三	四、四、九六、八七二				
同	二十七年	五三七、九三二	五、六、一八	一、六、二〇六	一、六五、四六三	一、六二、二二七	三、一、〇四三	四、四、四七、二二七				
同	二十六年	三、三六、三三七	一〇八、〇五五	一、〇八、〇五五	一、六二、二二七	二、〇〇〇	二、〇〇〇	三、三、三五八、三二七				
同	二十五年	二、三三、二二六	七〇、四四四	一、七五、三九七	一、七五、三九七	四、一、九三三	四、一、九三三	二、六、二七、三三〇				

年別	種別	蚕	絲	類	茶	米	麥	稈	田	煙	草	蔬菜及果實
同	明治三十四年	七九、一三六、〇九	八、八五四、三二六	六、九〇八、九二二	二、九八九、八三六	一、七四八、四九三	一、六、一八、〇〇三					
同	三十三年	四八、八一八、三四六	九、〇三三、八一九	三、五七六、五六九	四、〇二五、一五九	七、七四、六六六	一、一五二、二六七					
同	三十二年	六六、七二七、五二二	八、四九八、七八二	一、〇、二八二、〇一一	二、七七〇、一七七	三、四三、三五六	八、一八、八一六					
同	三十一年	四四、七六八、九四〇	八、二一五、六六四	五、九二〇、一八五	二、四〇四、〇二二	一、八四、七二五	五、七九、七〇〇					

### 八 重要農産物輸出入額累年比較表

本圖表ハ本邦ノ輸出入農産物中其ノ價多額ニシテ從テ貿易農産物中重要ノ位置ヲ占ムルモノノ累年比較ヲ示セルモノナリ  
 茲ニ農産物ト稱スルハ輸出ニ在テハ蚕絲類茶米麥稈真田烟草蔬菜及果實ノ六種ヲ輸入ニ在テハ棉砂糖米油糟大豆羊毛及ヒ乾藍ノ七種ヲ云フモノナリ今明治二十五年ヨリ同三十四年ニ至ル十箇年間ニ於ケル此等輸出入ノ價額ハ次ノ如シ

#### 重要農産物輸出入額累年比較表

輸出額

年次	種別	蚕	絲	類	茶	米	麥	稈	田	煙	草	蔬菜及果實
明治三十四年		七九、一三六、〇九	八、八五四、三二六	六、九〇八、九二二	二、九八九、八三六	一、七四八、四九三	一、六、一八、〇〇三					
三十三年		四八、八一八、三四六	九、〇三三、八一九	三、五七六、五六九	四、〇二五、一五九	七、七四、六六六	一、一五二、二六七					
三十二年		六六、七二七、五二二	八、四九八、七八二	一、〇、二八二、〇一一	二、七七〇、一七七	三、四三、三五六	八、一八、八一六					
三十一年		四四、七六八、九四〇	八、二一五、六六四	五、九二〇、一八五	二、四〇四、〇二二	一、八四、七二五	五、七九、七〇〇					

農商務省

四七



年次	同二十五年	同二十六年	同二十七年	同二十八年	同二十九年	同三十年
棉	三九、九二四、九五八	三二、五九一、八三五	四二、八九二、七五一	五〇、九二八、四四〇	三二、六六六、二二〇	五八、六八三、一〇三
砂糖	七、五二五、三二五	七、七〇二、〇八八	七、九三〇、二八六	八、八七九、二四一	六、三七二、三三八	七、八六〇、四六〇
米	四、一六二、四五一	五、〇〇一、二五七	五、五九五、一五三	七、二〇七、三四五	七、九五二、〇八七	六、一四一、二二七
油	一、五五、一六二	三七八、三四九	七四三、三九九	一、三八七、六四三	二、二三四、三五三	三、一八一、九二五
大豆	一、三三、四三七	一〇四、八九五	三四八、二七四	三七九、七四三	二五四、三八二	三五二、七四〇
羊毛	一、六〇、九三三	二〇一、四九一	一五七、一九三	二二八、一五〇	四九三、五九一	六四〇、〇六八
乾藍						

輸入額

年次	同二十五年	同二十六年	同二十七年	同二十八年	同二十九年	同三十年	同三十一年	同三十二年	同三十三年	同三十四年
棉	一一、三三四、六五四	一六、一五一、五六九	一九、六二〇、七五九	二四、八三三、〇九七	三三、五七三、五五一	四三、六二〇、三二三	四三、七四四、三七一	六二、二〇〇、七一一	五九、四七一、六二九	六〇、六五〇、三六一
砂糖	九、六〇四、三三〇	一一、五六四、四一八	一三、三三四、五二二	一八、四三三、一四八	二四、三三七、〇九六	三三、六二二、三三六	三三、八五三、八四三	二八、六一九、五一九	二七、六四五、三三九	三三、五二九、八〇三
米	二、〇五二、九〇〇	三、二五四、八四三	四、四三三、一四八	五、六六二、三三六	六、七九一、八二二	七、八二一、九八二	八、二一九、八一〇	九、〇二一、五三六	一一、八七八、九五八	一一、八七八、九五八
油	八、二〇九、三三六	五、九九六、四三三	六、七九一、八二二	四、六二四、九六七	三、三二五、五八七	三、三二〇、六〇〇	三、三二〇、六〇〇	九、〇二一、五三六	五、九九六、四三三	八、二〇九、三三六
大豆	五、一一七、三五九	四、四二五、〇七八	七、八九一、九二八	六、二九二、〇六三	五、四九〇、八七八	五、四九〇、八七八	五、四九〇、八七八	四、四二五、〇七八	四、四二五、〇七八	五、一一七、三五九
羊毛	三、一一九、三三三	三、九一九、六九三	四、三二四、四二六	一、〇六二、三九九	一、〇一七、四四〇	一、〇一七、四四〇	一、〇一七、四四〇	三、九一九、六九三	三、九一九、六九三	三、一一九、三三三
乾藍	二、六六五、〇四三	三、九〇二、五五八	二、九〇三、八二九	二、二七〇、八一四	一、五三九、〇二二	一、〇六二、三九九	一、〇六二、三九九	二、九〇三、八二九	三、九〇二、五五八	二、六六五、〇四三

右表輸出農産物中蔬菜及果實ト稱スルハ薑、蕃椒、落花生、蜜柑、蕃薯、百合根、絲瓜、其他蔬菜類及果實類ヲ併稱セルモノニテ輸入農産物中棉ト稱スルハ線綿及生綿ヲ合セタルモノナリ蔬菜及果實ノ項ニ含有セラル、各農産物價額ヲ舉示セハ次表ノ如シ

年次	同二十五年	同二十六年	同二十七年	同二十八年	同二十九年	同三十年	同三十一年	同三十二年	同三十三年	同三十四年
薑	二二、六六八	五五、九九九	四二、八六八	六三、五五三	二七、〇三九	一八、八九一	六六、四〇三	六六、二九七	二四、九九五	三〇、九七一
蕃椒					一九、九四八	四四、九五四	四三、五六二	五五、二六七	四九、九四五	二六、〇八五
落花生	七〇、四八八	五六、九四七	三三、七一二	四二、一一〇	六二、一八八	六四、一三三	一一五、〇四一	一四四、九八八	二四、〇五一	四〇、九三六
蜜柑					七二、六〇三	七四、一六七	七八、五七五	九五、九三九	一〇、一五三	二九、二二四
蕃薯	三三、三〇八	三三、五二二	二五、三九九	三三、七八七	三五、九六六	三八、八八二	四六、二四七	五〇、一六九	一一七、五七八	二〇三、三五六
百合根	三三、四六八	五五、四二八	六八、二二三	八二、七〇二	一〇二、二八九	一四九、九〇五	二二八、八二〇	二五九、五六三	二五七、九一九	二二六、一七八
絲瓜					三三、四四八	三三、〇三九	二二、二〇八	二四、六六八	五九、三四二	一一三、九二四
蔬菜及果實					四〇、一一二	五七、二二七	七九、八四五	一一〇、九二五	一九〇、四五九	二八四、三三九

九 米産額、作付段別表

米作ハ我邦農業上最重要ノ位置ヲ占ムルノミナラス一般經濟上ニ及ホス影響頗ル大ナルモノアルハ世人ノ知悉スル所ナリ是本表ヲ作成シテ既往ニ於ケル米作ノ狀況ヲ掲ケ以テ將來ノ參考ニ資スル所以ナリ  
本表掲クル所ハ明治十一年ヨリ同三十四年ニ至ル二十五箇年間ノ作付反別及收穫高ヲ比較對照シ加フルニ其ノ平均一反歩ノ收量ヲ以テ表中明治二十三年以前ノ作付反別及收穫高ハ沖繩縣ノ調査ヲ缺ク

自明治十一年至全三十四年本邦産米作付反別及産額











國	別	可	耕	地	總	面	積	現	耕	地
北	見		四四一、七〇九		一、一五一、一五九		六、六六三			
十	路		三六七、一七四		八八八、六四一		三、二一〇			
石	勝		三六六、四四八		一、〇二七、〇五四		一二、一九〇			
越	狩		三三七、五四一		一、二八〇、八六二		九八、八八二			
羽	奧		三〇六、六五九		一、〇四五、七一六		一一九、〇〇六			
武	後		二八六、九八一		一、一九二、三八三		三三八、八八六			
信	後		二七一、二六七		一、一五四、八九一		一三九、〇六八			
常	藏		二六五、一四一		五二六、三〇五		三三八、四〇八			
肥	陸		二二九、二三五		一、三二七、八二九		一五九、一一五			
下	陸		二〇八、九〇五		五二〇、八三六		一五〇、二六四			
日	野		一九九、〇六四		七〇九、六三七		二九、三四一			
陸	後		一八九、〇七一		八五〇、〇七二		一一一、三四二			
下	前		一八三、六四八		六四一、〇五三		一七二、九四五			
肥	中		一八一、九二五		六四〇、四三一		一〇七、五二〇			
日	野		一七七、三九一		一、二九二、二一五		一三一、一九四			
下	前		一七四、五八八		八一四、四五八		一〇九、四七一			
根	向		一七二、五九六		七九四、七〇七		一〇八、一六六			
肥	總		一七二、〇一六		三三一、一四八		一二六、三四一			
室	前		一六九、二七八		四三八、五六六		一五〇、六二二			
					三六九、二〇四		一、〇八八			

國	別	可	耕	地	總	面	積	現	耕	地
上	野		一六三、三六六		六三三、四三三		一一七、四七八			
美	濃		一五四、六二三		六二六、五九〇		八六、九七九			
磐	城		一五〇、八八七		六六八、四二四		八四、五一七			
土	佐		一三八、七三四		七〇五、九〇五		七五、三八七			
岩	代		一三三、八五六		七七三、七一二		九四、八一五			
伊	豫		一三一、一〇四		五〇八、〇八三		一一七、六七五			
大	隅		一二四、六〇五		二八二、四三四		八一、一四三			
薩	伊		一二三、一〇三		三二二、〇八一		一〇〇、一四四			
播	伊		一一一、六九八		三六九、二〇四		六八、四三六			
紀	伊		一〇六、八九〇		五九一、四四二		五〇、一三八			
三	中		一〇六、五四一		三二四、一〇三		六八、三七八			
越	河		一〇六、〇八四		四一四、三〇五		九三、八九二			
阿	波		一〇一、四〇八		四一九、七四八		六三、四六七			
上	總		九六、八〇〇		二一八、一九四		七八、三七六			
伊	勢		九六、二七一		三五九、四〇六		七四、四六一			
日	高		九五、四六八		六〇八、七〇五		九、九三五			
筑	前		九四、〇三二		二四四、四七七		八一、六六五			
大	和		九三、九七一		三三三、二一七		四三、二五六			
豐	後		九三、三八二		五三三、五八九		八一、〇七六			
近	江		九一、四九五		三九九、九九七		七三、二六三			
駿	河		八八、六八四		三四一、八三三		六六、〇五四			
尾	張		八六、九三八		一六一、八九六		七八、九二七			



石攝美備丹筑豐能備加出讚後和備渡周長遠越甲安

見津作前波後前登中賀雲岐志模後島防門江前斐蘇

八三、九四三  
八二、八六五  
八二、七九四  
八二、二〇四  
八〇、六三五  
七六、四八七  
七五、五六四  
七二、六〇〇  
七一、四四九  
七一、六九二  
六八、四二五  
六三、七九七  
六三、四九五  
六一、七七六  
六〇、五七〇  
五九、七二三  
五七、七〇二  
五六、七九五  
五二、五五九  
五〇、〇五六  
四九、七一一  
四九、一三二

四一、〇三九  
四五〇、八五二  
三三八、五六七  
三〇五、四四一  
三〇八、三九六  
二七一、八四九  
四八一、八〇〇  
三五七、〇七三  
一九九、六八七  
四六七、三三七  
一五六、六〇八  
二八一、九五七  
二二九、八五八  
二四〇、五八九  
一八六、四六八  
二二一、八一八  
一一五、八一五  
三三一、四五九  
一四三、七〇〇  
二六五、三一七  
一四五、五六六  
三六一、四二三

五八、九一六  
五六、五二一  
五一、一三八  
四五、二一六  
五三、九〇一  
六〇、一三三  
三〇、〇八三  
五一、六〇七  
五六、二七一  
一九、九二五  
四九、四三〇  
四八、二四二  
四五、六一七  
五〇、一五九  
三三、七四〇  
四八、四九三  
四九、二九〇  
三七、二二三  
三七、四八六  
三五、四八八  
三九、五〇〇  
四〇、九五七

全壹對志隱若淡安佐伊和因伊天丹山河飛但伯

國岐馬摩岐狹路房渡豆泉幡賀鹽後城內驛馬耆

四一、四三一  
三八、六一四  
三五、八四六  
三〇、〇九九  
二九、三四七  
二五、八九四  
二五、一〇六  
二五、〇三一  
二四、三四七  
二二、〇八三  
一八、三五九  
一七、八四七  
一六、二五九  
一四、七七五  
一三、七四九  
八、九九九  
八、五九一  
七、四八二  
六、九七二  
九、五二九、〇一二

一九五、三三三  
二五八、〇〇七  
四一七、七二六  
六八、四二八  
一一三、六八五  
一一九、五九四  
八六四、三八〇  
七三、五六〇  
一五三、三四二  
五二、〇九九  
一三六、二三五  
八七、五五七  
五四、一二〇  
五六、九二〇  
八五、〇六九  
三四、〇五八  
二九、〇八二  
六八、四二八  
一三、三七四  
三五、九五二、〇五五

二五、四三四  
二七、三五二  
二二、七三三  
二九、〇〇六  
二三、二六六  
一八、五九一  
四、一六二  
一三、四七〇  
一七、六八四  
一七、四一一  
一一、八二九  
一二、三七一  
一三、九六〇  
一一、〇〇一  
八、八二九  
七、九七〇  
三、七二六  
三、四一九  
六、〇四五  
五、一八一、七五八

十二 害蟲發生圖







計	山	和	德	香	愛	高	福	大	佐	熊	宮	鹿	冲
計	歌	島	川	媛	知	岡	分	賀	本	崎	島	兒	計
四六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
四六	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一九	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
	六	六	五	四	五	四	六	五	三	三	四	五	

右表害蟲ノ各種ニ就テ見ルニ分布區域ノ廣大ナルハ二化螟蟲及浮塵子ノ二種ニシテ全國ヲ通シテ發生セサル所ナシ之ニ反シテ三化螟蟲ニ在テハ本邦中部以南ノ地ニ限ラル、カ如キモ其他苞蟲黑色椿象及地蚕ノ三種ニ在テハ點々各地ニ發生ス次ニ各府縣ニ就テ害蟲種類ノ數ヲ見ルニ少キモ二種多キハ全數六種ノ害蟲ニ依テ侵害セラレタルヲ知ル又以テ害蟲驅除豫防方法ノ等閑ニ附スヘカラサルヲ知ルヘシ

十三 大豆、粟、甘藷作付段別一覽表

十四 蕎麥、稗、小豆作付段別一覽表

十五 茶、菜種、葉藍作付段別一覽表

十六 葉煙草、大麻、實棉作付段別一覽表

十七 馬鈴薯、黍作付段別一覽表

右五表ハ明治三十三年度道府縣ニ於ケル大豆、粟、甘藷、蕎麥、稗、小豆、茶、菜種、葉藍、葉煙草、大麻、實棉、馬鈴薯、黍等ノ作付段別ヲ比較表示セルモノナリ其ノ面積ハ左ニ掲クルカ如シ

大豆、粟、甘藷府縣作付段別

明治三十三年度調

府縣名	大豆	粟	甘藷
北海道	二九、四七〇、七	七、五四一、二	五、一四八、〇
東北	三、八一三、二	五、一二五、二	一、八八八、〇
東京	一、九八六、六	一、一一一、〇	二、六〇一、二
京都	一、二六七、三	六四、五	五、六七四、四
大阪	九、六四八、二	一二、一三七、六	二、九五〇、六
兵庫	六、四八九、三	一、四四〇、二	二、三三七、五
長崎	一五、一九二、六	六、六〇二、八	二、三六九、六
新潟	一五、九五〇、三	五、四八五、四	



埼群千茨栃奈三愛靜山滋岐長宮福岩青山秋福石富

玉馬葉城木良重知岡梨賀阜野城島手森形田井川山

三、三五七、八  
一六、〇四八、八  
一九、二一三、三  
二八、一四五、三  
一〇、五一九、六  
一、三二〇、二  
三、一二三、七  
三、二七二、〇  
三、八三六、二  
四、九七一、三  
二、〇三八、一  
四、二四八、三  
二二、五三一、四  
二〇、七八七、五  
一九、八一二、五  
二五、七五五、三  
一四、五八六、二  
一二、三一五、三  
一三、六一一、二  
四、〇二一、七  
四、五四一、六  
二、一七三、〇

四、九〇七、三  
四、三一〇、九  
九、四三六、八  
一八、三〇四、八  
三、三四四、三  
四四五、九  
一、二五八、四  
四、八〇一、七  
二、三一四、二  
三、二四四、五  
三三八、三  
一、九八五、五  
七、六七九、八  
六九三、四  
二、二〇五、五  
一六、一五八、四  
九、二〇七、七  
一、〇八一、六  
三、四八五、二  
一、四五二、〇  
一、〇九三、三  
六〇五、六

九、四四三、六  
四九四、八  
一、七二三、九  
六、八五九、六  
二、三二九、五  
一、三一八、八  
三、五六一、一  
八、九八〇、六  
五七五、五  
一、一七〇、五  
六三一、三  
一、八五一、一  
二八八、二  
一八四、八  
一八八、七  
〇、二  
五七五、九  
一九七  
五〇一、〇  
二、七一、五  
一、一四七、五

府

縣

名

蕎

麥

稗

小

豆

蕎麥種小豆府縣作付段別

明治三十三年度調

鳥島岡廣山和德香愛高福大佐熊宮鹿冲

計

兒

歌

取根山島山口島川媛知岡分賀本崎島繩

一、一七七、一  
一〇、八二六、八  
五、四〇八、六  
三、一三八、三  
六、五二一、五  
一、二五三、四  
四、四八七、九  
一、二九一、三  
六、五九五、四  
一、〇三八、二  
七、二二四、六  
五、六七二、二  
五、一三二、三  
二二、三三七、二  
五、七六七、七  
一、〇五九、二  
二、六九三、五  
四、五七三、七

六八六、六  
一、九六五、〇  
二、六〇三、八  
二、七七五、四  
一、三八六、〇  
二、七五、二  
一、八一七、七  
五七九、二  
二、〇八一、五  
四、五九、七  
九、七七二、〇  
九、四一五、三  
二、六一九、九  
三、五、一三一、四  
五、七九四、二  
二、五、八七一、八  
四、六四〇、九  
二、四、七三八、六

三、〇五四、四  
五、八八四、八  
四、二〇四、七  
八、一三一、三  
四、三二六、三  
二、八三二、五  
一、三、五七七、一  
二、四二一、九  
一、一七七、七、八  
一〇、二五一、六  
三、三五七、三  
七、七二二、七  
三、五四三、五  
一、九、〇九二、五  
九、六七〇、九  
四、一、三六四、二  
二、七〇八、八  
二、七、四四〇、四



熊佐大福高愛香徳和山廣岡島鳥富石福秋山青岩福

歌

本賀分岡知媛川島山口島山根取山川井田形森手島

五、一九九、三  
七、九七六、八  
九、三九三、二  
二、二六七、六  
一、六二九、四  
一、八六三、二  
二、〇〇〇、八  
一、一〇〇、〇  
六三七、〇  
二、三五二、三  
三、〇二九、〇  
二、八〇〇、五  
六、五七一、二  
三三四、二  
一、六四六、〇  
七六〇、四  
二、〇二九、一  
四、八五八、一  
三、一五四、八  
二、一四八、一  
一、三二五、一  
四、五四二、七

七七一、六  
一九、二五七、五  
六、九六九、六  
三五〇、〇  
四五八、八  
八〇四、五  
一、四三七、八  
五三九、一  
九五、二  
二一六、七  
九三、一  
一〇九、三  
三一九、九  
二二、七  
二、六九八、四  
五四、八  
二四九、四  
一、六八九、二  
八五、八  
七〇三、七  
三、六  
一、一七八、八

三、六一二、五  
三、三三三、四  
一、四五七、八  
二、九二六、八  
二、三一八、八  
八九三、一  
一、七三六、〇  
一、一一〇、一  
五三五、六  
五、三六一、四  
一、八四四、一  
二、一八五、九  
一、二九三、七  
二六〇、四  
七一九、六  
二一七、四  
二、八五一、七  
七五一、三  
一、八四四、九  
一、二五八、二  
一、一二六、三  
五、五八二、三

六五

宮長岐滋山靜愛三奈枋茨千群埼新長兵神大京東北

海 奈

城野阜賀梨岡知重良木城葉馬玉瀉崎庫川阪都京道

一〇、一七五、〇  
二、五一二、六  
九三一、五  
二三六、四  
三、六二三、二  
一、三四二、一  
二、一九七、九  
五、七四二、二  
四、二二四、一  
三、四五六、四  
四、六六六、七  
九、八八〇、三  
四、三四一、一  
一〇九、八  
二、六七九、八  
三、三一九、一  
四、九〇八、〇  
二、三八二、〇  
一、三五四、二  
一、六六七、八  
八、〇二〇、一  
一、〇一九、四

二、五四二、一  
九八七、八  
三七、七  
二、〇  
六七〇、八  
一六一、八  
五、四  
二、一六八、八  
九五三、四  
四二二、七  
一、六八一、五  
一、六八一、五  
五、二二〇、五  
三六、五  
一四四、七  
八九〇、一  
二、二四四、六  
一、七九五、四  
四、一  
四、四一七、八  
六、一六一、九  
二、三六、七

三〇、三三七、七  
九三六、二  
七二三、〇  
二、三一、四  
一、五五四、五  
一、四八一、七  
一、二八三、五  
四、七〇八、九  
五、〇三八、七  
三、五八四、九  
三、五九〇、一  
五、二八六、八  
三、四一六、七  
七四五、二  
一、二九九、八  
一、三九〇、三  
一、五三七、四  
一、五三七、四  
一、〇三七、一  
七〇八、二  
一、一六八、八  
三、一八五、八

六四

農商務省

農商務省



宮鹿	計	繩島	一、二一八、二	一、〇〇四、〇
兒			一、三	七三二、四
沖			七二、五三八、三	一、〇三八、一
計				一三三、七八六、一

農商務省

六六

茶葉種葉藍府縣作付段別

明治三十三年度調

府	縣	名	茶	種	葉	藍
北	道	京	一、五一二、六	一一、九二四、三	一、〇八三、一	
東	都	阪	二、三八五、九	一八五、九	一、四一五、九	
大	府	川	四五二、一	一、七八二、〇	五一八、四	
神	庫	崎	二八〇、三	一一、〇八七、一	一七七、二	
兵	瀨	玉	一、二〇九、八	三、一一一、四	〇、八	
新	馬	玉	五二三、〇	二、四〇四、〇	三八四、八	
群	葉	城	一、〇四四、三	二、四一五、七	七六、〇	
千	城	木	二、七二三、〇	一、五九九、六	七七〇、八	
茨	良	木	三八七、七	六三七、六	二、七七一、三	
柗	良	木	一、五一四、〇	四、五〇二、〇	二二三、七	
奈				一、〇一一、一	一、六〇〇、一	
				三、七九〇、〇	九四九、〇	
				一、〇一一、一	八六五、六	
				四、五〇二、〇	一三二、〇	

府	縣	名	茶	種	葉	藍
三	愛	重	三、四二五、七	一六、四三六、八	二、一五八、二	
愛	重	岡	五二四、一	一一、一六二、六	三、二三〇、三	
山	梨	賀	一〇、八七五、五	一、九五八、八	一、五〇一、八	
山	賀	梨	八七、六	四七五、五	九九、二	
滋	賀	梨	一、三三九、四	八、七五九、九	四三一、七	
岐	野	城	一、七三〇、一	二、八二八、二	六六七、六	
長	野	城	四一、二	一、〇六四、六	七七、三	
宮	城	野	二二五、四	三八四、一	八三四、二	
福	島	手	一九四、六	二、二四六、六	四一六、六	
岩	島	手	四六、九	一五四、六	三七〇、九	
青	森	手	八六、八	七七九、四	七八、九	
山	森	手	二二、〇	一、七九五、五	五、四九、九	
秋	形	森	四七八、六	五一八、二	五五〇、八	
秋	形	森	四七三、八	三、四五〇、七	二、三三、九	
石	川	井	四五三、八	一、四四五、五	五、五四、〇	
富	川	井	七二七、九	五四七、四	一、五五、一	
島	取	山	一三七、四	一、〇〇五、三	三〇三、三	
島	取	山	六八九、五	四六七、一	三六九、八	
岡	根	取	六六七、七	四、七五二、四	二、四七八、九	
廣	山	根	三九九、四	二二四、七	一、九五一、〇	
山	島	山	五九八、七	二、九八三、八	三五〇、〇	
和	山	島	六四六、八	六八三、一	二八四、一	

農商務省

六七



長新崎玉馬葉城木重良岡知梨賀野城島手森形田井

農商務省

長崎玉馬葉城木重良岡知梨賀野城島手森形田井

一五五、五  
一〇〇〇、九  
一〇八、六  
三一〇、一  
三七八、六  
四、二六八、三  
四、一〇三、一  
三二八、二  
三四九、四  
一、二三〇、二  
一、〇二五、九  
四二八、六  
三三三、三  
六三〇、三  
五五三、四  
六五、六  
二、八六八、八  
八九二、九  
二一〇、六  
八二六、〇  
四七一、八  
四一八、六

〇、七  
九〇五、七  
四、五  
三八二、六  
二、三  
一四、九  
三、一八八、七  
八、二  
一〇、一  
一七、四  
一九〇、〇  
二七、八  
一六四、五  
三〇三、〇  
一、〇四二、二  
一八一、二  
四九一、三  
一、七三六、七  
九一七、六  
一三六、五  
六〇八、九  
七二六、七

二三四、三  
一、四二四、九  
二、六三六、八  
七八九、九  
一、〇九九、一  
三、六〇二、五  
八二二、〇  
一五〇、二  
二九九、八  
一、八一〇、五  
五〇六、四  
一、三四七、一  
二六一、七  
五四四、〇  
一七二、〇  
一三七、一  
二五、七  
四一〇、二

六九

北海東京大阪京都

海都京道  
奈川阪都京道

葉煙草

四、六、六  
三、七  
一、二九、七  
二、三三、五  
一、四一二、七  
三四一、〇

大 麻

一六三、七  
〇、七  
一、二四、八  
〇、一  
〇、六  
三七四、三

實 棉

六一、一  
五〇〇、七  
二、三四一、七  
二〇四、六  
一、三〇七、六

葉煙草大麻實棉府縣作付段別 明治三十三年度調

香島媛知分賀本崎島

計 兒

香島媛知分賀本崎島

農商務省

八五九、〇  
三〇、六  
一、〇四九、八  
一、一五一、二  
二、〇〇三、七  
七三三、七  
七一八、七  
二、〇一二、六  
七〇八、八  
一、七二五、一  
〇、九  
四九、二六六、一

六九五、三  
六四〇、三  
一、八九四、一  
四三一、五  
一七、二二一、三  
二、二三五、七  
三、二八七、四  
四、四〇一、六  
一、〇二〇、三  
七、六六一、八  
八、〇  
一五三、〇六九、五

一四、〇六三、〇  
三七二、六  
六七一、七  
二六四、〇  
一、五三五、一  
三八六、一  
一五九、〇  
四六〇、三  
四一、四  
二三五、二  
五二二、五  
四六、八二七、一

六八



府	縣	馬	鈴	著	黍
北	海			一六、四四八、一	一一、七九〇、九
東				四三四、一	一一、一八四、九
京	奈			一九九、五	二五〇、五
大				一八、〇	六三、
神				六五六、八	一四七、〇
兵				五三二、一	四三五、八
長				三四六、二	七三、九
新				一、九〇二、五	七〇二、三
崎				四七七、一	三六〇、五
群				五六〇、七	三九九、八
千				四〇四、四	一、二四三、四
茨				六五、八	四七九、七
柘				一四六、八	一三七、八
奈				二四九、八	一七二、一
三				九二、七	四三三、四
愛				三三〇、八	三、二二二、四
山				一七二、二	一、三〇一、六
靜				一〇八、〇	一、五四、一
滋				七〇二、七	六八、六
岐				一、四三二、八	一、五八三、四
長				一、五二五、二	四八五、九
宮				一、四三二、八	一、五〇、八

農商務省

石	富	島	岡	廣	山	和	德	香	愛	高	福	大	佐	熊	宮	鹿	沖	
計	兒	歌																
川	山	取	根	山	島	口	島	川	媛	知	岡	分	賀	本	崎	島	繩	
三九五、八	一五三、四	三三五、二	一八六、二	二、五四〇、六	一、四〇四、一	二四、四	四九、八	九一二、五	二六四、二	四二九、五	一五九、七	八五一、八	一、四〇七、二	八〇、六	一、〇四三、八	四六五、九	三、三一、二	
三四八、三	一四七、八	二五二、七	七九一、〇	二九、七	一、一〇二、〇	二〇〇、九	六、八	一、六	〇、四	二二八、二	一〇六、三	一一〇、二	四八九、八	一一八、七	五七三、〇	一、二〇八、三	七五一、六	
一五二、八	一一、五	一、三九三、二	一、〇六一、四	九一一、八	一、六五九、八	三九九、一	一〇六、九	一〇、八	二六八、一	一七五、四	二〇、三	三七、四	一〇五、一	六三四、六	二五二、六	六四、四	二四五、七	
																		二八、二六二、二

馬鈴薯黍府縣作付段別

明治三十三年度調

農商務省



福岩青山秋福石富島岡廣山和德香愛高福大佐熊

歌

島手森形田井川山取根山島山口島川媛知岡分賀本

二、六七六、三	四六一、八
一、〇〇四、〇	一、〇五、〇
二、〇六一、七	二五二、一
七八六、一	二五一、三
八一〇、七	三九七、七
五一六、五	七七七、五
三七〇、四	二二五、〇
二八八、七	二七、九
二七六、七	三三〇、七
七九、一	六五四、七
一四一、四	五七〇、二
一八四、六	五七〇、二
七〇、九	一五〇、七
四九、二	三六一、五
五〇五、〇	四八〇、一
四〇、一	七〇一、五
一一一、八	五九八、四
二九、九	二二一、四
二二三、一	五三〇、〇
二九、四	一〇四、五
三、四	四八七、二
一二、一	

宮崎 鹿兒 沖繩

計

島崎

三、八、二六一、八	四、〇	七七、九
		三三五、三
		七八九、六
		三四、四一四、一

十八 桑園反別圖

桑樹ハ普通農作物ニ比シ土地ノ好悪少ナク一般ニ能ク繁茂スレトモ栽培ノ目的ハ蠶兒ヲ飼育スルニアレハ養蠶業ノ隆盛ナル地方ハ從テ栽培ノ反別多キハ言ヲ待タサル所ナリ本圖ハ明治三十三年ノ調査ニ基キ地方ニ於ケル桑園ノ多少ヲ一覽セシムル爲調製セルモノニシテ即チ福島縣群馬縣長野縣埼玉縣山形縣ハ最多ク沖繩縣青森縣長崎縣香川縣佐賀縣ハ最少ナキヲ見ルヘシ

桑園反別

明治三十三年調査

北海道 東京都 大阪府 兵庫県 長崎縣 新長

海 道 京 都 阪 府 兵 庫 神 戶 大 阪 京 都 東 京 北 海 道

農商務省

一、〇六九	二一、六一九
九、一五一	二八、一一一
五、一〇〇	六、四三六
七、一〇一	一一、三七七
九、九〇二	五、二二三
三、四二二	一、三四五
七、九八三	五、四五七
	八、四七五

七三



島	鳥	富	石	福	秋	山	青	岩	福	宮	長	岐	滋	山	靜
根	取	山	川	井	田	形	森	手	島	城	野	阜	賀	梨	岡
三、二八四	二、七五六	五、〇八三	二、六八八	三、三八〇	三、二一〇	一三、八四三	一三、九	三、五三四	二九、五六三	八、五五七	二五、四三一	一三、四六八	五、二五三	一五、五六二	八、九一七
計	沖	鹿	宮	熊	佐	大	福	高	愛	香	德	和	山	廣	岡
	兒											歌			
	繩	島	崎	本	賀	分	岡	知	媛	川	島	山	口	島	山
三〇〇、七八九	五三	一九七三	二、二五四	三、〇六五	八一五	三、一一一	二、三三八	二、六九〇	二、三四〇	一、三七八	五、四四	一、〇八〇	一、〇八〇	一、五八七	二、三五三

### 十九 繭産額圖

今ヤ蠶業ハ全國到ル處ニ普及スト雖其ノ發達ニ遲速アリ繭産額ニ多少アリ是氣候風土ノ關係ト生産業ノ状態トニ原因セスンハアラス本圖ハ地方ニ於ケル蠶繭ノ多寡ヲ一覽看別スル爲メ明治三十年ヨリ同三十四年ニ至ル五箇年間ノ春夏秋蠶ヲ合計シ其ノ平均産額ヲ圖示セ

ルモノニシテ其總額實ニ二百三十七萬八千餘石ニ上レリ就中長野縣最多額ニシテ群馬縣、福島縣、埼玉縣之ニ順次シ最少ナキハ沖繩縣ニシテ香川縣、北海道之ニ次ケリ

自明治三十年至同三十四年  
最近五ヶ年春夏秋蠶繭産額平均合計

愛	三	奈	栃	茨	千	群	埼	新	長	兵	神	大	京	東	北
知	重	良	木	城	葉	馬	玉	澗	崎	庫	川	阪	都	京	道
九七、三二七	四〇、〇五〇	九、四三八	三四、〇二四	七八、六九六	四六、二四二	二四一、八三三	一七六、七七四	五五、二〇八	二、四〇二	四六、四四七	七〇、二〇七	三、九七一	三七、三七三	七四、五七七	二、九五八
島	鳥	富	石	福	秋	山	青	岩	福	宮	長	岐	滋	山	靜
根	取	山	川	井	田	形	森	手	島	城	野	阜	賀	梨	岡
一九、二七八	二一、四二九	一六、八四六	二八、六八九	二九、七〇八	一一、五一一	八六、五七四	一、八五九	二九、五二四	一七六、〇八四	五三、五九三	三九一、四一五	一一一、二五五	七七、九八二	九〇、八〇二	六五、三七二



岡山	一五、八五三	福岡	八、七七三
廣島	七、八八八	大分	一六、〇八二
山口	五、二二五	佐賀	五、七一
山梨	一一、〇五一	熊本	二一、三四五
島根	六、〇三二	鹿兒島	一〇、三二二
徳島	一、六三五	宮崎	一〇、二六四
香川	一四、八二六	鹿児島	二五四
愛媛	二〇、七二三	沖繩	二、三七八、三八五
高知		計	

二十 生絲産額圖

生絲ハ本邦ノ重要産物ニシテ其ノ産額年々歳々増加シ國家經濟ト密接ノ關係ヲ有スルニ至  
 レリ本圖ハ如何ナル府縣ハ最之カ生産力ニ富ムヤヲ一見セシムル爲メ最近五箇年間ノ座繰  
 及器械生絲ノ平均産額ヲ圖示セルモノニシテ其ノ數實ニ百六十九萬六千餘貫ニ達セリ就中  
 長野縣最多ク群馬縣福島縣山梨縣岐阜縣之ニ順次シ沖繩縣最少額ニシテ北海道青森縣長崎  
 縣之ニ順次ス

北海道	九四三	大分	一、八四六
東北	五八、〇八九	神奈川	三三、二九四
東京	三〇、四五三	兵庫	三〇、四八五
京都		奈良	
大阪		京都	
生絲産額		器械生絲	
		合計最近五ヶ年平均	

長崎	一、六七七	福岡	二二、六二六
新加坡	三四、五〇一	石川	一四、六三三
群馬	六七、七七二	富山	一一、一〇三
千葉	二二、五三〇	島根	一四、四六〇
茨城	二一、三〇七	山梨	一五、五二七
栃木	二二、七八一	岐阜	一一、八四六
奈良	一四、二三八	廣島	六、〇七六
三重	四、八二四	山口	三、二六五
愛知	三八、二八六	山梨	八、七三三
靜岡	五六、〇九七	徳島	三、二八三
山梨	三〇、五八六	香川	二、一六二
滋賀	九二、八九九	愛媛	一五、八二四
岐阜	四二、二九七	高知	一六、一〇二
長野	七二、七〇〇	福岡	五、七八三
宮城	三三四、七四二	大分	九、七二二
福島	三七、七五六	佐賀	五、〇三三
岩手	一一四、〇九二	熊本	一四、九二〇
青森	二二、六三八	鹿兒島	八、〇四八
山形	一、二一九	宮崎	四、三五七
秋田	五二、二七九	沖繩	一五
計	一〇、四〇〇	計	一、六九六、五九五

二十一 世界各國生絲産額對照表



本圖ハ世界ニ於ケル生絲產出ノ大勢ヲ一覽セシムル爲ニ里昂蠶絲商組合ノ調査ニ基キ明治三十年ヨリ同三十四年ニ至ル五箇年平均產額ヲ圖示セルモノニシテ之ニ依リテ生絲ハ日本特有ノ物產タラスシテ西歐東歐中亞諸國ニ概テ產スルヲ得ヘシ而シテ其ノ產額ノ最多キハ支那ニシテ日本之ニ次キ伊太利佛蘭西ハ又之ニ次ケリ但シ日本支那カルクッタ波斯土耳其斯坦ノ五箇國ハ外國輸出ノ數量ヲ示シ其ノ他ハ產出額ヲ示セルモノナリ

世界各國生絲產額對照

自明治三十年至同三十四年五ヶ年平均

西歐諸國	六二四 <small>千</small>
佛蘭西	六一三二
伊太利	七九
西班牙	二七八
奧太利	三九一三
匈牙利	
計	
東歐及中亞諸國	
アナトリア(ブルース)	四〇二
西里亞	四七七
サロニツカ	一七四
アンドリイナル	五七
フルガリー	

希臘	四五
高加索	三一四
波土耳其斯坦(輸出)	二〇四
計	一六五四
東亞諸國(輸出)	
上海(支那)	四七一五
廣東(支那)	二一一四
橫濱(日本)	三七二六
カルクッタ(印度)	二九五
計	一〇八〇五一
合計	一六六一六八

二十二 桑園反別比較表

蠶業ノ發達ニ伴ヒ桑園反別ヲ増加スルハ明瞭ナル事實ナルカ本表ハ前回博覽會ノ當年ニ比較シテ幾何ノ増進ヲナセルヤヲ對照表示セルモノニシテ即チ明治二十八年ニハ二十七万町歩ナリシモ同三十三年(本表調製ノ資料ニ充シ年)ニハ三十万町歩ニ達セリ而シテ就中著シク増加シタルハ東京千葉奈良静岡宮城島根徳島香川高知佐賀熊本ノ諸縣ニシテ減少シタルハ岐阜秋田石川廣島ノ四縣アルノミ



桑園反別比較表

道府縣	明治三十三年	明治二十八年	道府縣	明治三十三年	明治二十八年
北海道	一、〇六九	七二〇	山梨縣	一、三、四六八	一、三、〇四八
東京府	九、一五一	六、七九五	長野縣	二五、四三一	二、三、九八〇
京都府	五、一〇一	四、七七九	宮城縣	八、五五七	六、一一五
大阪府	九、九〇二	五、六七	福井縣	二九、五六三	二九、四六八
兵庫縣	七、一〇一	六、五三七	青森縣	三、五三四	三、一一四
神戶府	三、四二	二、五九	山形縣	一、三、八九三	一、一、九九五
新潟縣	七、九八三	七、〇六一	秋田縣	三、二一〇	三、三一一
群馬縣	二、六一九	一、八〇三	福島縣	三、三八〇	二、五八二
茨城縣	二、八一	二、六五三	石川縣	二、六八八	二、七九五
栃木縣	六、四三六	三、六八九	富山縣	五、〇八二	四、九九八
群馬縣	一、二、三七七	一、〇、九四七	山梨縣	二、七五六	二、四六五
千葉縣	五、二二三	四、六〇九	根川縣	三、二八四	一、八二三
茨城縣	一、三四五	七九六	取山縣	二、三五三	一、八三三
栃木縣	三、一三一	二、七一一	取山縣	一、二〇七	一、三三六
群馬縣	二、八一	二、七一一	取山縣	一、〇八〇	一、三五七
千葉縣	八、九一七	三、七七五	取山縣	一、五八七	九三一
茨城縣	一、五、五六二	一、五、六一六	取山縣	一、三七八	七五八
群馬縣	五、二五三	四、六〇八	取山縣	五四四	二二五

愛媛	高知	福岡	大分	佐賀
二、三四〇	二、六九〇	二、三三八	三、一一一	八一五
一、二、二九九	一、〇、二八	一、九一七	二、七一一	五二七
熊	宮	鹿	沖	計
三、〇六五	二、二五四	一、九二三	五三	三〇〇、七八九
一、四二六	一、三四七	一、一七五		二七五、三九五

二十三 蠶繭産額比較表

蠶繭産額ノ多寡ハ蠶業ノ消長ヲ表示スルヤ言フ俟タズ本表ハ第四回内國勸業博覽會開設以前六年間平均ト其後六年間ノ平均トヲ對照比較セルモノナリ而シテ其以前ニ於テハ百六十萬石ヲ産出スルニ過キサリシカ其以後ニアリテハ二百三十一萬石ノ多キニ達シ進歩ノ績洵ニ觀ルヘキモノアリ就中愛知茨城東京静岡千葉三重高知熊本愛媛和歌山宮崎奈良鹿兒島佐賀ノ諸縣ハ著大ナル増進ヲナセルモ獨リ石川ノミハ幾分ノ減少ヲ致セリ

蠶繭産額比較表

道府縣	自明治廿三年至同二十八年春蠶夏蠶秋蠶合計平均	自明治二十九年春蠶夏蠶秋蠶合計平均	道府縣	自明治廿三年至同二十八年春蠶夏蠶秋蠶合計平均	自明治二十九年春蠶夏蠶秋蠶合計平均
北海道	一、六五一	二、九一九	山梨縣	六四、二五四	六九、五三五
東京府	三九、〇〇九	七四、六四〇	長野縣	三九、〇六七	四四、二一五
京都府	三一、七七二	三五、九九九	宮城縣	一、九六八	二、三八一
大阪府	二、六四五	三、八九三	福井縣	四〇、三六四	五四、〇九八



埼玉	一〇八、〇二七	一七〇、〇七四	三四、二三一	二八、六一一
群馬	一六九、八七四	二二九、〇一七	一四、九九九	一七、一九五
千葉	一五、八一九	四三、二八〇	一三、六九七	二〇、七一五
茨城	四〇、一三一	七五、四八二	一七、三九五	一八、七六八
栃木	一九、四七三	三二、六〇六	八、七四〇	一五、一八二
奈良	三、八三八	八、九二七	四、九一七	七、五五三
三重	一四、三七〇	三七、四七九	三、八二八	五、〇九六
愛知	四九、三五八	九四、〇七九	三、六九八	一〇、五一六
静岡	一九、三三三	六一、二三五	三、六七一	五、八三八
山梨	七一、五七九	八六、六一〇	五八五	一、五六二
滋賀	六九、一一七	七五、一八五	六、四三七	一三、九九一
岐阜	九六、二九五	一〇六、四一六	六、七一	二〇、一六〇
長野	三三七、二二四	三七六、五四七	七、一二九	八、七七八
宮城	三六、四二七	五二、〇〇〇	一一、一八一	一五、五六〇
福島	一四一、八四〇	一六八、八八五	二、八五三	五、五二七
岩手	二二、四三〇	二八、六四一	七、〇七七	一九、八一
青森	一、二一七	一、八七五	三、六七一	九、四六二
山形	五七、八四一	八三、五四五	三、九六六	八、二一八
秋田	九、六四五	一二、六九四	一	二五四
福井	二六、三九二	二八、〇九三	沖	一、六六二
計		兒	計	六八八二、三二二、二一八
		歌		
		石		
		富		
		鳥		
		島		
		岡		
		廣		
		山		
		和		
		德		
		香		
		愛		
		高		
		福		
		大		
		佐		
		熊		
		宮		
		鹿		
		沖		
		兒		
		島		
		崎		
		本		
		賀		
		分		
		岡		
		知		
		媛		
		川		
		島		
		山		
		口		
		島		
		山		
		根		
		取		
		山		
		川		

二十四 輸出品總價額ト蠶絲類輸出價額トノ累年對照表

蠶絲ハ對外貿易品中ノ巨擘ニシテ一ケ年ノ輸出價額七千九百萬圓以上ニ達シ總輸出價額二億五千萬ノ三割一分強ニ當リ貿易上ノ權衡全ク是ニヨリテ維持セラルト謂ツヘシ而シテ其ノ既往ヲ回顧スレバ明治元年ニ於テハ僅ニ一千萬圓ニ過キサリシモノ漸次進歩シテ以テ今日ニ至レリ本表ハ其ノ趨勢ヲ觀察スルノ便ニ供セン爲明治元年ヨリ同三十四年ニ至ル間ノ累年對照ヲ示セルモノナリ

二十五 蠶絲類輸出先及輸出價額比較圖

本圖ハ我邦ノ重要輸出品タル蠶絲ハ海外何レノ國ニ於テ需用セラル、ヤラ一覽明瞭ナラシメン爲關製セルモノニシテ明治三十四年ニ於ケル蠶絲總輸出價額中米國ヘノ輸出額ハ實ニ四千五百五十餘萬圓即チ全額ノ五割六分ノ多キニ達シ佛蘭西(二千萬圓)伊太利(一千百萬圓)之ニ次ケリ其ノ他ノ諸國ハ未タ其額多カラズ

輸出總價額ト蠶絲類輸出價額トノ累年對照

年次	輸出總價額	蠶絲類輸出價額
明治元年	一五、五五三、四七二	一〇、三六四、四一八
明治二年	一二、九〇八、九七七	八、六三九、〇九〇
明治三年	一四、五四三、〇一二	七、二四六、〇二〇
明治四年	一七、九六八、六〇八	九、九一九、四八一
明治五年	一七、〇二六、六四七	八、二〇三、一一一
明治六年	二一、六三五、四四〇	一〇、八九八、五三〇



明治七年	一九,三二七,三〇六
明治八年	一八,六一一,一一〇
明治九年	二七,七一五,五二七
明治十年	二二,三四八,五二一
明治十一年	二五,九八八,一四〇
明治十二年	二八,一七五,七七〇
明治十三年	二八,三九五,三八六
明治十四年	三一,〇五八,八八七
明治十五年	三七,七二一,七五〇
明治十六年	三六,二六八,〇一九
明治十七年	三三,八七一,四六五
明治十八年	三七,一四六,六九一
明治十九年	四八,八七六,三一二
明治二十年	五二,四〇七,六八一
明治二十一年	五六,七〇五,五一〇
明治二十二年	七〇,〇六〇,七〇五
明治二十三年	五六,六〇三,五〇六
明治二十四年	七九,五二七,二七二
明治二十五年	九一,一〇二,七五三
明治二十六年	八九,七一一,八六四
明治二十七年	一一三,二四六,〇八六
明治二十八年	一三六,一一二,一七七

明治七年	六,六〇一,八〇七
明治八年	六,四六九,一九四
明治九年	一六,二一〇,九〇〇
明治十年	一〇,六六七,九九七
明治十一年	九,四三六,〇〇四
明治十二年	一一,一九一,五五八
明治十三年	一一,〇六五,一六四
明治十四年	一三,四二八,九七四
明治十五年	一九,二六一,三六三
明治十六年	一八,五六二,五七〇
明治十七年	一三,二八一,六二九
明治十八年	一四,四七三,三九六
明治十九年	二〇,三〇〇,四〇八
明治二十年	二一,九二〇,九〇一
明治二十一年	二八,七八三,八〇〇
明治二十二年	二九,二五〇,〇五二
明治二十三年	一六,三七七,四二一
明治二十四年	三二,一七五,八九二
明治二十五年	三九,九一四,九五八
明治二十六年	三一,五九一,八三五
明治二十七年	四二,八九二,七五一
明治二十八年	五〇,九二八,四四〇

明治二十九年	一一七,八四二,七六〇
明治三十年	一六三,一三五,〇七七
明治三十一年	一六五,七五三,七五二
明治三十二年	二一四,九二九,八九四
明治三十三年	二〇四,四二九,九九三
明治三十四年	二五二,三四九,五四三

明治二十九年	三一,六六六,二一〇
明治三十年	五八,六八三,一〇二
明治三十一年	四四,七六八,九四〇
明治三十二年	六六,七一一,五二二
明治三十三年	四八,八一八,三四六
明治三十四年	七九,一三六,〇九九

蠶絲類トハ生絲熨斗絲屑絲繭屑繭真綿屑真綿蠶卵紙ヲ云フ絹織物ハ此ノ内ニ包含セス

蠶絲類輸出先及輸出價額比較

明治三十四年度調査

米國	四四,五七九,七五六
佛國	二〇,五〇三,六六五
伊國	一一,九〇九,一六五
英國	二六二,〇〇八
瑞國	九五,六〇八
香港	五一,二三八
英領アメリカ	五六五,七二四
露國	七〇〇,九〇七
奧地利匈牙利	三五六,五九七
英領印度	二八,五五二
農商務省	



埃及  
布哇  
其他  
計

七二、八一八  
一〇、九一六  
一三六  
七九、一三六、〇九〇

二十六 検査合格蠶種比較表

蠶種ハ蠶業ノ根源ナレハ無毒健全ナルモノヲ撰擇セサルヘカラス蠶種検査法ハ此ノ粗惡蠶種ヲ殄滅スルノ精神ヲ以テ發布セラレタルモノニシテ本法實施以來病毒ノ割合年々減退スルヲ觀ルニ至リ本表ハ明治三十四年ニ於ケル框製普通製ノ合格シタル額ト病毒ノ歩合トヲ表示セルモノナリ而シテ其ノ合格シタル額ハ普通製ニ有リテハ長野縣最多ク福島縣滋賀縣群馬縣埼玉縣之ニ次キ框製ニアリテハ等シク長野縣ニシテ福島縣山形縣群馬縣埼玉縣愛知縣ハ之ニ順次シ病毒ノ歩合最多キハ滋賀縣ニシテ兵庫縣福井縣石川縣岩手縣大阪府等之ニ次ケリ而シテ框製普通製ヲ通シテ産額ノ多キ順位ハ長野縣福島縣滋賀縣群馬縣埼玉縣山形縣山梨縣愛知縣栃木縣等ナリトス

道府縣	製絲用種	原種	有	毒
検査合格蠶種比較				
明治三十四年度				

北海道	三七、七六三	一〇、九一一		三
東京都	四四、三〇五	三、一四三		九
大阪府	三九、八六五	一一、三二二		五
兵庫県	二、七六三	一八〇		七
長崎縣	一四、五〇八	七一五		一六
新潟縣	二三、九六九	一、四五九		八
群馬縣	五、一〇五	九一九		七
埼玉縣	五二、八四〇	四、〇〇〇		八
栃木縣	三一、三〇三	一七、四二五		二
茨城縣	三六二、三五五	二二、六九二		二〇
茨城縣	一一、六七五	二、三五六		八
茨城縣	三八、九〇〇	四、六八五		一〇
茨城縣	一〇二、九九八	三、八一		一六
茨城縣	七、二三一	九五八		一
茨城縣	五五、〇七五	四、七三六		一七
茨城縣	九六、二〇三	一六、九七四		一四
茨城縣	六五、三八一	七、七九一		一〇
茨城縣	一一二、九〇二	八、三三四		一二
茨城縣	四三一、三四八	六、九九二		三〇
茨城縣	八〇、〇一四	五、九一九		一〇



長宮福岩青山秋福石富島島岡廣山和徳香愛高

歌

野城島手森形田井川山根取山島山口島川媛知

野	12,254,196
城	68,169
島	524,389
手	11,814
森	2,963
形	133,008
田	12,705
井	63,714
川	10,577
山	57,063
根	29,179
取	16,251
山	12,318
島	4,503
山口	5,015
島	3,028
川	9,044
媛	1,666
知	18,875
計	17,310

野	77,589
城	12,616
島	33,331
手	896
森	1,987
形	26,595
田	2,599
井	1,729
川	480
山	3,814
根	2,235
取	8,023
山	830
島	779
山口	552
島	724
川	802
媛	211
知	3,119
計	5,056

野	10
城	12
島	14
手	24
森	10
形	10
田	17
井	22
川	23
山	24
根	16
取	12
山	8
島	7
山口	0
島	7
川	8
媛	1
知	5
計	86

福大佐熊宮鹿沖

分賀本崎島

岡分賀本崎島

福	6,079
大	29,171
佐	6,321
熊	33,637
宮	15,299
鹿	8,481
沖	5,262,067
計	343,034

岡	1,263
分	2,556
賀	1,141
本	11,309
崎	1,272
島	745
計	343,034

四五六六八三

備考 有毒ハ百分中ノ歩合ヲ示ス

二十七 蠶病豫防ニ關スル府縣令及蠶絲ニ關スル同業組合調査

明治三十六年一月現在

蠶病ヲ豫防スル手段トシテ自家用蠶種取締蠶蛆驅除及蠶病消毒ニ關シ府縣令ヲ發布セルモノ一府十九縣ニ上レルコト別表ノ如シ又蠶絲業ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ヲ増進スル爲メ重要物産同業組合法ニ基キ組織シタル組合ハ其ノ數百〇八ニ達セリ而シテ組合地區ハ概テ郡縣ノ行政區域ニ基ケリ本表ハ之カ一覽ノ便ニ資セシモノナリ

蠶病豫防ニ關スル府縣令及蠶絲ニ關スル同業組合調査(明治三十六年一月現在)

府縣	蠶病豫防ニ關スル府縣令	蠶絲ニ關スル同業組合
東京	自家用蠶種取締蠶蛆驅除蠶病消毒	蠶種養蠶製絲蠶絲玉絲聯合會
〇		完成組合種類名稱

農商務省











和岡茨福長山福熊宮枋石崎岐山福廣新長滋靜千群

歌

山山城島崎口井本城木川玉阜形岡島瀨野賀岡葉馬

農商務省

三、〇九三  
二、九九〇  
二、二四七  
二、一六九  
二、一三三  
二、一三〇  
一、八三六  
一、七〇二  
一、六四三  
一、五四八  
一、五二〇  
一、四七〇  
一、四五〇  
一、三一五  
一、二二五  
一、二一〇  
一、二〇一  
一、一七六  
一、一六五  
一、一四二  
一、〇六二  
九五〇

四九四  
八四五  
五一八  
三五三  
四一七  
四九八  
三九一  
五七四  
三三六  
四六九  
二九八  
二二二  
二二二  
四三二  
二四四  
六七六  
五六四  
四八七  
一五六  
二二四  
二八〇  
二〇八

九四

山奈富秋愛佐高大岩鹿島青香德宮鳥沖

計

兒

梨山田媛賀分知手島根森川島崎取繩

八三四  
七〇六  
六七九  
六六七  
六二四  
五九九  
五六七  
四九一  
四〇五  
三八七  
三五八  
三五七  
三四八  
二八六  
二四二  
一八七  
一七六  
一一一、七七六

一六一  
一五二  
一七九  
一五七  
一九八  
二八七  
一三五  
八九  
三五一  
八七  
一四〇  
八二  
九一  
六九三  
六二  
九七  
一一一、七四〇

三十 屠畜表

本表ハ屠牛ノ多寡ニ依リ府縣順ヲ序次シ屠畜ノ需要屠畜ノ種類及其ノ頭數ヲ示スモノナリ  
繁華ナル都會ヲ有スル府縣ハ食肉ノ需要多ク否ラサル地方ハ反對ノ顯象ヲ呈スルヲ以テ都

農商務省

九五

明治三十四年調



會人民ト地方人民トノ食物ノ嗜好及其ノ程度ヲ推知シ得ヘク又沖繩鹿兒島長野三縣ノ如キ  
屠豚ノ頭數ヲ見テ食物ニ於ケル特殊ノ嗜好アルヲ識リ得ヘシ即チ左表ノ如シ

道府縣	牛	馬	豚
東京	二五、五二〇	六、五六六	八、四〇八
兵庫	一七、二〇八	一、三三二	三、一一七
大阪	一五、九一一	四六	八六七
廣島	一五、一八二	二一六	八四一
神戶	一四、三八五	七三一	一一、五四一
長崎	一一、三六〇	一、〇八二	三、六九四
福岡	九、二七四	三、四八二	五八
鹿兒島	七、九五四	三、八五一	一三、五八六
京都	七、四〇四	一、一二二	二五九
山形	七、四〇四	一、一二二	二四八
熊谷	四、五三三	二、三三一	二二
愛知	四、〇七六	六九五	二五二
沖繩	四、〇〇九	一、三三七	五二、六五五
大岡	三、八一二	二六七	五一
愛媛	三、六五二	一、六三五	一〇
岡	三、四五〇	六〇〇	一〇六
大	二、九二〇	一〇七	二六
奈	二、八九五	七〇五	二六

三 和 北 高 石 長 佐 岐 滋 島 香 德 山 新 青 鳥 群 山 千 福 宮

海 歌

重 山 道 知 川 野 賀 阜 賀 根 川 島 梨 瀨 森 取 馬 形 葉 井 城

重山	二、八七八	九五三	五三〇
知道	二、六三六	一一一	一七
川野	二、五五三	一六〇	四八
賀野	二、一一六	八六八	二、六二六
賀阜	二、〇四九	一、二四一	四八
賀根	二、〇二〇	一六八	三一
川島	一、八七九	五、〇二二	一五二
梨瀨	一、八六四	二五八	一五
森取	一、七八七	二、一八九	七一
馬形	一、七九三	三六四	五
葉井	一、八一八	一、一八九	七
城	一、八六四	三六四	五
井	一、八六四	三六四	五
葉	一、八六四	三六四	五
形	一、八六四	三六四	五
馬	一、八六四	三六四	五
取	一、八六四	三六四	五
森	一、八六四	三六四	五
瀨	一、八六四	三六四	五
梨	一、八六四	三六四	五
島	一、八六四	三六四	五
川	一、八六四	三六四	五
野	一、八六四	三六四	五
賀	一、八六四	三六四	五
阜	一、八六四	三六四	五
賀	一、八六四	三六四	五
根	一、八六四	三六四	五
川	一、八六四	三六四	五
島	一、八六四	三六四	五
梨	一、八六四	三六四	五
瀨	一、八六四	三六四	五
森	一、八六四	三六四	五
取	一、八六四	三六四	五
馬	一、八六四	三六四	五
形	一、八六四	三六四	五
葉	一、八六四	三六四	五
井	一、八六四	三六四	五
城	一、八六四	三六四	五



秋	富	福	栃	茨	琦	岩	計
山田	島	木	城	玉	手	手	
七二七	六四七	五八二	五〇五	三七八	三六八	二五一	一九九、九三六
六九二	二四八	二、一三六	一、三三七	三九九	三七六	五五九	四五、九〇四
七一	一一二	六九八	一、三三九	六一七			一〇六、八四二

三十一 牛總數牝牛數及產犢數比較表

明治三十四年調

本表ハ全國ニ存在セル畜牛ノ頭數ヲ地方別ニ示スモノニシテ府縣排列順ハ畜牛ノ多寡ニ從ヒタリ且牝牛及生産犢ノ多寡ヲ比較對照セシニ依リ併テ各府縣ノ畜牛生産ノ概況ヲ推知シ得ヘシ例ハ岩手縣ノ總牛頭數ハ全國ノ第二十五位ニ在ルモ其牝牛數ハ比較的多ク又產犢數モ著ク多數ナルヲ見ルヘク以テ同縣產牛ノ狀態ハ經濟的ナルコトヲ識リ得ヘシ之ニ反シ滋賀縣ノ總牛頭數ハ岩手縣ニ比シ三十七頭ヲ下ルノミニシテ其牝牛數ハ却テ同縣ヨリ多キニ拘ハラス生産犢ノ數ハ著ク劣レリ次テ滋賀縣ニ於テハ牝牛ノ多クハ之ヲ生産的ニ使用セサルヲ見ルヘキナリ

道府縣	牛總數	牝牛頭數	生産犢
-----	-----	------	-----

廣	岡	長	兵	鹿	島	山	大	熊	福	鳥	愛	沖	香	京	三	和	大	宮	德	千	靜
島	山	崎	庫	島	根	口	分	本	岡	取	媛	繩	川	都	重	山	阪	崎	島	葉	岡
九六、七六一	九四、三四九	九三、一九九	七九、二二三	七一、九三五	七〇、九八五	六七、六〇三	六六、四八八	五四、四五九	四六、九八六	四〇、八二三	四〇、一二九	三六、〇一七	三四、七九一	三三、八九一	三三、七〇五	三一、一一五	二九、〇七一	二四、八八三	二三、三二三	二二、三七一	一九、七四四
五二、六三三	五一、〇四九	六六、四一〇	五九、〇五八	四三、〇五九	四〇、九〇一	三三、一七三	四二、六六二	三〇、九五〇	二二、八〇四	二三、八五三	二四、二八五	一七、七一二	二五、七九五	二〇、〇一四	二六、七一二	二四、〇七七	二三、〇九二	一二、五五五	一〇、七八一	一六、八一八	一二、八四三
一四、六〇一	一一、二三七	四、四九六	九、九八四	九、一七二	一三、二一〇	四、八四九	六、七八〇	六、一五九	三、二八四	九、一五〇	五、二七〇	二、七〇四	四、〇〇七	三、五八四	三、〇〇二	二、八八四	八、一七	二、四八六	一、八九四	三、四七四	一、八九五



高青岩滋新佐奈石東岐愛北山福神長秋宮群山福

海 奈

知森手賀瀨賀良川京阜知形道井川田野城馬梨島山

一六、三二四  
一五、一六六  
一四、九九四  
一四、九五七  
一三、九九七  
一三、〇六六  
一〇、九一七  
九、五九一  
八、五四九  
八、〇九二  
七、四六七  
七、三六四  
六、五二三  
四、八一二  
四、三七八  
三、九七三  
三、五三一  
二、〇五六  
一、七九一  
一、六七一  
一、〇一三  
八一

一〇、五九〇  
九、三九二  
九、九五五  
三、三五六  
八、六二〇  
五、三〇一  
三、七七三  
六、六〇〇  
六、六三六  
五、六七七  
四、七一〇  
五、二三一  
三、九五六  
三、九六八  
三、三一五  
三、〇〇七  
二、四二〇  
九三〇  
一、五〇九  
一、一八九  
三七四  
二六四

一、八〇九  
一、九一五  
四、七五七  
三二一  
二、一五八  
七八五  
三〇三  
二、一二四  
二、五六二  
一、六一八  
一、六五三  
一、五四四  
五二五  
七四六  
六三三  
六九一  
六一六  
二四九  
六〇四  
二六〇  
三三  
九四

茨城 埼玉 栃木 諸官

計

城玉 木 鹿

七三二  
七〇二  
五八九  
四四六  
一、二八二、三四一

四四八  
四八一  
四四二  
三二七  
七九二、七〇七

一〇三  
一六〇  
一一九  
一三三  
一五一、四五三

三十二 獸醫並蹄鐵工及獸疫累年比較表

明治三十四年調

本表ハ本免狀獸醫ノ多寡ニ依リ府縣順ヲ序次シ之ニ假免狀獸醫本免狀蹄鐵工及假免狀蹄鐵工ヲ比較對照セルヲ以テ各府縣ニ於ケル獸醫及蹄鐵工ノ數ト本免狀ヲ有スル者ト假免狀ヲ有スル者トノ比較及獸畜衛生ノ程度ヲ識リ得ヘシ獸醫ニ於テハ鹿兒島宮崎二縣ハ本免狀ヲ有スル者ノミニシテ且全國中最多數ナル位置ニ在ルヲ以テ獸畜衛生ノ程度モ比較的最佳ナルヘク又廣島縣ハ本免狀獸醫ハ極メテ少數ナルニ反シ假免狀獸醫ハ全國中ノ最多數ノ位置ニ在ルヲ以テ獸畜衛生ノ程度モ佳良ナリト謂フコト能ハサルヲ識ルヘシ蹄鐵工ニ於テハ大分縣ハ全國中最多數ノ本免狀蹄鐵工ヲ有スルヲ以テ馬匹裝鐵ノ普及セルコトヲ識ルヘク富山縣ハ本免狀蹄鐵工ニ對シ假免狀蹄鐵工著ク多數ナルハ前者ニ反スル顯象アルコトヲ推知シ得ヘシ參照トシテ掲ケタル獸疫表ハ最近六ケ年ノ各種ノ獸疫ノ比較ヲ示スモノナリ

道府縣	獸醫		蹄鐵工	
	本免狀	假免狀	本免狀	假免狀











山富和奈滋沖德東佐宮神愛三島岡京岐宮山栃北群  
 梨山歌良賀賀細島京賀城川媛重根山都阜崎口木海道馬

山梨	七七、八八四	一一九	三、四〇四、二二九	一〇六、二六〇	九、九八〇
富山	八〇、九七一	一、七三〇	四、六五二	七、〇六八、六五八	一、二二三、九五三
和歌山	八五、三〇八	二六、五八五	二、三三五	七、五四六、二七八	一六、七三七
奈良	八七、〇一八	二、六三七	二、七九一	一〇、六三二、四七一	一〇六、二六〇
滋賀	九八、四一五	四、四五三	三、八二九	六、二〇四、〇六四	一四四、八一九
沖繩	一二七、二七二	一、三三四	一、五六八	二、七八九、七六一	五三、八二七
徳島	一三九、三三〇	一、五八八	三、八二九	四、九三六、一三四	一一六、三七〇
東京	一五九、七九〇	二、七九一	二、七九一	六、八一六、一七二	七四、〇六五
佐賀	一七九、六四四	二、三七五	二、七九一	二、七八九、七六一	三三、七五四
宮城	一八八、〇八六	二、七九一	二、七九一	二、七八九、七六一	一九、五三〇
神奈川	一九〇、四一八	四、六五二	二、七九一	六、二〇四、〇六四	一四八、九九〇
愛媛	一九四、七九七	一、二六五	二、七九一	七、五四六、二七八	一三三、六六八
三重	一九九、〇九四	四、〇七	二、七九一	一〇、六三二、四七一	一三三、六六八
島根	二〇〇、四五二	一、四八四	二、七九一	七、〇六八、六五八	一八四、一三〇
岡山	二〇〇、四五二	二、一九一	二、七九一	四、二三八、九九〇	一二三、九五三
京都	二〇五、三四七	一、四八四	二、七九一	七、〇六八、六五八	九四、五六〇
岐阜	二二五、四八一	三、四八〇	二、七九一	八、三二八、六〇四	一〇八、八六二
宮崎	二三一、九八六	六九七	二、七九一	一一、三四六、六九二	一〇八、八六二
山口	二三四、三四九	一、三〇九	二、七九一	一一、三四六、六九二	一〇八、八六二
山形	二三七、六四八	三、一七六	二、七九一	一五、五三〇、〇五三	一一三、七七一
栃木	二四二、四三一	一、二八八	二、七九一	一五、五三〇、〇五三	五七、九三八
北海道	二四二、四三一	八三四	二、七九一	一一、二二八、〇五九	一〇八、八六二
計				二、四三三、三五八	三七、〇二四

山形 七五、八四四  
 石川 七〇、六一九  
 香川 五六、七九二  
 鳥取 五三、〇〇八  
 福井 二二、二〇二  
 計 二二、〇一四、九三〇

山形 一、四六六  
 石川 二、五二〇  
 香川 四、二三三  
 鳥取 三、一一一  
 福井 六、一八  
 計 二九一、八四四

山形 三、八三二、一七五  
 石川 四、二八九、〇二五  
 香川 三、〇九三、五一八  
 鳥取 二、五八〇、〇八七  
 福井 九七二、〇三三  
 計 六六一、一五五、一一五

山形 八三、五八〇  
 石川 一三五、九三九  
 香川 一七、〇一〇  
 鳥取 一七、七三〇  
 福井 三〇、七八〇  
 計 八、七七四、四四八

三十四 狩獵免狀下付數表

明治三十四年

本表ハ乙種免狀下付數ノ多寡ニ依リ府縣順ヲ序次シ乙種免狀數ト甲種免狀數トヲ比較對照シ地方ニ由リ免狀ノ下付數ト狩獵方法ノ異同アルコトヲ示スモノナリ累年比較表ニ於テ二十八年ヨリ三十三年マテ乙種免狀ノ下付數著ク増加セシハ北清戰役後尙武ノ風各地ニ盛シナリシニ依リタルモノニシテ其ノ三十四年ニ於テ著ク減少シタルハ法律改正ノ爲免許稅增加ノ結果タルニ依ル

(甲表) 狩獵免狀下付數表

福島	四、九三四	三九九	五、三三三
兵庫	四、五四四	一六一	四、七〇五
熊本	三、九四九	一五四	四、一〇三
宮崎	三、九一五	二六八	四、一八三
岡野	三、八六五	一一〇	三、九八五
長野	三、五二八	八三九	四、三六七
靜岡	三、二四〇	二八五	三、五二五
計			







二	十	三	三	三	三	三
八	九	十	十	十	十	十
年	年	年	年	年	年	年

一四一、五五六	一七六、二二一	一九〇、九四三	一九五、三二八	二一五、七七四	二〇二、九二一	一〇二、二六五
一六、三六七	一六、九九一	一六、六〇九	一七、一九八	一六、九六六	一六、九一八	一一、〇七二

### 三十五 産駒、牝馬及馬匹總數表

本表ハ明治三十四年ニ於ケル全國馬匹生産數ヲ廳府縣別比較シ併テ生産ニ對スル牝馬數、馬匹總數ヲ比較シタルモノナリ

本表ノ目的ハ各廳府縣産馬ノ頭數ト牝馬并馬匹總數トノ關係ヲ明ニシ以テ將來馬匹蕃殖ニ對スル注意ヲ喚起センコトヲ欲スルニアリ

産駒、牝馬及馬匹總數比較表三十四年

道府縣名	總頭數	牝馬數	産駒數
福島	八五、九八六	七〇、七七二	一一、五一八
鹿兒島	一〇九、一八六	七七、〇六二	一一、二〇〇
北海道	八〇、七五七	四三、四五七	一〇、五六四
北見	九四、三六四	六五、四二七	九、七六二
岩手	七三、二五八	五三、八二一	八、二二〇
青森			

秋田 熊野 長城 宮城 愛知 大分 高知 栃木 茨城 石川 沖繩 岐阜 長崎 廣島 愛媛 鳥取 島根 兵庫 新田 山形

田崎本野城知分知城野本崎田

六五、九五〇	四八、八九一	七、七五三
七四、五三七	五一、八八八	六、八四四
一〇四、八八三	七七、九四四	六、一六四
五六、五五七	四二、八五〇	三、五二四
五六、七〇二	二四、七三八	二、二三五
一四、九三六	一〇、二七〇	二、二〇九
五〇、三五九	二〇、八四九	二、一〇一
三一、四七七	一六、六六二	一、九五三
五五、七七三	三一、六四四	一、九五〇
五六、八四五	一五、五三二	一、五六九
一一、〇二九	七、五四九	一、五五九
二七、三二七	一五、六二三	一、三七七
二八、九四四	一〇、五八八	一、三五五
三三、二六九	一九、七九四	一、三二三
一二、七八六	八、八五四	一、一三二
一四、一九六	六、三〇一	五六五
三、七六四	三、四六八	五三四
六、二一八	四、二三九	四四八
七、八〇三	三、四四四	三四二
三四、一四四	二八、四六五	三三一
四五、八〇九	二〇、四五九	三一八
二七、〇七三	一四、〇〇六	二九八



郡	馬	岡山	岡	山	梨	賀	佐	山	山	福	香	德	富	神	崎	三	東	滋	京	和	大	奈	
三九、〇八五	四、八一〇	四四、三一九	一六、三九九	二〇、〇一五	一九、八七〇	二二、〇五二	四、〇六七	一、一三〇	一三、六五六	八、七九四	八、八六一	二二、六五五	二、三九九	六、九五九	一、〇〇三	八二九	九七二	三三四	六五七				
一二、五二一	二、三八五	三、六二七	九、六八一	一、八〇三	一五、三六五	一、八五二	二、七九三	三七八	三、三九七	六、三六三	四、〇一三	五、五五五	二、四四五	八、八五	八〇	四八	四八	一八					
二七三	二五三	二二六	二一五	一四九	二二六	六〇	五六	三三	三一	三〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

三十六 全國種牡馬累年比較表

本表ハ明治二十四年以降全國種牡馬ノ頭數、種類及身幹ヲ累年比較シタルモノナリ

本表ノ目的ハ全國種牡馬累年ノ頭數、并品位即チ種類、身幹ヲ比較シ殊ニ明治三十一年種牡馬検査法實施以來種牡馬一般ノ趨勢ニ如何ナル影響ヲ及ホシタルヤヲ示スニアリ

本表ノ示ス所ニ依リ之ヲ看レハ種牡馬検査法實施以來ハ其ノ品位即チ種類、身幹ニ於テ著シク進捗シタリト雖其ノ頭數ニ於テ較ヤ減少セリ是レ將來益々善良種牡馬ノ供給ヲ期セサルヘカラサルコトヲ察スルニ足ル

種類累年比較表

年	度	總頭數	種類別頭數		全上百分率
			內國種	雜外國種	
明治三十四年		五、五九八	三、一七八	二、二四九	四〇、一
同 三十三年		五、五二六	三、六一六	一、七六九	三三、〇
同 三十二年		五、九一四	四、二〇〇	一、六一〇	二七、六
同 三十一年		五、七九四	四、三九七	一、三九七	二二、七
同 三十年		六、七四四	五、五〇五	一、一四五	一六、九
同 二十九年		六、一九四	五、三三四	七、七七	一一、三
同 二十八年		五、八四九	四、七七九	六、一九	一一、一
同 二十七年		四、二四二	三、八〇二	三、七六	八、八
同 二十六年		三、八七二	三、四八八	三、三三	八、一
同 二十五年		五、一六九	四、七四六	三、三〇	六、二
同 二十四年		五、四一七	五、〇三三	二、九一	五、四



身幹累年比較表

年 度	總 頭 數	身 幹 別 頭 數		全 上 百 分 率
		寸四尺未滿	寸四尺以上	
明治三十四年	五、五九八	六二六	一、〇一四	一一、一
同 三十三年	五、五二六	七四一	一、一三七	一三、四
同 三十二年	五、九一四	一、〇五一	一、五七二	一七、七
同 三十一年	五、七九四	一、一四九	一、四四七	一九、八
同 三十年	六、七四四	一、五〇五	一、七八八	二三、〇
同 二十九年	六、一九四	一、四二二	一、六三七	二四、〇
				二七、五
				三、八、五
				七〇、七
				六六、〇
				二〇、五
				二六、五
				二五、〇
				二七、二
				四九、八
				三五、五

備考 本表ノ外明治二十八年ニハ種類不詳ノモノ三百九十三頭全二十九年ニハ身幹不詳ノモノ二百五十一頭全三十年ニハ全百八十頭アリ

○農務局製茶試驗所

本所ノ出品ニハ左ノ數種ノ寫眞アリ

本所ノ茶樹栽培法ヲ示セル寫眞

静岡縣榛原郡川崎町二本植茶樹幹枝ノ寫眞

同縣同郡吉田村茶園ノ寫眞

滋賀縣滋賀郡坂本村古茶樹ノ寫眞

京都府宇治郡宇治村字木幡ニ於ケル玉露用茶樹剪枝ノ寫眞

其他本所試製ノ綠茶、玉露茶、紅茶等二十一點茶業經濟圖表等二十餘葉アリ何レモ茶樹ノ栽培製茶ノ方法及製茶器械等ニ關シ明治二十九年以降三十五年ニ至ル七箇年間ノ實驗成績ヲ撰攝シタルモノ及京都府以東著名茶產地ニ於ケル茶業者經營上ノ損益ヲ調査シタルモノニ係リ其ノ事業ノ方法及收支ノ得失瞭然之ヲ一目ノ下ニ便ナラシメ以テ當業者參考ノ裨益ヲ與ヘタルノ効甚妙シトセス就中左掲ノ四表ハ色別ニテ比較セル計表トナシ出陳セラレタルモノナルカ重要産茶地ニ於ケル産額及收支ノ概要ヲ知ルニ至便ナルヲ覺ユルニ附キ今簡ニ從ヒ其ノ數字ノミヲ掲ク又自餘ノ收支計算表ニ關シテハ茶業試驗要報中ニ其ノ説明トシテ下ノ記事アリ共ニ採リテ參考ノ好資料ト稱スルニ足レリ

郡別十五万円以上製茶産額表

明治三十四年度調

産 茶 價 額	郡 別
八一五、八二四	静岡縣
七六〇、四七二	同 榛原縣
五八三、六六八	同 小笠原縣
五七六、九〇三	同 安倍縣
二八二、三八三	同 磐田縣
二二八、二四一	同 庵原縣
一九六、二五一	滋賀縣
一九一、八九九	埼玉縣



一八三、七五〇  
一五六、三三五  
一五四、一九〇

三重縣飯南郡  
京都府相樂郡  
京都府久世郡

町村別五万円以上製茶産額表

明治三十四年度調

産茶價額	町村別
二〇、〇〇七	静岡縣榛原郡初倉村
一一五、九〇〇	京都府宇治郡宇治村
九五、七二〇	静岡縣榛原郡勝間田村
九四、五四七	同 縣 榛原郡金谷町
九二、六一七	同 縣 榛原郡川崎町
八〇、三三六	同 縣 榛原郡中川根村
七〇、〇四八	同 縣 榛原郡萩間村
六二、四四六	同 縣 安倍郡豊田村
六〇、七九三	同 縣 榛原郡五和村
五六、二九九	同 縣 小笠原郡河城村
五一、六三五	同 縣 榛原郡下川根村

茶園一反步當最多總收入純益表

總收入	純益	栽培	培人
一九〇、七五〇	一八、六九〇	東京府南葛飾郡金町村	宇田川安右衛門

種別	收葉額	生葉一貫ニ對スル肥料代	栽培	培人
玉露茶	一〇〇、〇〇〇	二七、〇六二	同	鈴木瀧藏
煎茶	一二三、二二〇	一六、一一〇	京都府綴喜郡宇治田原村	岩本宗太郎
煎茶	一一二、二二二	四一、〇三〇	同 府宇治郡宇治村	山村庄右衛門
煎茶	一〇七、二五〇	二〇、二七二	滋賀縣甲賀郡朝宮村	曾和治平
煎茶	七八、八二八	一三、四一五	三重縣河藝郡明村	山田嘉兵衛
煎茶	一七五、四七〇	四三、七九九	静岡縣榛原郡白羽村	鈴木政吉
煎茶	九五、四九六	四〇、七七九	同 縣 榛原郡川崎町	柴田佐吉
煎茶	九四、二三五	一七、一四七	同 縣 小笠原郡佐倉村	清水利平
煎茶	一二四、五〇七	三三、四七五	埼玉縣北足立郡大砂土村	飯島常八
煎茶	七七、三〇〇	二二、七一	同 縣 入間郡元狹山村	西島常吉

各府縣茶園一反步當最多收葉額生葉一貫目當肥料價額表

種別	收葉額	生葉一貫ニ對スル肥料代	栽培	培人
玉露茶	一八六、七〇〇	一九、六〇六	東京府南葛飾郡金町村	宇田川安右衛門
煎茶	一二三、二二〇	六、〇	京都府綴喜郡宇治田原村	岩本宗太郎
煎茶	一一二、二二二	九、三	滋賀縣甲賀郡朝宮村	曾和治平
煎茶	一〇七、二五〇	三、六	三重縣河藝郡明村	山田嘉兵衛
煎茶	七八、八二八	一一、〇	静岡縣榛原郡川崎町	柴田佐吉
煎茶	九四、二三五	六、八	埼玉縣北足立郡大砂土村	飯島常八

茶業家收支計算表說明



左表ハ専ラ茶業家現時ノ經濟ニ鑑ミ、斯業ノ經營上純益最モ多クシテ組織互ニ異ナレルモノ十八種ヲ撰ミ、參考資料タルヘキ經營ノ方法ヲ表示セルモノニシテ、京都府以東主ナル茶産地ノ當業者ニ就キ明治三十五年ノ事實ヲ調査シタルモノナリ

抑々本邦茶業ノ趨勢ハ較モスレハ收支計算上殆ト損失ヲ免レサルモノアリテ、茶園一反歩ノ普通總收入僅ニ二十八九圓ニ止リ、利益普通ノモノニアリテハ滋賀縣滋賀郡石山村ニ於ケル如ク小作料ヲ引キ去ル時ハ純益極テ少シ然レトモ、産地ノ風土、技術ノ進歩、經濟ノ狀況ニヨリテ最多ノ總收入ハ百九十圓餘ニ上リ又純益ノ最多ナルモノニ至ツテハ小作料ヲ控除スルモ四十一圓ニ達シ二十圓ヲ超ユルモノ亦少カラズ、斯ノ如ク純益多キモノハ抑モ何ニ因テ然ルカ當業者ハ其經營ノ細目ニ入りテ考究セハ得ル所鮮カラサルヘシ

表中家内仕舞トハ傭人ヲ使用セス専ラ家内人夫ニテ經營スルモノヲ云ヒ大仕掛トハ總收入約千圓以上ノモノ中仕掛トハ五百圓以上約千圓未滿ノモノ、小仕掛及家内仕舞トハ五百圓未滿ノモノヲ區別シタル便宜上ノ名稱ナリ

家内仕舞法ニ於ケル特別支出トハ自家供給ノ諸人夫手間、製造栽培ニ要スル材料等ヲ稱シ専ラ自家ノ收入タルヘキモノニシテ、普通支出トハ全ク他ニ仕拂フヘキモノヲ謂フ

小作料ハ茶園ノ地價ニ對スル若干ノ利子即チ純益ヲ含ムカ故ニ、茶園ヲ所有スル場合ニ於テハ其純益ハ所得中ニ加フ可キモノナレトモ、本表ハ専ラ茶業ヲ經營シタル結果トシテ、産出スヘキ純益ノ多寡ヲ表示センカ爲ナレハ小作料ハ之ヲ支出ノ部ニ加入セリ

器具損料中ノ器具ハ農具製造器具等ヲ謂フ

○綠茶製造茶業家收支計算

(明治三十五年分)

東京府普通

煎茶園 一反歩

總收入

二十九圓六十八錢

金額	項目	摘要
二八、〇〇〇	一、二番製茶代	十四貫一貫目ニ付二圓
一、六八〇	一、二番屑茶代	二貫百匁、一貫ニ付八十錢
二九、六八〇	計	十六貫百匁

支出

二十六圓五十一錢二厘

金額	項目	摘要
二、〇〇〇	小作料	
一、五〇〇	肥料	堆肥 人糞 尿肥
二、〇〇〇	栽培人夫賃	延三人、一人四十錢
一、二〇〇	摘採費	延二人、一人四十錢
〇、八〇〇	摘採費	生葉七十貫、一貫ニ付八錢
五、六〇〇	摘採費	



九、一〇〇	製造人夫賃	職工延十四人、一人二付四十錢 十四人、一人二十五錢
五、三六七	薪炭費	薪十束、一束七錢 四十二貫、一貫二付十一錢一厘餘
〇、九四五	雜費	茶業組合費 栽培製造器具損料 職工一人二付三錢
二六、五二二	計	

差引 金三圓十六錢八厘

純益

○綠茶製造茶業家收支計算

(明治三十五年分)

埼玉縣普通

煎茶園 一反步

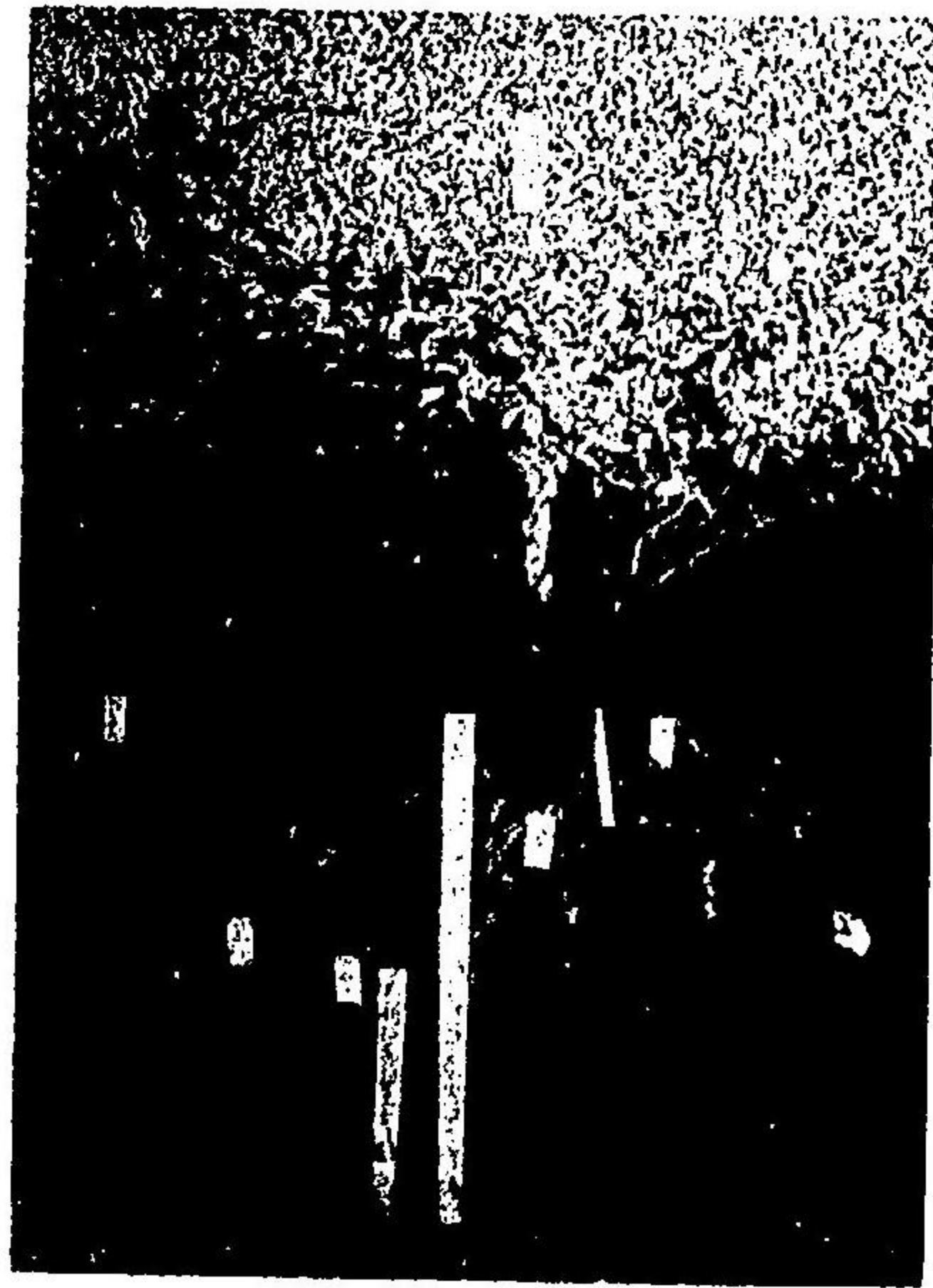
總收入

四十一圓六十錢

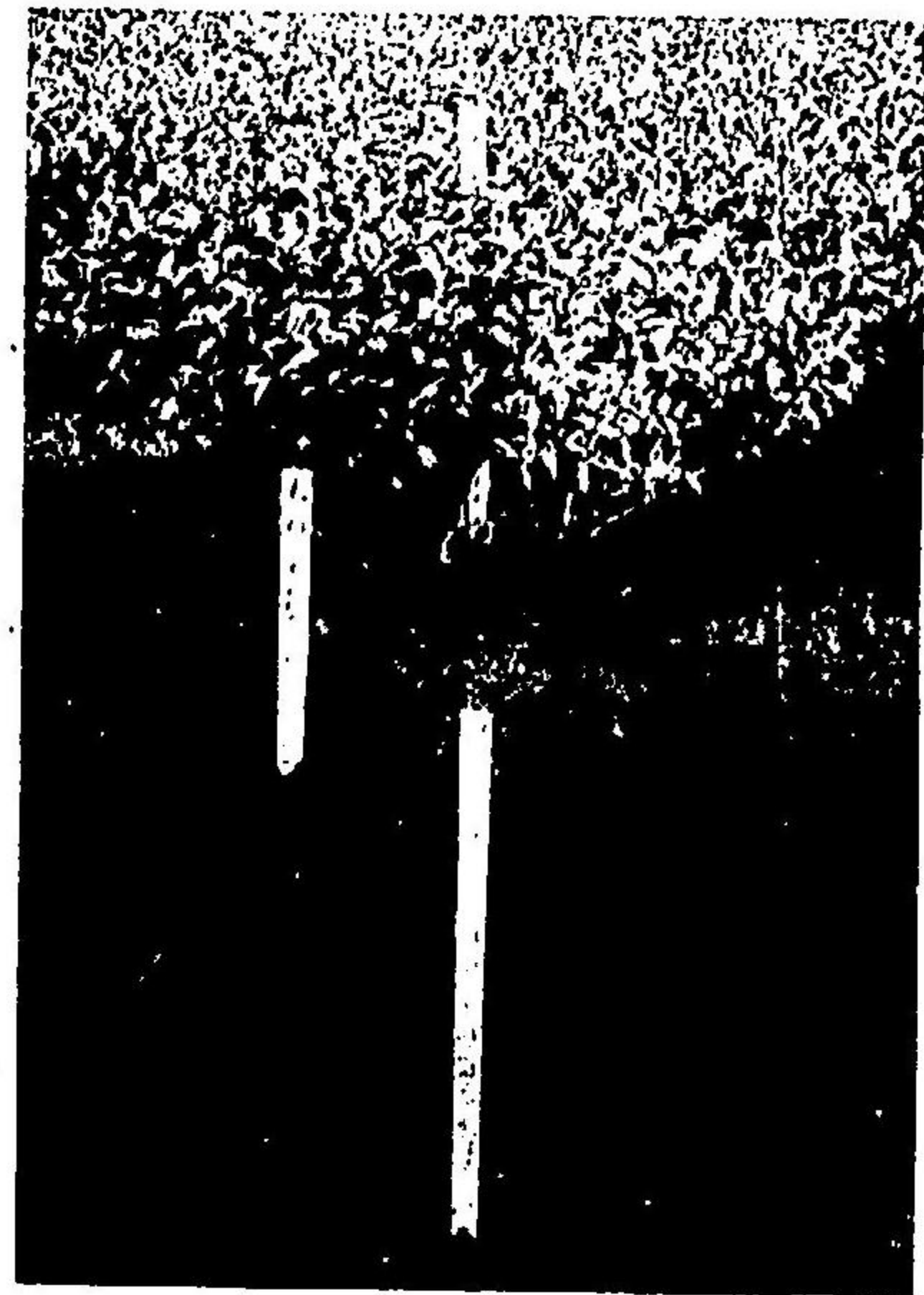
金額	項目	摘要
三六、四〇〇	一番製茶代	本茶代
三五、〇〇〇		製茶十四貫、一貫二付二圓五十錢



(一 其) 法培栽樹茶所驗試



(三 其)

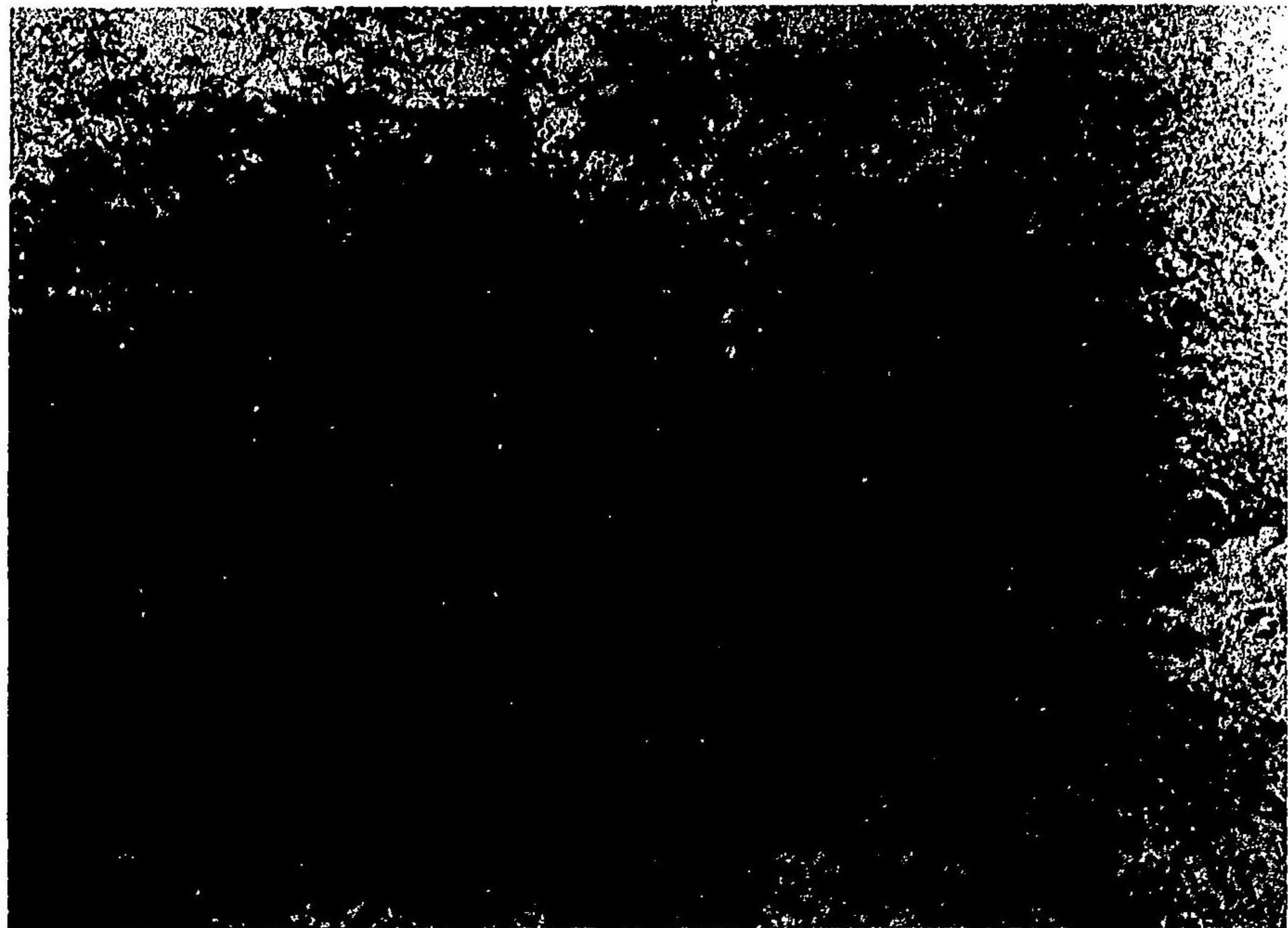


(二 其)



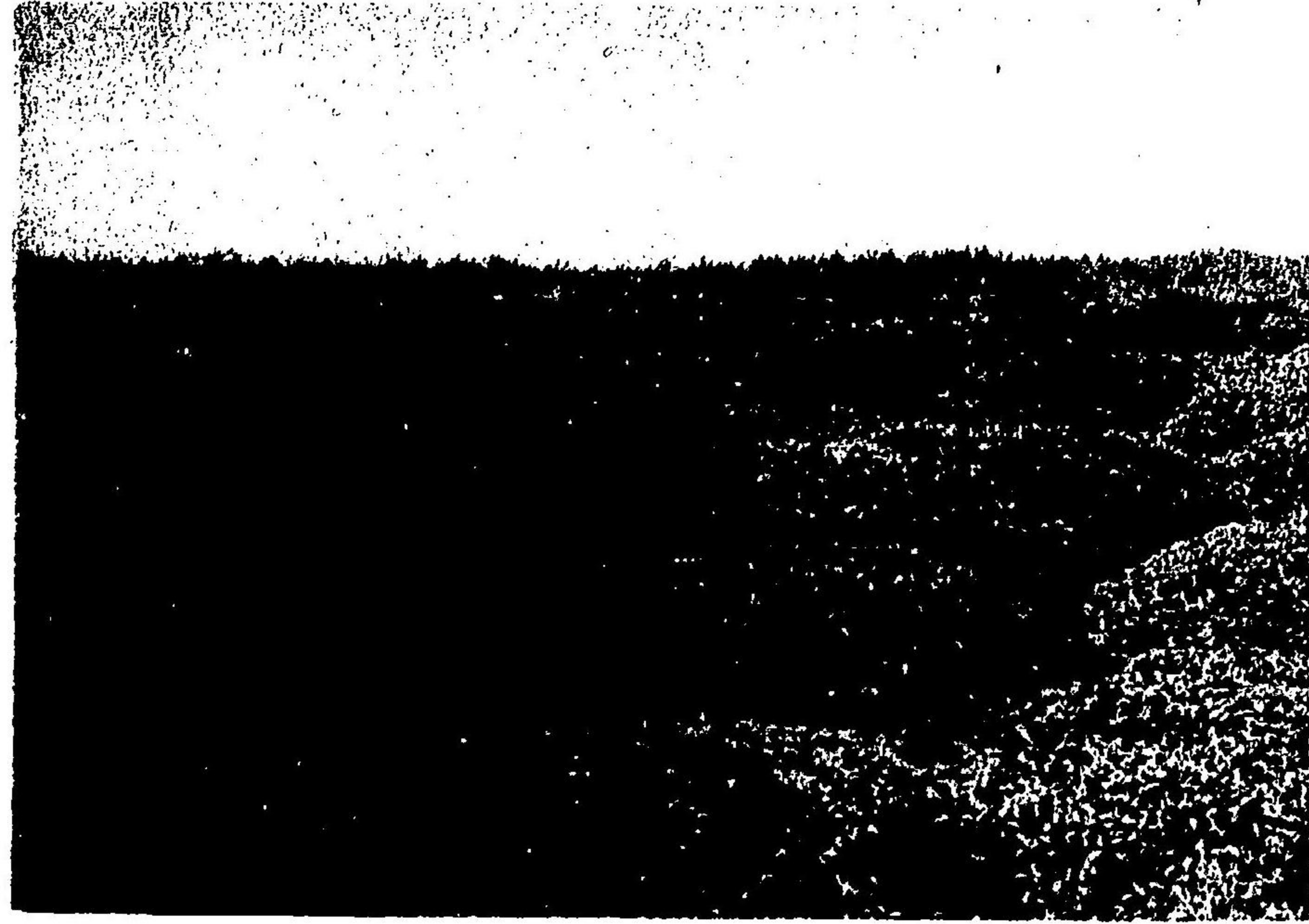


圖ノ枝幹樹茶植本二町崎川郡原榛縣岡靜



圖ノ樹茶古村本坂郡賀滋縣賀滋





景ノ園茶村田吉郡原榛縣岡靜



狀ノ枝剪樹茶用露玉幡木治宇郡治宇府都京



農商務省

六、〇〇〇	四、〇〇九	三、九〇〇	五、一〇〇	一一、七〇〇
一、〇〇〇	二、六〇九	〇、四〇〇	〇、六〇〇	〇、六〇〇
肥料	小作	肥	摘採	製造
人糞	油	塵	剪枝	製
尿	柏	芥	耘	造
十荷、一荷十錢	十二貫、一貫二十一錢七厘強	四十荷、一荷一錢	延九人、一人三十錢	延二人、一人三十錢
			延二人、一人三十錢	生葉八十五貫、一貫二付六錢
			延十七人、一人二付三十錢	延十七人、一人二十錢
			延十七人、一人二十錢	一人六分、一人五十錢(賄共)
			延三人、一人四十錢	

支出

三十六圓八十五錢

一一一

五、二〇〇	四一、六〇〇
一、四〇〇	〇、二〇〇
二番製茶代	計
層茶代	層茶代
層茶代	層茶代
層茶一貫四百匁、一貫二付二圓	二貫五百匁、一貫二付二圓
	二百五十匁、一貫二付八十錢
	十八貫百五十匁



四、六九〇	薪炭費	棟賃	延六人、一人賄共二十錢
〇、六八〇	雜費	薪代	職工一人ニ付四錢
四、〇一〇		炭代	四十貫百匁、一貫十錢
一、四五二	計	紙糊衣蓆代	爐延二十四挺三分、一挺ニ付三錢五厘
〇、八五一		器具損料	栽培製造器具損料
〇、六〇〇			
三六、八五〇			

差引 金四圓七十五錢

純益

〇綠茶製造茶業家收支計算

(明治三十五年分)

三重縣普通

煎茶園 一反歩

總收入

四十六圓六錢三厘

金額	項目	目	摘要
二四、八六三	一番製茶代	生	八貫百匁、一圓ニ付二貫七百匁
九、二四〇	二番製茶代	耕	三百七十五貫、一圓ニ付百五十貫
一一、九六〇	三番製茶代	施肥	延十二人半、一人三十五
四六、〇六三	計	剪枝	延三人半、一人二十五錢

支出

四十二圓二十五錢一厘

金額	項目	目	摘要
七、〇〇〇	小作料	鹹	八貫百匁、一圓ニ付二貫七百匁
五、五〇〇	肥料	生	三百七十五貫、一圓ニ付百五十貫
五、〇〇〇	栽培人夫賃	耕	延十二人半、一人三十五
三、一三五	摘採費	施肥	延三人半、一人二十五錢
一、〇〇〇	製造人夫賃	剪枝	請負ハシム、反一圓
一一、九三三	薪炭費	茶揉人夫日當	一、二番茶合計生葉百貫、一貫ニ付四錢
四、三二六		蒸及雜役	三番茶生葉四十貫、一貫ニ付三錢五錢
〇、七六〇	雜費	茶揉人夫賄料	延二十人、一人三十八錢
三、五五六		薪炭代	二十人、一人二十二錢
一、一四〇	計	糊紙衣蓆代	三十貫四百匁職工一人ニ付一貫五百二十匁
〇、七六二		器具損料	十匁一圓ニ付四十貫
〇、〇四〇		茶業組合費	雜木炭四十八貫、一貫七錢四厘強
〇、一六〇		備人雜給	爐延二十六挺半、一挺ニ付四錢三厘
四二、二五二			栽培、製造器具損料



三六、八五〇	〇、六〇〇	計	器具損料	栽培製造器具損料
一、四五二	〇、八五一	雜費	紙糊衣蓆代	爐延二十四挺三分、一挺ニ付三錢五厘
四、六九〇	四、〇一〇	薪炭費	薪代	職工一人ニ付四錢
	〇、六八〇		炭代	四十貫百匁、一貫十錢
	一、二〇〇		棟賃	延六人、一人賄共二十錢

差引 金四圓七十五錢

純益

○綠茶製造茶業家收支計算

(明治三十五年分)

三重縣普通

煎茶園 一反歩

四十六圓六錢三厘

金額	項目	目	摘要
二四、八六三	一番製茶代		十四貫六百二十五匁、一貫ニ付二圓七十錢
九、二四〇	二番製茶代		七貫七百匁、一貫ニ付一圓二十錢
一一、九六〇	三番製茶代		九貫二百匁、一貫ニ付一圓三十錢
四六、〇六三	計		三十一貫五百二十五匁

支出

四十二圓二十五錢一厘

七、〇〇〇	五、五〇〇	五、〇〇〇	五、四〇〇	一一、九三三	四、三二六	二、一〇二	四二、二五一
小作料	肥料	栽培人夫賃	摘採人夫賃	製造人夫賃	薪炭費	雜費	計
鯨草	耕肥	施肥	剪枝	茶揉人夫日常	茶揉人夫賄料	蒸及雜役	薪炭代
八貫百匁、一圓ニ付二貫七百匁	三百七十五貫、一圓ニ付百五十貫	延十二人半、一人三十五	延三人半、一人二十五錢	延二十人、一人三十八錢	延二十人、一人二十二錢	三十貫四百匁職工一人ニ付一貫五百二十匁一圓ニ付四十貫	雜木炭四十八貫、一貫七錢四厘強
		請負ハシム、反一圓	一、二番茶合計生葉百貫、一貫ニ付四錢	三番茶生葉四十貫、一貫ニ付三錢五錢		爐延二十六挺半、一挺ニ付四錢三厘	栽培、製造器具損料

農商務省



差引 金三圓八十一錢二厘

○綠茶製造茶業家收支計算 (明治三十五年分)

岐阜縣陰干製普通

總收入

二十一圓九十錢

金額	項目	目	摘要
二一、六〇〇	製茶代	計	十三貫五百匁、一貫ニ付一圓六十錢
〇、三〇〇			
二一、九〇〇	屑茶代		一貫五百匁、一貫ニ付二十錢
十八圓六十七錢			

支出

一四、七〇〇	買葉代	製造人夫賃	生葉七十貫、一貫ニ付二十一錢
二、七五〇	薪炭費	精製火入費	延男二人、女七人、男一人三十五錢、女一人二十錢
〇、六二〇			
〇、四五〇	雜費	箱代	製茶一貫ニ付一錢七厘弱
〇、一七〇			
〇、六〇〇			二十貫、一貫二錢三厘強
〇、四五〇			二貫、一貫八錢五厘
〇、六〇〇			一個代(釘附荷造共)

一八、六七〇	計	雜費	釜預料、席、器具損料及茶業組合費
〇、一五〇			

差引 金三圓二十三錢

○輸出向普通茶家内仕舞法 (明治三十五年分)

静岡縣榛原郡吉田村

大石宇吉

煎茶園 一反一畝歩  
總收入

百一十一圓

純益

金額	項目	目	摘要
五一、九九四	一番製茶代	計	二十五貫、一貫ニ付二圓八錢弱
三五、二六五			
二三、七四一			
一一、〇〇〇	二番製茶代		十五貫四百匁、一貫ニ付二圓二十九錢弱
	三番製茶代		十二貫八百匁、一貫ニ付一圓八十五錢弱
	計		五十三貫二百匁

普通支出

二十五圓五十三錢

八、八〇〇	小作料	薪	反當リ八圓
一〇、〇〇〇			
五、四四一	肥料		大豆粕、ナガラミ(方言)堆肥(堆肥ノ中泥土ヲ混ス)反當リ九圓九錢一厘
一、五九六	薪炭費	代	製茶一貫ニ付三錢



一、二八九	三、八四五	雜費	炭代	六十九貫百六十匁、一貫五錢五厘六毛、製茶一貫二付一貫三百匁
二五、五三〇	二九五	計	糊衣代	爐五十九挺分、一挺二付五厘
	五六六		紙代	延五十九挺分、一挺二付九厘六毛（二帖二十三錢）
	四二八		器具損料	栽培製造器具損料

特別支出

六十四圓六十五錢

一、五〇〇	堆肥製造手間賃	延五人、一人三十錢
三、一五〇	栽培人夫賃	延七人、一人三十錢
四四、二五〇	製造人夫賃	延三人、一人三十五錢
一五、七五〇	摘採蒸及諸役	延五十九人、一人七十五錢
六四、六五〇	計	延七十五人、一人二十一錢

差引

金二十圓八十二錢

純益

外

金六十四圓六十五錢

特別支出(手取金)

合計

八十五圓四十七錢

所得金

反當リ純益十八圓九十二錢七厘

○内外用中等茶家内仕舞法

(明治三十五年分)

滋賀縣甲賀郡朝宮村

杉本種藏

煎茶園 五畝十六步

總收入

六十四圓四十三錢八厘

金額	項目	摘要
三六、九三八	一番製茶代	十四貫六百匁、一貫二付二圓五十三錢
二七、五〇〇	二番製茶代	十二貫五百匁、一貫二付二圓二十錢
六四、四三八	計	二十七貫百匁

普通支出

十四圓八十五錢二厘

金額	項目	摘要
三、三二〇	小作料	反當リ六圓
一〇、〇〇〇	摘探費	生葉百二十三貫、一人一日三貫七十五匁
一、五三三	雜費	摘延四十人、一人二十五錢
一四、八五二	計	農具製造器具損料、賞與、茶業組合費

特別支出

二十九圓七十二錢

六、七五〇	肥料	人糞八荷及雜草二百五十貫刈込賃、反當リ十二圓十九錢九厘
三、一五〇	栽培人夫賃	反當リ五圓六十九錢三厘







特別支出

七十二圓六十四錢八厘

七、八〇〇	小作料	豚飼育人夫一年間延二十六人、一人三十錢
三、六〇〇	肥培人夫費	延四人、一人三十錢
〇、二〇〇	計	延六人、一人三十錢
一、八〇〇	製造人夫賃	延二人、一人三十錢
〇、六〇〇	摘採及諸役	職工延七十一人、一人七十五錢
五三、二六五		延三十六人三分、一人二十一錢
七、六二三		
七二、六四八		

差引 金四十八圓十七錢九厘

純益

外 = 金七十二圓六十四錢八厘

特別支出(手取金)

合計 百二十圓八十二錢七厘

所得金

反當リ純益四十三圓七十九錢九厘

○内外用上等茶家内仕舞法 (明治三十五年分)

京都府綴喜郡宇治田原村

岩本宗太郎

煎茶園 一反二畝步

總收入

百四十七圓八十七錢二厘

金額	項目	摘要
----	----	----

九八、二七二	一番製茶代	荒茶四十七貫、一貫ニ付二圓九錢一厘弱
四三、七八二	二番製茶代	荒茶十七貫二百匁、一貫ニ付二圓五十四錢
五、八一八	刈番茶代	荒茶四十貫、一貫ニ付十四錢八厘強
一四七、八七二	計	荒茶六十四貫二百匁外ニ四十貫刈番茶

普通支出

八十三圓四十五錢

七、二〇〇	小作料	反當リ六圓
八、〇〇〇	肥採料	油粕十個、一個(四貫)八十錢、反當リ六圓六
三五、六五〇	摘採費	十六錢七厘
二一、〇〇〇	製造人夫賃	摘子延百五十八日當十八錢、賄一人十三錢
一〇、五〇〇	炭代費	一人二貫五百匁當リ
一、一〇〇	雜費	茶採人夫三十人、一人七十錢(賄ハ被備持)
八三、四五〇	計	地方炭百五十貫、一貫ニ付七錢
〇、六〇〇	紙糊代	紙糊、栽培製造器具損料
〇、五〇〇	器具損料	茶採人夫一人ニ付一錢
		栽培製造器具損料

特別支出

四十五圓九錢

八、八〇〇	肥培人夫賃	生草百十荷、刈入賃一荷八錢
七、五〇〇	栽培人夫賃	耕作除草四月期割施肥三人、摘採前土寄七二人、摘採後堀
二四、〇〇〇	製造人夫賃	山下草七人、除草五人、剪枝四人、夏季除草二回四人
二二、〇〇〇	茶採人夫日常	延三十五人、一人三十錢
		延三十人、一人七十錢



一、八四〇	薪	薪	延十二人、(老人)一人二十五錢
〇、二四〇	薪	薪	松薪二駄、一駄八十錢
二、九五〇	刈番茶製造費	薪	一爐ニ付四百匁當リ、一貫ニ付八錢
四五、〇九〇	計	薪	延七人(老人)一人二十五錢他ニ薪薪代

差引 金十九圓三十三錢二厘

外ニ 金四十五圓九錢

合計 六十四圓四十二錢二厘

反當リ純益十六圓十一錢

○内外用上等茶家内仕舞法 (明治三十五年分)

東京府南葛飾郡金町村

鈴木龍藏

煎茶園 二反歩

二百圓

金	額	項	目	摘	要
二〇〇、〇〇〇		一、二番製茶代		製茶八十貫、一貫ニ付二圓五十錢	
二〇〇、〇〇〇		計		八十貫	

普通支出

七十九圓二十錢

一七、〇〇〇	小作	肥料	反當リ八圓五十錢
九、〇〇〇	栽培人夫賃	肥料	人糞尿六十荷、一荷十五錢、反當リ四圓五十錢
八〇〇	摘採人夫賃	肥料	剪枝延二人、一人四十錢
二二、〇〇〇	製造人夫賃	薪	生葉四百貫、一貫ニ付五錢五厘
一一、〇〇〇	薪	薪	職工延三十人、一人四十錢(賄付)
一五、八〇〇	雜費	薪	松薪八十二把半、一把六錢一厘弱
二、六〇〇	計	薪	土釜炭百八十貫、一貫ニ付六錢
七九、二〇〇		紙	爐五挺分一挺ニ付二十錢
		茶業組合費	反當リ二十錢
		器具損料	反當リ六十錢

特別支出

六十六圓六十七錢七厘

一〇、〇〇〇	肥料	肥料	屑類百荷、一荷一錢
一〇、二〇〇	栽培人夫賃	肥料	反當リ五圓十錢
七、〇〇〇	製造人夫賃	肥料	延二十人、一人三十五錢
〇、四〇〇	製造人夫賃	肥料	延八人、一人三十五錢
七、五〇〇	製造人夫賃	肥料	一人、四十錢
五四、四五〇	製造人夫賃	肥料	延三十人、一人二十五錢



六六、六七七	〇、三六〇	〇、六六七	計	茶揉人夫日常	延六十人、一人六十五錢
一、〇二七	七、九五〇	〇、三六〇	雜費	製造雜役	延三十人、一人二十六錢五厘
				糊代	爐九十挺分、一挺二付四厘
				衣代	八十貫、一貫二付八厘三毛餘

差引 金五十四圓十二錢三厘

外ニ 金六十六圓六十七錢七厘

合計 百二十四圓八十錢

反當リ純益二十七圓六錢二厘

○寶掛上等茶家内仕舞法

(明治三十五年分)

茨城縣結城部西豐田村

古橋清次

純益  
特別支出(手取金)  
所得稅

寶掛茶園 八畝步

百四十二圓七十七錢

金額	項目	目	摘要
一一五、五〇〇	製茶	代	二十一貫、一貫二付五圓五十錢
二七、二七〇	計	代	十二貫百二十分、一貫二付二圓二十五錢
一四二、七七〇			三十三貫百二十分

普通支出

四十八圓五十八錢

金額	項目	目	摘要
五、六〇〇	小作	肥料	反當リ七圓
六、三〇〇	肥	料	反當リ七圓八十七錢五厘
五、五三八	栽培	人夫賃	三石二斗、一斗二付五錢、反當リ二圓
			三枚、一枚一圓二十五錢、反當リ四圓六十八錢七厘五毛
			一枚九十五錢、反當リ一圓十八錢七厘五毛
			反當リ六圓九十三錢(寶掛賃共)
			一枚幅九尺長二間ノモノ八十枚、一枚三錢、
			此金二十四圓(五ヶ年使用)
			十三束半、一束二十五錢、此金三圓三十七錢五厘(十ヶ年使用)
			九十束二付二圓、(十ヶ年使用)
			二束、一束十錢
			生葉百四十四貫、貫摘八錢
九、四二五	摘採	人夫賃	職工延十八人、一人四十五錢(賄共)
八、三二五	薪炭	費	製茶一貫二付四錢
一、八七二	雜費		七十二貫、一貫十錢
			四十五束、一束二錢五厘
			三十六挺分、一挺二付一錢二厘
			生熟二升、一升五厘
			三十六挺分、一挺二付一錢
			製造器具及農具損料
四八、五八〇	器具損料	計	



特別支出

二十圓十五錢

三、〇〇〇	堆肥製造費	延十人、一人三十錢
六、八〇〇	栽培人夫賃	延八人、一人三十五錢
二、八〇〇		延二人、一人三十錢
〇、六〇〇		延九人、一人三十錢
二、七〇〇		延二人、一人三十五錢
〇、七〇〇		職工延十八人、一人四十五錢
八、一〇〇	製造人夫賃	延九人、一人二十五錢
二、二五〇	摘採及雜役	
二〇、一五〇	計	

差引 金七十四圓四錢

純益

外ニ 金二十圓十五錢

所得金

合計 金九十四圓十九錢

特別支出(手取金)

反當リ純益九十二圓五十五錢

〇生葉賣小仕掛傭人法

(明治三十五年分)

静岡縣榛原郡川崎町

柴田 佐吉

一反八畝步

總收入

百七十一圓八十九錢三厘

金額	項目	目	摘要
五五、四五八	一番茶生葉代		二百五貫二百匁、一貫ニ付二十七錢弱
七六、六六四	二番茶生葉代		二百七十五貫九百九十四匁、一貫ニ付二十七錢八厘強
三九、七七一	三番茶生葉代		七十四貫九百九十六匁、一貫ニ付二十七錢七厘弱
一七一、八九三	計		六百五十六貫百九十匁

支出

九十八圓四十九錢一厘

金額	項目	摘要
一八、〇〇〇	小作料	反當リ十圓
四〇、〇〇〇	肥料	反當リ二十二圓二十二錢二厘弱
一六、六五〇	栽培人夫賃	延三十七人半、一人三十五錢反當リ七圓二十五錢
一三、〇五〇		延八人一人四十五錢
三、六〇〇		一番芽平均一人七貫摘二番芽平均十二貫摘(剪枝ニ注意スルタメ摘量多シ)
二二、八四一	摘採費	
九八、四九一	計	

差引 金七十三圓二十錢二厘

純益

反當リ純益四十圓六十六錢八厘

〇輸出向普通茶小仕掛傭人法

(明治三十五年分)

滋賀縣滋賀郡石山村

正田 磯八

煎茶園 一反步

農商務省











二七、三五〇	三六、七九九	摘採費	三四番茶生葉代	百六十七貫二百六十九匁、一貫二付二十二錢
一三、七五〇	七、二〇〇	製造人夫賃	一番茶摘採費	延摘採婦六十二人半、一人二十二錢、一人二貫五百匁摘
六、四〇〇	三、七〇〇	製造人夫賃	二番茶摘採費	延摘婦三十六人、一人二十錢、一人二貫
八九、七九八	九、三〇〇	製造人夫賃	三番茶摘採費	五百匁摘
三五、七〇〇	三五、五四一	製茶機械損料	一茶番	延摘婦三十二人、一人二十錢、一人二貫五百匁摘
一二、〇〇〇	九、二五七	薪炭費	茶採人夫賄料	延五十一人 上等職工延十七人、一人二圓 中等職工延三十四人、一人五十五錢
三八、四七二	四、七六八	薪炭費	茶採人夫賄料	五十一人、一人十八錢二厘強
四、八二四	三三、七〇四	雜費	茶採人夫賄料	一番茶ノ割
五二四、一六三	一、一九〇	計	器具損料	据付運搬費、原價百二十圓ノ一割
	一、八二七		紙糊代	一貫二付一錢一厘三毛
	一、一九〇		衣蓑代	一貫二付八錢弱
	〇、六一七		器具損料	

特別支出

六十六圓七十二錢

七、二〇〇	栽培人夫賃	延二十四人、一人三十錢
四八、三〇〇	製造人夫賃	茶採人夫延九十三人、一人五十二錢強(蒸)
一一、二二〇	摘採及雜役	延六十三人、一人十七錢五厘弱
六六、七二〇	計	

差引 金百五十八圓九十錢二厘

純益

外ニ 金六十六圓七十二錢

特別支出(手収金)

合計 二百二十五圓六十二錢二厘

所得金

反當リ純益七十九圓四十五錢一厘

○内外用中等茶中仕掛傭人法

(明治三十五年分)

滋賀縣甲賀郡朝宮村

會和治平

煎茶園 七反步

總收入

七百五十圓七十五錢

五七五、二五〇	一番製茶代	荒茶二百九十五貫、一貫二付一圓九十五錢
一七五、五〇〇	二番製茶代	荒茶九十貫、一貫二付一圓九十五錢
七五〇、七五〇	計	荒茶三百八十五貫
支	出	六百八圓八十四錢
四二、〇〇〇	小作料	反當リ六圓

農商務省

農商務省

農商務省



一五五、〇〇〇	肥	肥料	反當リ二十二圓十四錢
一〇〇〇〇〇	油	油粕、乾	油粕四十貫、一貫ニ付二十五錢反當リ十
三〇〇〇〇〇	人糞	人糞	四圓二十八錢六厘弱
二五、〇〇〇	生草	生草	五十荷、一荷六十錢、反當リ四十二錢九
四〇、五〇〇	栽培人夫賃	栽培人夫賃	生草刈込賃八百貫分、一貫ニ付三錢一厘強
二四、九〇〇	耕	耕	反當リ五圓七十八錢六厘弱
一〇、五〇〇	施肥	施肥	除草夏季二圓延三十八人、耕付(麥期、土寄七)五十五
五、一〇〇	摘採	摘採	人計八十三人、反當リ十一人九分、一人三十錢
一三〇、〇〇〇	製造人夫賃	製造人夫賃	乾血、油粕施用一回五人、人糞施用一回十六人、生草
一七九、八〇〇	摘採	摘採	乾血施用一回十四人計三十五人反當リ五人一人三十錢
八七、〇〇〇	茶揉人夫日常	茶揉人夫日常	十七人、反當リ二人半、一人三十錢
七二、五〇〇	茶揉人夫賄料	茶揉人夫賄料	摘子延五百二十人、一人三錢七十五錢(賄ハ
一一、五五〇	蒸人夫賃	蒸人夫賃	被備人持)一人三貫七角七分七厘餘
八、七五〇	世話掛運搬人費	世話掛運搬人費	製茶一貫ニ付四十六錢七厘餘
四七、五〇〇	薪炭	薪炭	延二百九十人、一人三十錢、製茶一貫三
三五、〇〇〇	薪炭	薪炭	延二百七十人、一人二十五錢
一二、五〇〇	薪炭	薪炭	延三十三人、一人三十五錢
一四、〇四〇	雜費	雜費	延三十五人、一人二十五錢(老人ヲ用フ)
六〇八、八四〇	計	器具損料	製茶一貫ニ付、十二錢三厘餘
四、二〇〇	計	器具損料	地方炭六百貫、一貫ニ付五錢八厘強、一
		器具損料	番茶用二十六圓、二番茶用九圓
		器具損料	松薪五百貫、一貫ニ付二錢五厘
		器具損料	反古紙ヲ用フ、茶揉人夫一人ニ付、一錢
		器具損料	一厘一毛強
		器具損料	八百七十把、茶揉人夫一人ニ付三把、一
		器具損料	把ニ付二厘弱
		器具損料	屑米一斗二升代茶揉人夫一人ニ付四厘八
		器具損料	毛強
		器具損料	茶業組合費及備人賞與

差引 金百四十一圓九十一錢

反當リ純益二十四圓二十七錢三厘

○玉露茶中仕掛備人法 (明治三十五年分)

京都府宇治郡宇治村

桑原善助

玉露園 四反四畝歩

總收入

五百二十一圓二錢

純益

六〇八、八四〇	四、二〇〇	計	器具損料	栽培製造器具損料
		計	器具損料	製茶一貫ニ付一圓五十八錢二厘

五〇七、五六〇	玉露茶代	玉露茶代	六十七貫三百二十文、一貫ニ付七圓五十四
一三、四六〇	玉露茶代	玉露茶代	錢強
五二一、〇二〇	計	計	六貫七百三十文、一貫ニ付二圓
			七十四貫五十文

支出

三百九十五圓八錢四厘

五七、二〇〇	小作	小作	反當リ十三圓
八八、七〇四	肥料	肥料	人糞尿四千二百二十四貫、反當リ二十圓一
二四、九二〇	栽培人夫賃	栽培人夫賃	錢六厘
	耕	耕	反當リ五圓六十六錢四厘弱
	耘	耘	延三十五人二分、一人三十五錢、反當リ二
			圓八錢

農商務省



二八、九〇〇	一二、六〇〇	覆架設費	施肥	年三回一回十二人半延三十六人、一人三十 五錢反當り二圓八十六錢三厘弱 反當り六圓五十六錢八厘
一九、三六〇	一九、三六〇	覆架設費	覆架代	受負、反當り四圓四十錢(剪枝ヲモ行フ)
二、九四〇	六、六〇〇	摘採費	製茶人夫賃	反當り一圓五十錢 生葉三百九十六貫、實摘一貫八錢
三一、六八〇	五、〇〇〇	製造人夫賃	茶揉人夫日當	延百二人、一人五十錢
一二五、四二〇	一一、九〇〇	製茶人夫賃	蒸人夫賃	延三十四人、一人三十五錢
	二五、五〇〇	茶揉人夫賄料	茶揉人夫賄料	延百二人、一人二十五錢
	二〇、一九〇	精製火入費	精製火入費	製茶一貫ニ付二十七錢三厘弱
二三、七六〇	一六、八三〇	炭石炭費	炭石炭代	製茶一貫ニ付二十二錢七厘強
	一九、八〇〇	炭石炭代	炭石炭代	二百二十貫、一貫ニ付九錢
	三、九六〇	糊紙代	糊紙代	八百八十斤、百斤ニ付四十五錢
一四、五〇〇	九、四二〇	雜費	雜費	製茶一貫ニ付十二錢七厘強(精製火入用ヲ モ含ム)
三九五、〇八四	五、〇八〇	計	計	農器具掛料三圓八錢、茶業組合費及賞與三圓

差引 金百二十五圓九十三錢六厘  
反當り純益二十八圓六十二錢一厘

純益

○輸出向普通茶大仕掛傭人法 (明治三十四年ニ至ル五ヶ年平均)

煎茶園 一町一反八畝二十四步 三重縣河藝郡明村 山田 嘉兵衛

總收入 九百三十六圓七十五錢三厘

金額	項目	摘要
四二六、八四六	一番製茶代	三百十七貫〇四十匁、一貫ニ付一圓三十四錢六厘強
二四八、六五一	二番製茶代	二百十貫八十匁、一貫ニ付一圓七錢九厘強
二六一、二五六	三番製茶代	二百三十六貫九百五匁、一貫ニ付一圓十錢三厘弱
九三六、七五三	計	七百六十四貫三百三十五匁

支出 七百七十七圓三十三錢九厘

金額	項目	摘要
九五、〇四〇	小作料	當り八圓
一一八、二七〇	肥料	反當り十一圓六錢二厘強 二百九十貫百五匁、一圓ニ付二貫六百匁
五三、六九九	栽培人夫賃	反當り七圓〇五錢五厘弱 反當り一圓三十三錢強 千七百二十八貫六百匁、一圓ニ付百五十貫
一二五、五八八	摘採費	反當り十四圓四十二錢五厘 反當り十四圓二厘弱 反當り四圓九十二錢八厘強 延百三十五人半強、一人三十錢反當り十二人七分強 延三十二人半、一人四十錢、反當り三人強 生葉三千四百四十一貫、實摘一貫ニ付三錢五厘



二六三、三九一	製造人夫賃	職工延四百七十七人半、平均一人二十八錢
二二六、三六一	薪炭費	職工四百七十七人半、一人二十六錢五厘弱
七四、一二八	薪炭代	生葉一貫二付六厘
二〇、六四六	薪炭代	千六十九貫六百四十文、一貫二付五錢、製
五三、四八二	薪炭代	茶一貫二付七錢
四七、二二三	雜費	職人一人二付五厘
二、三八七	衣蓑料	職人一人二付四錢
一九、〇八〇	紙糊刷毛代	器具損料職人雜給
一、〇〇〇	茶業組合費	
二四、七五六	雜費	
計		
七七七、三三九		

差引 金百五十九圓四十一錢四厘

純益

反常リ純益十三圓四十一錢八厘

○輸出向、上等茶大仕掛備人法

(明治三十五年分)

静岡縣小笠郡佐倉村

清水利平

煎茶園 一町一反步

總收入

千三十六圓五十八錢五厘

金額	項目	摘要
----	----	----

五六一、六〇〇	一番製茶代	九十六貫三百二十文、一貫二付五厘
四八一六〇〇	上製茶代	四十貫、一貫二付二厘
八〇、〇〇〇	中製茶代	百貫、一貫二付二厘
二六〇、〇〇〇	二番製茶代	二百六十貫、一貫二付二十三錢一厘弱
二〇〇〇〇〇	製茶代	九十五貫、一貫二付二圓二十六錢三厘
六〇、〇〇〇	生葉代	製茶三百三十貫三百二十文外、生葉二百六十貫
二二四、九八五	三番製茶代	
一〇三六、五八五	計	

支出

八百四十七圓九十六錢五厘

八八、〇〇〇	小作料	反常リ八圓
一一〇、〇〇〇	肥料	豚ノ排泄物、人糞尿、草、魚肥等年々異
四六、二〇〇	栽培人夫賃	レアルモノヲ施ス
二二、一〇〇	耕	反常リ十圓
一五、四〇〇	施肥	延六十六人、一人三十五錢、反常リ六人、
七、七〇〇	摘採費	二圓十錢
一六二、六〇〇	摘採費	延四十四人、一人三十五錢、反常リ四人、
六四、八〇〇	一番茶摘採費	一圓四十錢
五七、二〇〇	二番茶摘採費	延廿二人、一人卅五錢、反常リ二人、七十錢
三四、八〇〇	三番茶摘採費	延七十七人、一人二付二圓五百文摘
五、八〇〇	摘子監督費	延二百四十人、一人二十七錢
		延二百八十六人、一人二十錢
		延百七十四人、一人二十錢
		延二十九人、一人二十錢



三五四、八〇〇	三七、七〇〇	製造人夫賃	爐頭賃	延二十九人、一人一圓三十錢(賄共)
二九六、八〇〇	二九六、八〇〇	薪炭費	茶揉人夫日常	延三百七十一人、一人八十錢(賄共)
二〇、三〇〇	二〇、三〇〇	薪炭費	蒸及雜役	延五十八人、一人三十五錢
六五、〇〇〇	一五、〇〇〇	雜費	薪炭代	製茶一貫ニ付四錢五厘
一一、三六五	六〇、〇〇〇	薪炭代	糊、紙衣、糖代	七百五十貫、一貫ニ付八錢、製茶一貫ニ付二貫二百六十四分、此代十八錢一厘
一六、〇〇〇	五、三六五	薪炭代	器具損料	製茶一貫ニ付四錢八厘
二二、三六五		薪炭代		爐一挺ニ付六錢二厘、二十挺分一圓二十四錢
八四七、九六五		計		助炭一挺一錢五厘、二十挺分三十錢
				篩一分目二分目三分目三組代八圓
				二十五錢、保存年限十ヶ年
				八十二錢五厘
				三四農具損料反當リ二十七錢二厘七毛

差引 金百八十八圓六十二錢

純益

反當純益十七圓十四錢七厘

○地賣上等茶大仕掛傭人法 (明治三十五年分)

埼玉縣入間郡豐岡町 繁田武平

煎茶園 一町七反步

玉露園 三反步  
總收入

千三百七十三圓六十錢九厘

金額	項目	摘要
二五八、三〇〇	玉露茶代	三十三貫九百文、内八貫四百文ハ一貫ニ付圓半錢
五二、八〇〇	玉露屑茶代	十七貫六百文、一貫ニ付三圓
八〇四、四二六	煎茶代	二百二十四貫七百文、一貫ニ付三圓五十
二五八、〇八三	煎茶屑茶代	八十貫三百文、一貫ニ付一圓六十一錢
三七三、六〇九	計	四百三十六貫五百文

支出

千八百八圓三十三錢六厘

金額	項目	摘要
一〇〇、〇〇〇	小作料	反當リ五圓
一五〇、二〇〇	肥料	反當リ七圓五十一錢
三〇、〇〇〇	油粕	三十枚、一收ニ付一圓反當リ一圓五十錢
一一、五〇〇	米糠	十俵、二俵ハ約十貫、反當リ六十二錢五厘
三〇、〇〇〇	蠶蛹	十五俵、一俵ハ約十二貫、反當リ一圓五十
七五、〇〇〇	人糞	五百荷、一荷十五錢、反當リ三圓七十五錢
二、七〇〇	堆肥製造費	反當リ十三錢五厘
九〇、〇〇〇	栽培人夫賃	反當リ九圓三十七錢二厘
六〇、〇〇〇	耕耘	年四回延三百人、一人三十錢、反當リ十
三〇、〇〇〇	施肥	年四回延二百人、一人三十錢反當リ十
三〇、〇〇〇	煎枝及覆架	延七十八人、一人四十八錢、反當リ三人
一八七、四四〇	計	九分



二六三、三九一	三七、〇三〇	製造人夫賃	茶揉人夫日當	職工延四百七十七人半、平均一人二十八錢七厘弱
七四、一二八	二六、三六一	薪炭費	茶揉人夫賄料	職工四百七十七人半、一人二十六錢五厘弱
四七、二二三	二〇、六四六	雜費	薪炭代	生葉一貫ニ付六厘
	五三、四八二		衣藥料	千六十九貫六百四十文、一貫ニ付五錢、製茶一貫ニ付七錢
	二、三八七		紙糊刷毛代	職人一人ニ付五厘
	一九、〇八〇		茶業組合費	職人一人ニ付四錢
	一、〇〇〇		雜費	器具損料職人雜給
七七七、三三九	二四、七五六	計		

差引 金百五十九圓四十一錢四厘

純益

反當リ純益十三圓四十一錢八厘

○輸出向、上等茶大仕掛備入法 (明治三十五年分)

静岡縣小笠郡佐倉村

清水利平

煎茶園 一町一反步

總收入

千三十六圓五十八錢五厘

金額	項目	摘要
----	----	----

五六一、六〇〇	一番製茶代	上製茶代	九十六貫三百二十文、一貫ニ付五圓
四八一六〇〇	二番製茶代	中製茶代	四十貫、一貫ニ付二圓
二六〇、〇〇〇	三番製茶代	生葉代	百貫、一貫ニ付二圓
二二四、九八五	計		二百六十貫、一貫ニ付二十三錢一厘弱
一〇三六、五八五			九十五貫、一貫ニ付二圓二十六錢三厘
			製茶三百三十貫三百二十文外、生葉二百六十貫

支出

八百四十七圓九十六錢五厘

八八、〇〇〇	小作料	肥	反當リ八圓
一一〇、〇〇〇	肥料	栽培人夫賃	豚ノ排泄物、人糞尿、草、魚肥等年々異レルモノヲ施ス
四六、二〇〇	摘採費	摘採	反當リ十圓
二二、一〇〇	耕	剪枝	延六十六人、一人三十五錢、反當リ六人、二圓十錢
一五、四〇〇	施肥	一番茶摘採費	延四十四人、一人三十五錢、反當リ四人、一圓四十錢
七、七〇〇	摘採費	二番茶摘採費	延廿二人、一人卅五錢、反當リ二人、七十錢
一六二、六〇〇	摘採費	三番茶摘採費	延七百二十九人、一人ニ付二貫五百文、摘採延二百四十人、一人二十七錢
六四、八〇〇	摘採費	摘子監督費	延二百八十六人、一人二十錢
五七、二〇〇	摘採費		延百七十四人、一人二十錢
三四、八〇〇	摘採費		延二十九人、一人二十錢
五、八〇〇	摘採費		







一二三、六〇〇	摘採	製造人夫賃	茶揉人夫日當	延三百九十二人、一人四十二錢（内火入職工費九圓十八錢ヲ含ム）
三六六、六三一	製	費	茶拾ヒ及雜役	延二百六十七人半（蒸シ、運搬等ヲ含ム）
七三八二〇	薪	費	棟賃	製造中附テ要シタルモノノ五百十五人、一人十四錢弱
八二、〇二六	薪	費	炭薪	内火入職工附テ要シタルモノノ九十三錢五厘ヲ含ム
七五、七八五	薪	費	炭薪	製造一貫ニ付二錢八厘三毛強
三五、〇〇〇	薪	費	炭薪	雜木三百七十一把、一把六錢七厘強
一二三、五七〇	薪	費	炭薪	青梅及飯能炭七百四十六貫八百九十五
二四、七〇〇	薪	費	炭薪	勿、一貫ニ付十二錢五厘
九八、八七〇	薪	費	炭薪	茶葉組合費、紙、糊、炭、茶摘紙、笠、覆用履及竹、丸太、
四六、八九五	薪	費	炭薪	茶師心附物、茶師半纏、草履、器具、農具損料
一一八〇、三三六	薪	費	炭薪	

差引 金二百六十五圓二十七錢三厘

反常リ純益十三圓二十六錢四厘

○玉露茶大仕掛傭人法（明治三十五年分）

東京府南葛飾郡金町村

宇田川安右衛門

煎茶園 二反歩  
玉露園 八反歩

千六百三圓五十錢

金額	項目	摘要
----	----	----

二五九、〇〇〇	煎代茶	一番製茶代 三十貫、一貫ニ付四圓
二〇、〇〇〇	煎代茶	一番製茶代 十貫、一貫ニ付一圓五十錢
一五、〇〇〇	煎代茶	二番製茶代 四十八貫、一貫ニ付二圓五十錢
二〇、〇〇〇	煎代茶	二番製茶代 十二貫、一貫ニ付一圓
一一、〇〇〇	煎代茶	總テ一番茶
一三四四、五〇〇	玉露茶代	二十五貫、一貫ニ付十三圓五十錢
三三七、五〇〇	玉露茶代	十一貫、一貫ニ付四圓
四四、〇〇〇	玉露茶代	五十一貫、一貫ニ付九圓
四五九、〇〇〇	玉露茶代	二十一貫、一貫ニ付三圓
六三、〇〇〇	玉露茶代	五十四貫、一貫ニ付六圓五十錢
三五、〇〇〇	玉露茶代	三十六貫、一貫ニ付二圓五十錢
九〇、〇〇〇	玉露茶代	煎茶百貫
一六〇三、五〇〇	計	玉露百九十八貫

支出

千四百十六圓

八〇、〇〇〇	小作料	反當リ八圓
三六六、六六七	肥培人夫賃	年五回人糞ノミヲ施ス、反當リ三十六圓
一三三、三三三	肥料	六十六錢七厘
五〇、〇〇〇	肥料	反當リ十三圓三十三錢三厘
三三三、三三三	肥料	延百五十人、一人三十三錢三厘三毛、反
五〇、〇〇〇	肥料	當リ十五人
一六〇、〇〇〇	肥料	延百人、一人三十三錢三厘三毛、反當リ
一六〇、〇〇〇	肥料	十人
一六〇、〇〇〇	肥料	玉露園反當リ二十圓



九九、五〇〇	八四、五〇〇	一五、〇〇〇	四六四、五三〇	一九四〇〇〇	二七、九〇〇	四二、八八〇	二二、九〇〇	三三八、二五〇	三八、六〇〇	九二、五七〇	八〇、〇〇〇	一二、五七〇	二〇、〇〇〇	二四一六、〇〇〇
摘採費	製造人夫賃	製造人夫賃	製造人夫賃	蒸人夫賃	棟賃	世話掛賃	茶揉人夫賄料	精製火入費	炭石炭代	炭石炭代	炭石炭代	雜費	雜費	雜費
一番茶摘採費 二番茶摘採費	茶揉人夫日當	蒸人夫賃	棟賃	世話掛賃	茶揉人夫賄料	精製火入費	炭石炭代	炭石炭代	炭石炭代	炭石炭代	炭石炭代	炭石炭代	炭石炭代	炭石炭代
千三百貫、一貫ニ付六錢五厘 三百貫、一貫ニ付五錢	百七十圓一番製茶延三百四十人、一人五十錢	二十四圓二番製茶延六十人、一人四十錢 二十五圓五錢一番製茶延百二人、一人二十五錢	四十圓一番製茶延十二人、一人廿錢 四十圓一番製茶延百貫ニ付二十錢	二圓八十八錢二番製茶 六錢 本茶四十八貫一貫ニ付二十圓四十錢一番製茶	二圓五十錢二番製茶 百十九圓一番製茶、職工一人三十六錢二厘強	十九圓二十五錢二番製茶、職工二人三十三錢一厘弱 三十五圓一番製茶延七十人、一人五十錢 一人三貫	三圓六十錢二番製茶延十二人、一人三十錢	一、二番製茶職工延四百人、一人ニ付二十錢 一番茶十圓二十錢、二番茶二圓三十七錢	糊紙、衣嚢帶代及雜費	糊紙、衣嚢帶代及雜費	糊紙、衣嚢帶代及雜費	糊紙、衣嚢帶代及雜費	糊紙、衣嚢帶代及雜費	糊紙、衣嚢帶代及雜費

差引 金百八十六圓九十錢

反當リ純益十八圓六十九錢

○碾茶大仕掛傭人法 (明治三十五年分)

京都府宇治郡宇治村

山村庄右衛門

薄茶園 八反歩

玉露園 九畝歩

煎茶園 一畝歩

總收入

千百圓

純益

金額	項目	摘要
九五二、〇〇〇	薄茶代	百八貫八百八十匁、一貫ニ付八圓七十四錢四厘弱
三二、〇〇〇	玉露茶代	二十一貫三百三十匁、一貫ニ付一圓五十錢
一〇八、〇〇〇	玉露茶代	十二貫七百匁、一反ニ付八圓五十錢
三、〇〇〇	煎茶代	一貫二百匁、一匁ニ付二圓五十錢
五、〇〇〇	煎茶代	荒茶一貫六百八十匁、一貫ニ付二圓八十錢
二〇〇、〇〇〇	計	百四十五貫七百九十匁

支出

七百三十圓七十三錢三厘

一三五、〇〇〇	肥料	反當リ十五圓(覆道具付)
一五八、九〇三	小作料	反當リ十七圓六十五錢六厘



四四、〇〇〇	油糞	二百二十貫、一貫ニ付二十錢、反當リ四圓八十八錢九厘
二四、九〇三	人糞	六千七百五十九貫、一貫ニ付一錢七厘、反當リ十二圓七十六錢七厘
五〇、四〇〇	栽培人夫賃	反當リ五圓六十錢
二五、二〇〇	施肥	延七十二人年四回、一回十八人、二人三十五錢
二五、二〇〇	耕耘	延七十二人草ダラシ、元出シ、元寄セ、一人三十五錢
六四、五三〇	覆架設費	反當リ七圓十一錢
四〇、五〇〇	覆架賃	受負ニテ中堀一回又剪枝、片付、反當リ四圓五十錢
四、五〇〇	覆架後塵採	(自家雇入レトシテ延九十人、二人四十五錢)
一三、五〇〇	散シ糞	二回二十二人半、一人二十錢(老人)
六、〇三〇	細代	二百貫、一貫ニ付一錢三厘五毛(二ヶ年使用トシテ此金二十七圓)
八〇、六〇〇	摘採費	街道掃八十貫、一貫ニ付十四錢、計二圓五十二錢、普通繩二十七貫、一貫ニ付十三錢計三圓五十一錢、生葉九百三十貫ニ對シ延三百十八人、一人二十六錢(頭備人持)一人三貫
一四六、五〇〇	製造人夫賃	碾茶一日二人生葉二十貫製平均生葉九貫二百匁製玉露煎茶一日生葉四貫製
三八、七六〇	茶揉人夫日常	延五十二人、一人三十錢
一五、六〇〇	蒸シ及運搬費	延三十人、一人三十五錢
一〇、五〇〇	仕立又火入費	製茶百四十五貫、一貫ニ付二十五錢二厘
三六、五四〇	揀賃	(老婦ヲ雇ヒ一日七百匁、日常十七錢五厘)
四五、一〇〇	茶揉人夫賄料	白米二石代二十六圓 酒九圓十錢、其他肴蔬菜費等十圓
六六、四〇〇	薪炭費	日向炭八百貫、一貫ニ付六錢七厘
五三、六〇〇	薪炭代	生薪八百貫、一貫ニ付一錢六厘
一二、八〇〇	雜費	
二八、四〇〇	計	

七三〇、七三三三	計	
二、二八〇	衣類代	百五十二貫、一貫ニ付一錢五厘、一爐ニ付四百匁
八、〇〇〇	紙糊代	セシカ紙及シヨウフ糊
四、三七〇	火入用紙糞代	糊、紙、糞、製茶一貫ニ付三錢宛
六、三〇〇	農器具損料	反當七十錢
七、四五〇	雜費	賞與茶業組合費、箱(ブリッキ)三個

差引 金三百六十九圓二十六錢七厘

反當リ純益四十一圓二錢九厘

○内外用普通茶大仕掛備人法 (明治三十五年分)

静岡縣駿東郡佐野村

山本 謙 吉

煎茶園 十四町步  
總收入

二千五百三十圓三十八錢五厘

三三二、五三一	金	額	項	目	摘	要
七二、七一〇			一番製茶代	濱出シ	千百二十二貫二百七匁	
三六三、二一六			一番茶生葉賣代	地方賣	七百四十貫七百三十六匁、一貫ニ付二圓二	
二四七、六〇五			三番芽園賣代	茶代	十九錢八厘弱	
三三、九六四					百七十八貫四百八十一匁、一貫ニ付二圓三	
二七四、八九〇					錢五厘強	
					百九十八貫九百九十匁、一貫ニ付七十八錢	
					一厘強	
					百五十貫九十匁、一貫ニ付二十一錢	
					生葉二千四百九十九貫ヲ買受人自製ニテ摘採シ更ニ製造	
					器具ヲ貸與シテ製造セシメ其代生葉一貫ニ付十一錢	

農商務省



三五三〇、三八五

計

(二番茶ハ浮塵子ノ爲メ收穫皆無ナリ)  
製茶千二百二十二貫二百七匁、生葉二千六百四十九貫九百匁

支出

二千九百九十五圓三十四錢四厘

五六〇、〇〇〇	小作料	反當リ四圓
二一〇、〇〇〇	肥料	雜草六萬三千貫、一貫ニ付三厘三毛強、反當リ一圓五十錢
二三八、〇〇〇	栽培人夫賃	反當リ一圓七十錢
三二六、一五五	摘採人夫賃	生葉一貫ニ付六錢二厘七毛
五七九、五三〇	製造人夫賃	製茶一貫ニ付二十三錢八厘九毛
		製茶一貫ニ付二錢二毛
		製茶一貫ニ付六錢七厘八毛
		一人ニ付二十三錢六厘二毛、職工延六百五
		十人
三六八、二七八	蒸諸役	
二二、六八〇	仕上人夫賃	
七五、八三八	茶揉人夫附料	
一四、一〇〇	職工賞與	
二七、九〇〇	印半纏	
五、〇〇〇	職工周旋料	
一二、三二〇	夜具損料	
八七、七五〇	薪炭費	製茶一貫ニ付一錢四厘八毛
一六、七〇〇		製茶一貫ニ付六錢三厘三毛餘
七一、〇五〇		
三七、一六〇	旅費及郵稅	
二、五五〇		
三四、六一〇	郵便電信料 出張旅費	

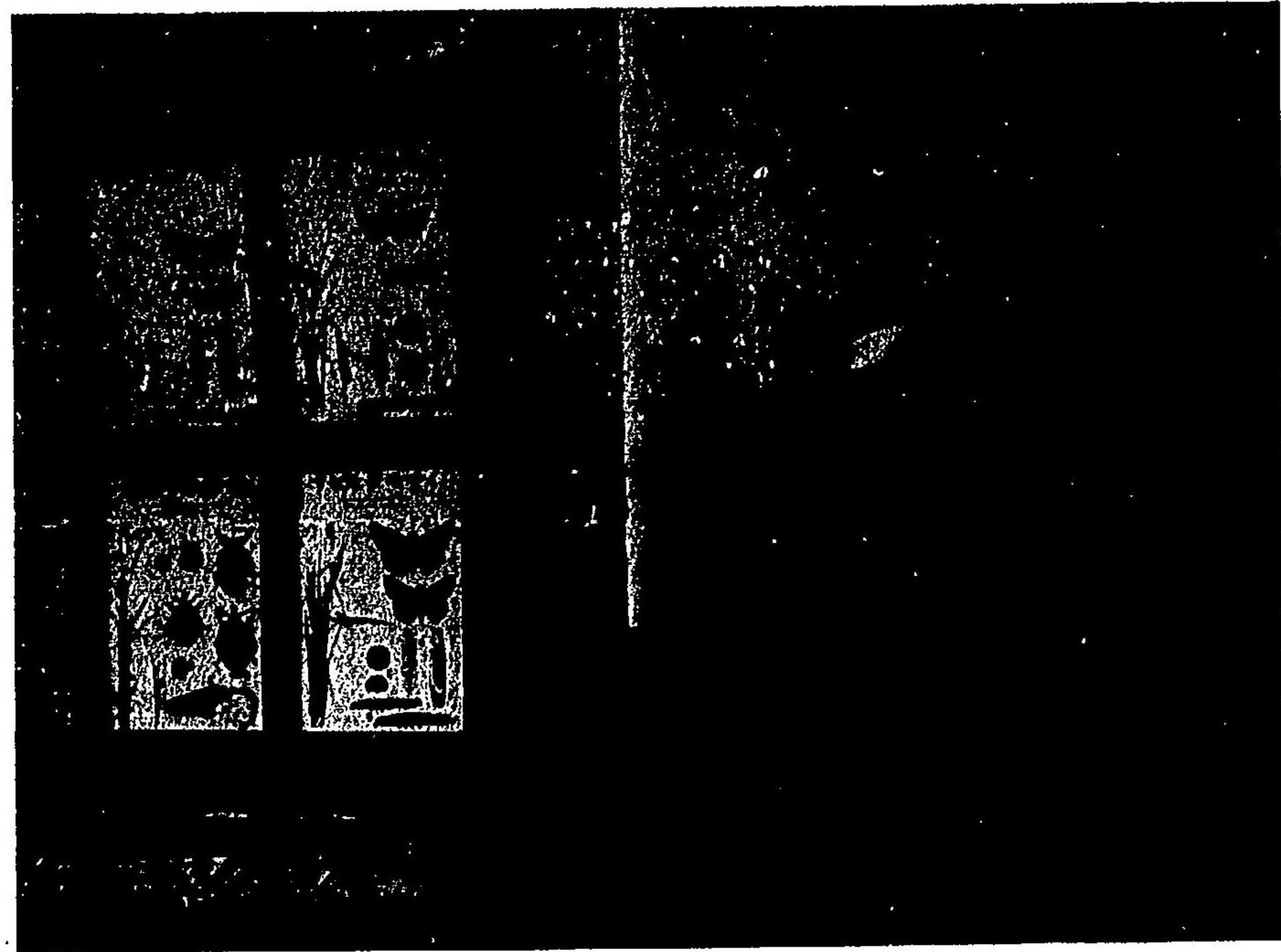


(一其) 農事試驗場出品陳列(其一)

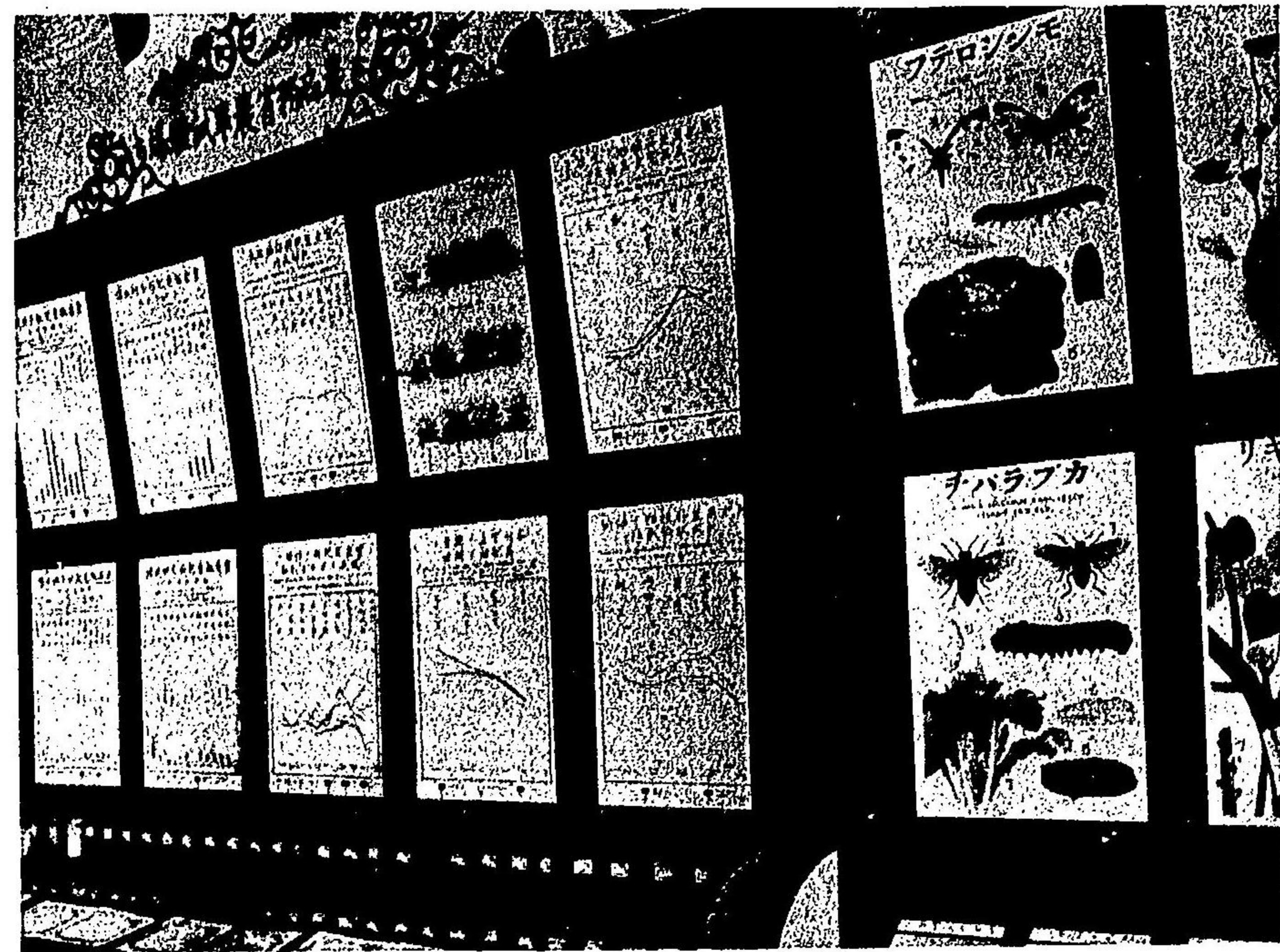


(二其) 同上



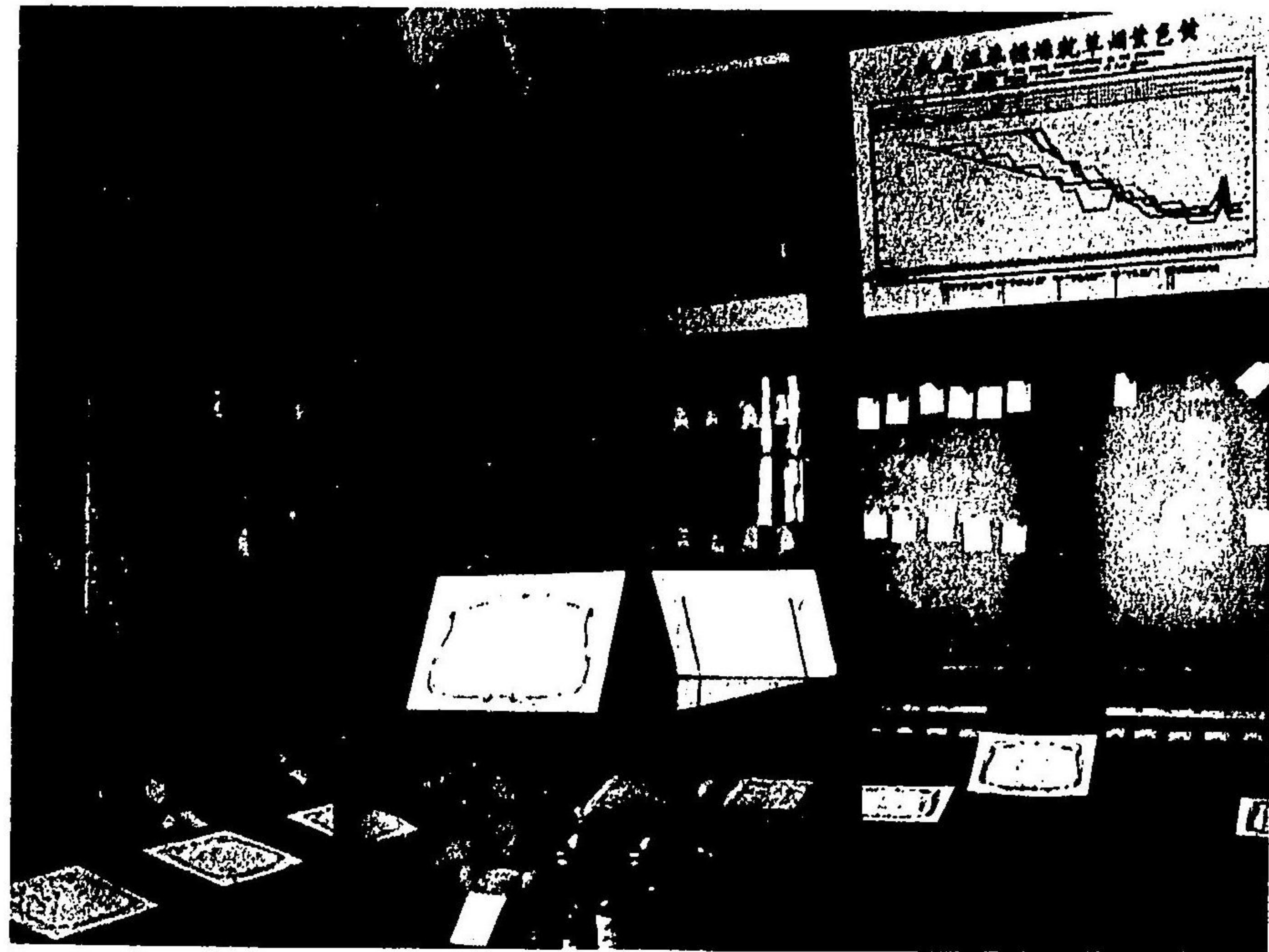


(三 其) 列陳品出場驗試事農



(四 其) 上 同





(五 其) 列陳品出場驗試事農



(六 其) 上 同



一〇二、一四五	三八、八〇五	運搬及荷造費	生葉運搬費
三三、四一〇	一、九三〇	製茶運搬費	製茶百斤ニ付四十七錢六厘三毛
二四、〇七〇	四、二〇〇	茶櫃運搬費	櫃四十六個、一個代五十一錢七厘七毛
五四、三三四	二九、三〇〇	茶櫃運搬費	櫃四十六個、一個代五十一錢七厘七毛
二九、三〇〇	一、八〇〇	紙代	製茶一貫ニ付二錢六厘一毛
七、八二三	一五、四一一	衣代	製茶一貫ニ付一厘六毛
二九五、三四四		備品費	世話係、雜役器具損料
		計	

差引 金三百三十五圓四錢一厘  
 反當純益二圓三十九錢三厘  
 純益

○農事試驗場

本場ノ出品ハ同場本支場ニ於ケル試驗成績中重要ナルモノ、例證ヲ示サムカ爲ニセルモノ  
 ニシテ主トシテ標本、模型、圖表、解説等ヨリ成リ、複雑ナル各般ノ事項ヲヨク簡單明晰ニ約收セ  
 ラレタルヲ見ル其ノ説明書ノ目次ハ下ノ如シ

附言茲ニ挿入スル寫真六葉ハ農事試驗場出品陳列ノ概景ヲ示スモノナリ



### 農事試驗場出品物説明書目次

#### 氣象

- 第一 氣候ノ差異ニヨリ稻作ニ及ホス影響
- 第二 日照時間ノ多少ニ依リ稻作ニ及ホス影響

#### 土壤

- 第一 燒土ノ利益
- 第二 理學的性質
- 第三 植物ノ生育ニ及ホス關係
- 第四 濕田ニ於テ土壤乾燥ノ利益
- 第五 乾田ノ利益

#### 水

- 第一 土壤中水分ノ作物生育ニ及ホス影響
- 第二 稻作一段歩ニ要スル灌溉水量
- 第三 稻生長ノ各期ニ吸收蒸發スル一株一日ノ平均水量

#### 栽植

- 第一 麥類播種期ノ収量ニ及ホス影響

- 第二 水稻移植期ノ収量ニ及ホス影響
- 第三 綠肥用大豆ヲ二毛作麥ノ間作ト爲スノ利益
- 第四 積雪地方ニ於テ人糞尿施用期ノ麥類収量ニ及ホス影響
- 第五 根ノ發育ニ關スル試驗成績
- 第六 人工雜種ニ關スル試驗成績
- 第七 重要作物ノ良種
- 第八 大豆ノ種類ノ特性ヲ表示スル標本

#### 品質

- 第一 市價ト米質ノ關係
- 第二 肥料三要素ノ米質ニ及ホス關係

#### 圓筒植木鉢試驗

#### 蜜蜂

- 一 蜜蜂ノ食料
- 二 養蜂場
- 三 窠箱及其附屬品ノ使用法
- 四 分封
- 五 四季ノ管理法



六、 蜜蜂ノ害敵  
七、 蜂病

肥料

- 第一 重要販賣肥料分析
- 第二 窒素質肥料効驗比較試驗成績
- 第三 窒素質肥料ノ作物ニ吸收セラル、割合
- 第四 各種窒素ノ用量ト其肥効ノ關係
- 第五 綠肥用荳科植物ノ生産量及其窒素集積量
- 第六 綠肥用荳科植物効驗比較試驗成績
- 第七 磷酸質肥料効驗比較試驗成績
- 第八 磷酸質肥料ノ作物ニ吸收セラル、割合
- 第九 土性ト磷酸効驗トノ關係
- 第十 土壤中所含磷酸ト其有効量トノ關係
- 第十一 麥類生長ノ各期ニ吸收スル三要素量
- 第十二 水稻生長ノ各期ニ吸收スル三要素量
- 第十三 各種作物三要素需要ノ差異
- 第十四 不正肥料及其混合原料標本

作物ノ害蟲

作物ノ病害

烟草

甲 黄色烟草

- 第一 緒言
- 第二 黄色葉烟草ノ沿革
- 第三 黄色葉烟草ノ種類及栽培概要
- 第四 收納法
- 第五 乾燥室ノ構造
- 第六 葉ノ乾燥法
- 第七 黄色葉烟草ノ收量并ニ乾燥ニ要スル材料及勞力
- 第八 紙卷烟草ノ香味料并ニ用法

附 錄

第九 出品物ノ説明

乙 外國種烟草

- 第一 緒言
- 第二 葉卷烟草ノ種類及耕種ノ梗概



- 第三 收納法
  - 第四 乾燥室
  - 第五 乾燥法
  - 第六 醱酵法
  - 第七 葉卷烟草用藥液ノ配合并ニ用法
  - 附 錄
  - 第八 出品物ノ説明
  - 丙 烟草試驗成績出品物ノ説明
    - 第一 乾燥法試驗
    - 第二 肥料試驗
- 説明書中氣象ヨリ品質ニ至ル各項ハ殊ニ米麥及大豆作ニ關シ最重要ナル事項ニ屬スルヲ以テ今之ヲ次ニ抄シテ參考トス

### 農事試驗場出品物説明書

#### 氣 象

##### 第一 氣候ノ差異ニヨリ稻作ニ及ホス影響

氣候ノ稻作ニ及ホス影響ハ人ノヨク知ル如ク顯著ナルモノニシテ氣候ノ如何ニヨリ同一ノ類種ト雖モ其出穂成熟ノ期ニ差異ヲ生シ從テ收量ニ増減ヲ來ス等其變化著シトス之ヲ以テ稻作上種類ヲ選擇スルニ當リテハ其他ノ氣候ニ適應スヘキモノヲ以テスルコトハ勿論種子ノ交換ヲ行フ場合ニ於テモ亦其氣候ノ差異甚タシカラサル所ニ於テ之ヲナスコト最モ必要ナリトス

茲ニ表示セル試驗成績ハ之等ノ關係ヲ明瞭ナラシメンカ爲メ去ル明治三十年以來本支場十箇所ニ於テ各其地ニ適應セル種類ヲ相互交換シテ栽培シ其生育及收量ニ及セル變化ヲ調査セルモノ、平均成績ナリトス

本試驗ニ供スル種類名ハ左ノ如シ

原種子產地	種類名
東京本場	中稻近江
畿内支場	同 三把
東奥支場	同 豊後



北陸支場	同	大場
山陽支場	同	江戶
四國支場	同	權八
九州支場	同	穗増
東海支場	同	九年隠
陸羽支場	同	五郎兵衛
山陰支場	同	郡益

試驗ノ方法ハ三十年ニ於テ右ノ各種ヲ本支場普通ノ方法ニテ栽培シ爾後毎年其生産セル種子ニヨリテ繼續栽培セルモノトス

此試驗ノ成績ニヨリ氣候ノ稻作ニ及ホス影響ヲ尋ヌルニ

- 一、稻ノ出穂期ハ稻作期中温度ノ最高ヨリ稍低下セントスル時期ナルヲ以テ出穂ノ遅速ハ其地方氣候ノ如何ニヨリテ差異ヲ生ス
- 二、完全ナル成熟ヲ遂ケンニハ其出穂後ヨリ成熟マテノ間四五日間ノ平均温度約二十度ヲ要スヘキヲ以テ出穂後ノ氣候之レヨリ高キトキハ成熟期早ク之レニ反スレハ遅延シ且ツ成熟不充分ニシテ收量少シトス
- 三、氣候温暖ナル地方ニテハ莖葉ノ繁茂盛ナルヲ以テ藪收量一〇〇ニ對シ籾收量ノ割合少ナク氣候寒冷ナル地方ハ成熟十分ナラサルヲ以テ亦同一ノ結果ヲ呈ス而シテ此二

者ノ中間ニ位スル氣候ノ地ニアリテハ概シテ藪ニ對スル籾ノ割合多シトス

是事實ニヨリテ種子交換ノ結果ヲ探レハ

- 一、氣候ノ略相同シキ地方ニ於テハ種子ヲ交換スルモ其出穂成熟ノ期日ハ甚タシキ差異ナキヲ認ム
- 二、氣候寒冷ナル地方ノ種類ヲ氣候温暖ナル地ニ栽培スルモ其出穂及成熟ノ時期ハ促進セラレサルモ成熟ニ要スル日數短縮ス
- 三、之レニ反シ氣候温暖ナル地方ノ種類ヲ氣候寒冷ナル地ニ栽培スルトキハ其出穂及成熟ノ時期ハ大ニ遅延シ穀量減少ス
- 四、氣候寒冷ナル地方ノ種類ヲ暖地ニ移ストキハ葉莖繁茂ノ爲メ藪ニ對スル籾ノ割合ハ減少ス
- 五、氣候ノ温暖ナル地方ノ種類ヲ冷涼ナル地ニ移ストキハ成熟遅延シ且登實充分ナラサルカ爲メ藪ニ對スル籾ノ割合ハ減少スルノ傾向アリ
- 六、氣候前二者ノ中位ニアル所ニアリテハ種子ヲ相互交換スルモ藪ト籾トノ割合ハ原産地ト大差ナキヲ常トス

本試驗成績ノ大要ヲ示セハ左ノ如シ

- 一、本支場各地ノ平均氣温 毎日午前九時午後二時午後五時三回觀測ノ平均ニシテ三十一年乃至三十四年四箇年ノ平均







